

72-84

08 232091
4

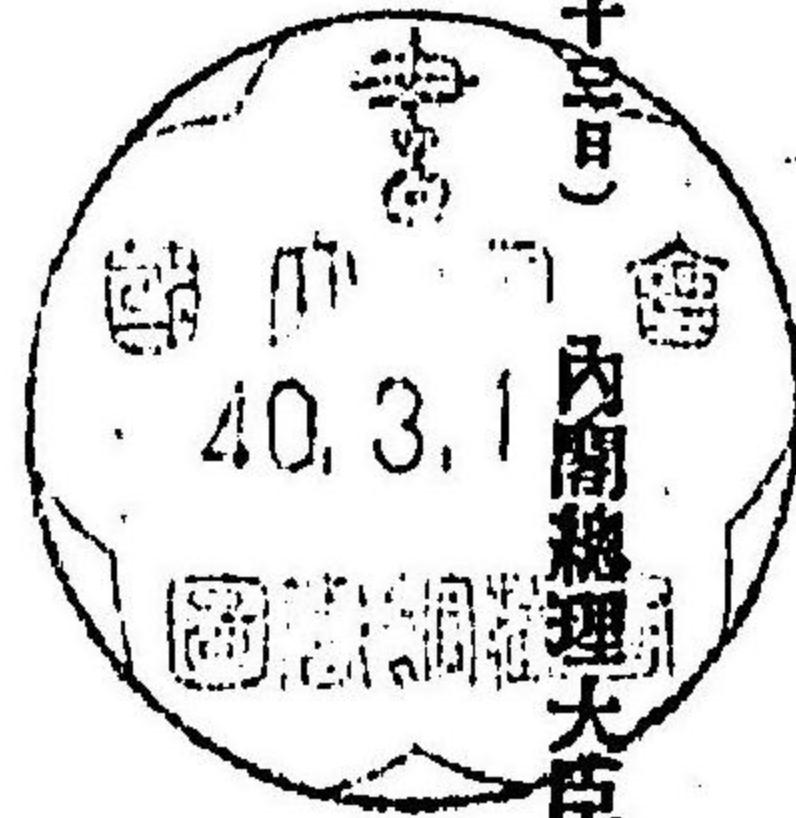
法令全書

詔勅

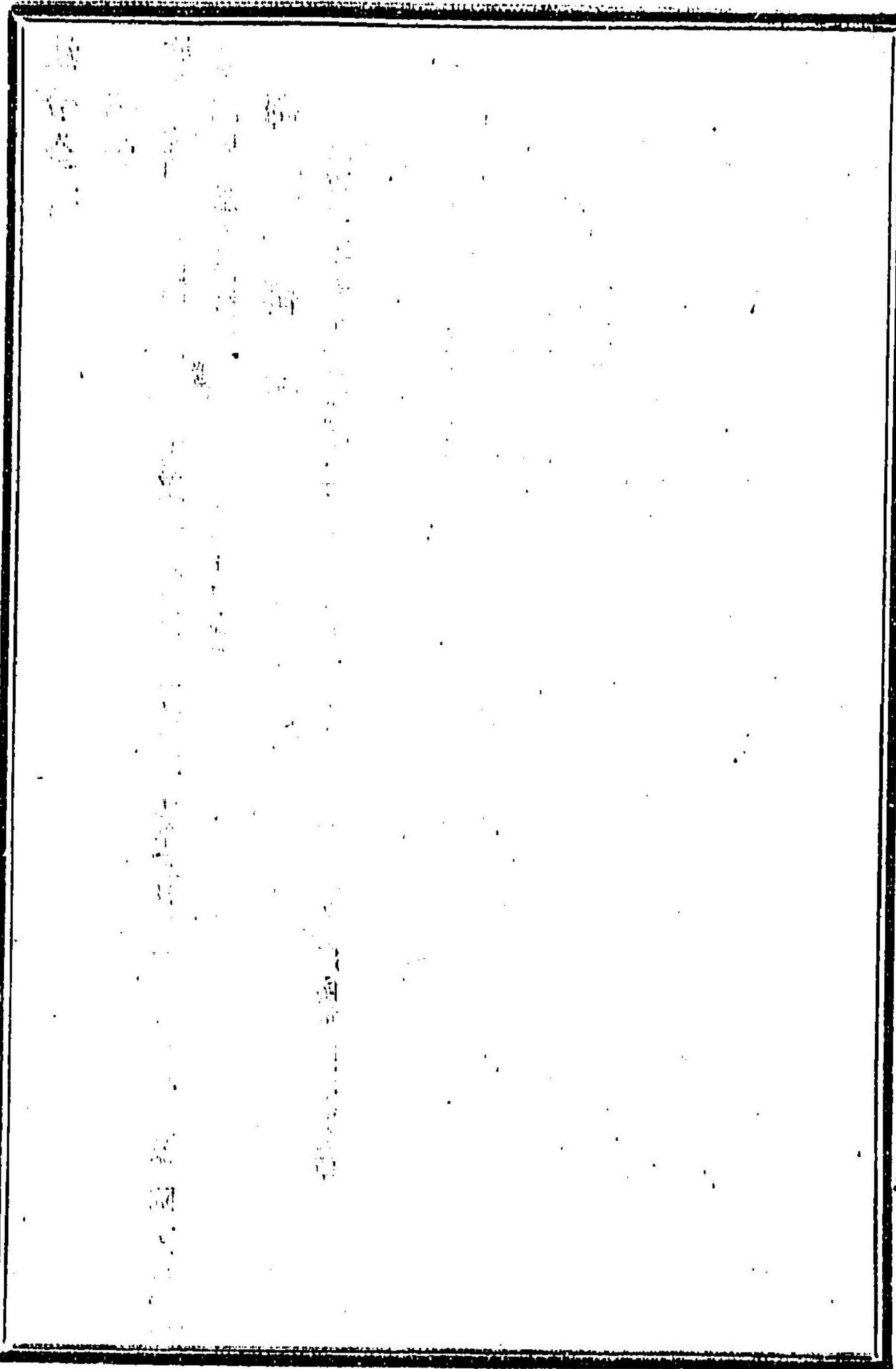
朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十九年三月二十四日ヲ以テ貴族院子爵議員
一名闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年一月二十二日(官報一月二十三日) 内閣總理大臣侯爵西園寺公望



明治三十九年一月 國務



○ 朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十九年五月五日ヲ以テ貴族院子爵議員一名
關員ノ爲ニ補關選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年三月五日(官報三月六日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十九年五月十八日ヲ以テ貴族院子爵議員一
名關員ノ爲ニ補關選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年三月九日(官報三月十日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十九年六月二日ヲ以テ貴族院男爵議員一名
關員ノ爲ニ補關選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年三月二十六日(官報三月二十七日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

明治三十九年三月 勅諭

朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ島根縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員職員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年三月二十日(官報三月三十一日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

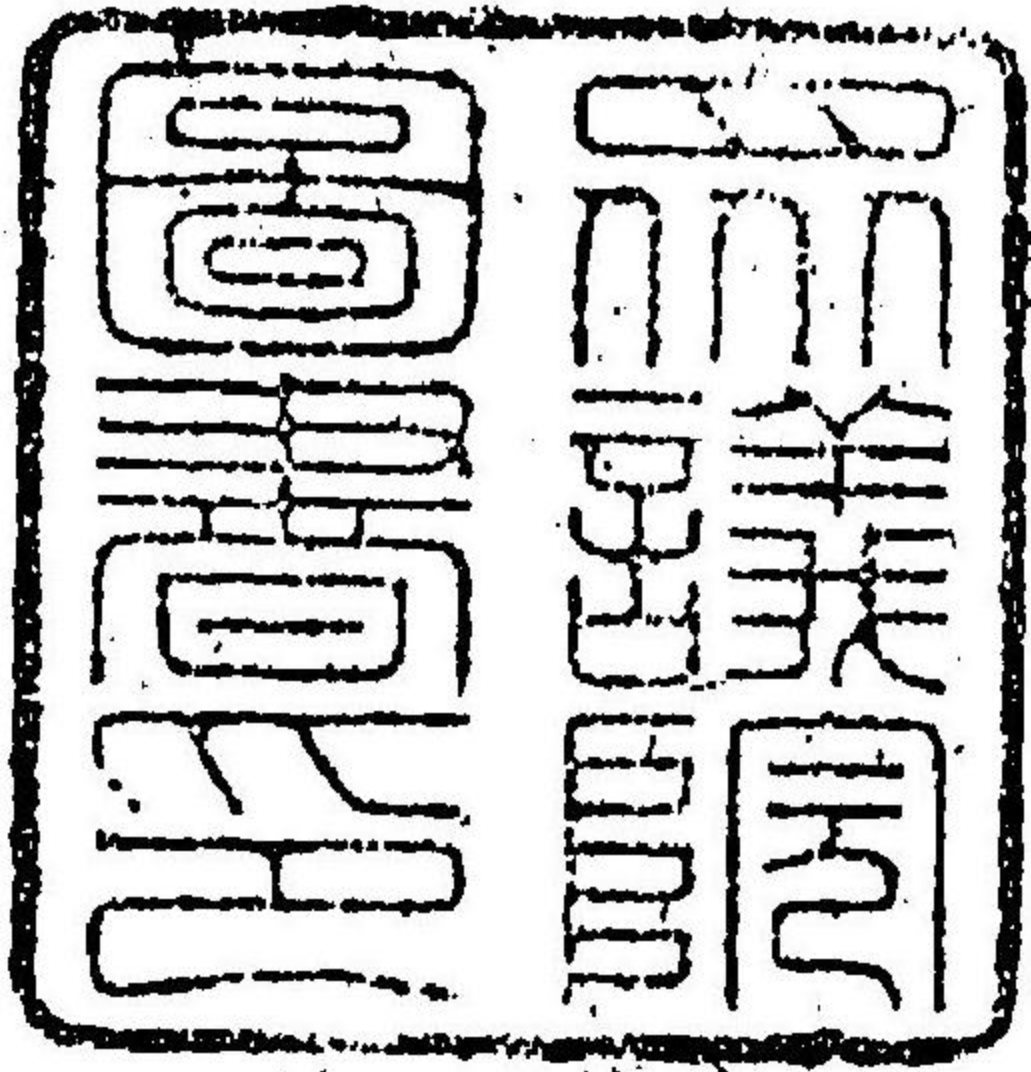
四

朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十九年六月二十八日ヲ以テ貴族院子爵議員一名職員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

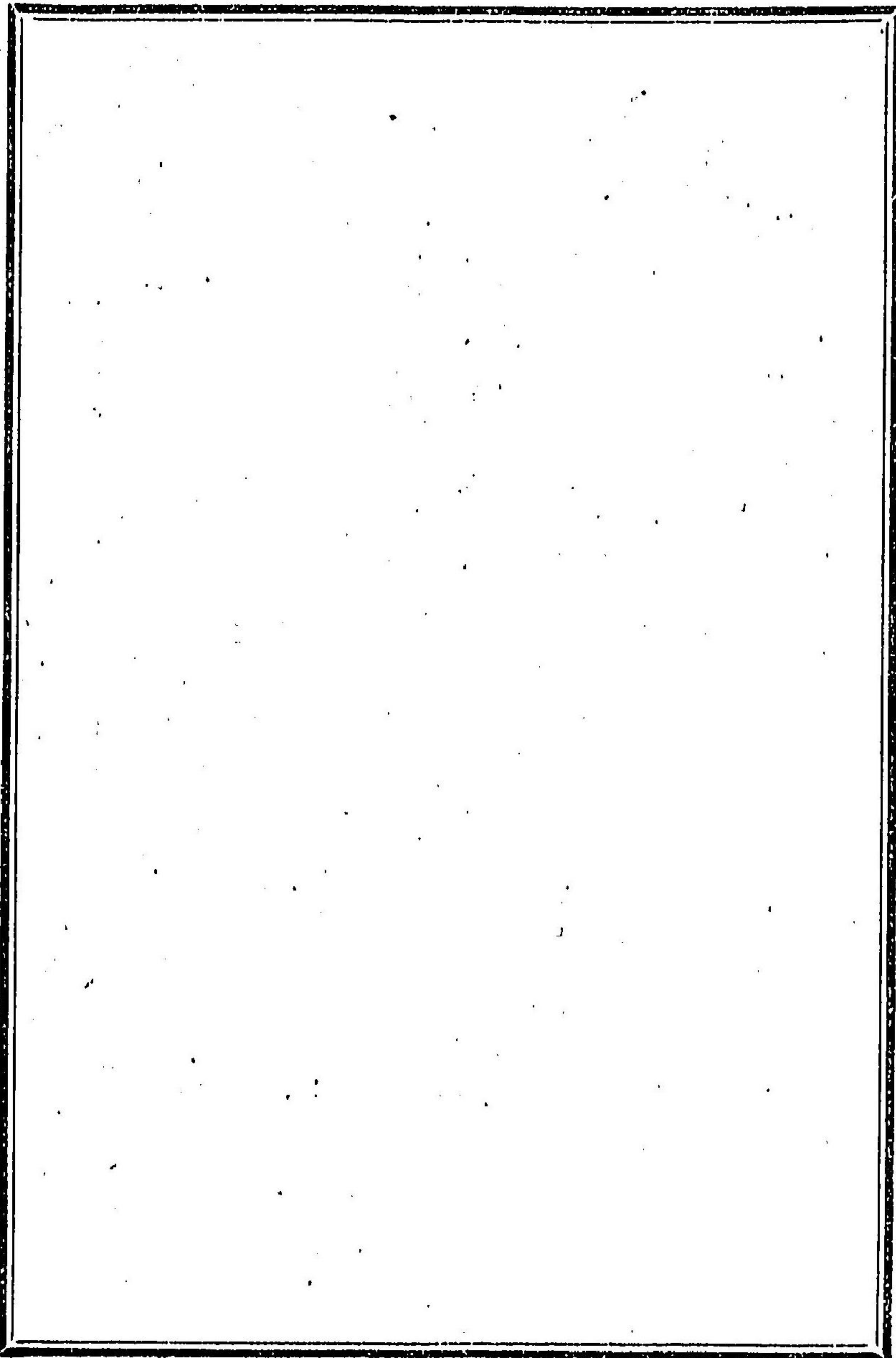
明治三十九年四月十四日(官報四月十六日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望



明治三十九年四月 勅諭

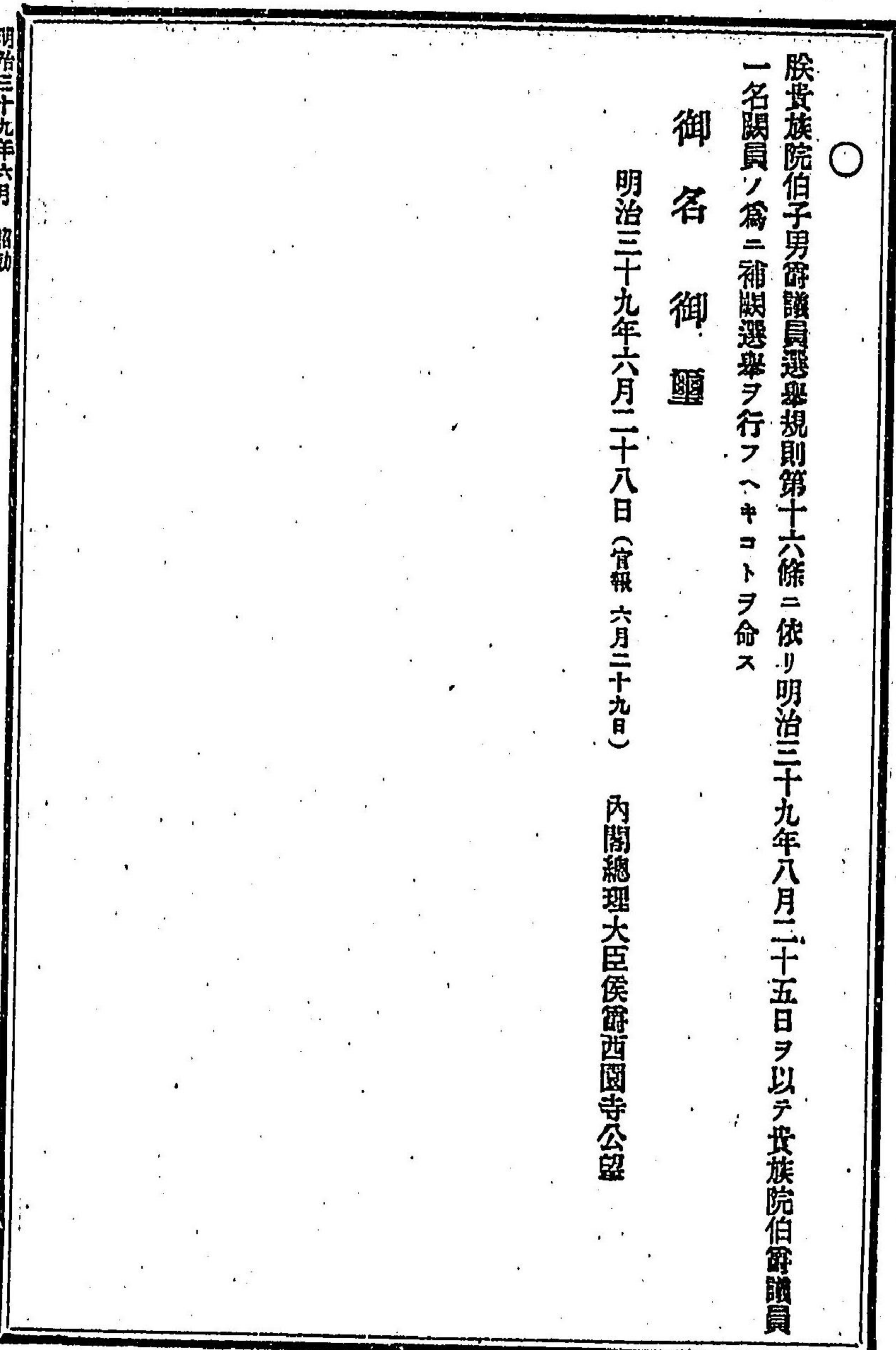
五

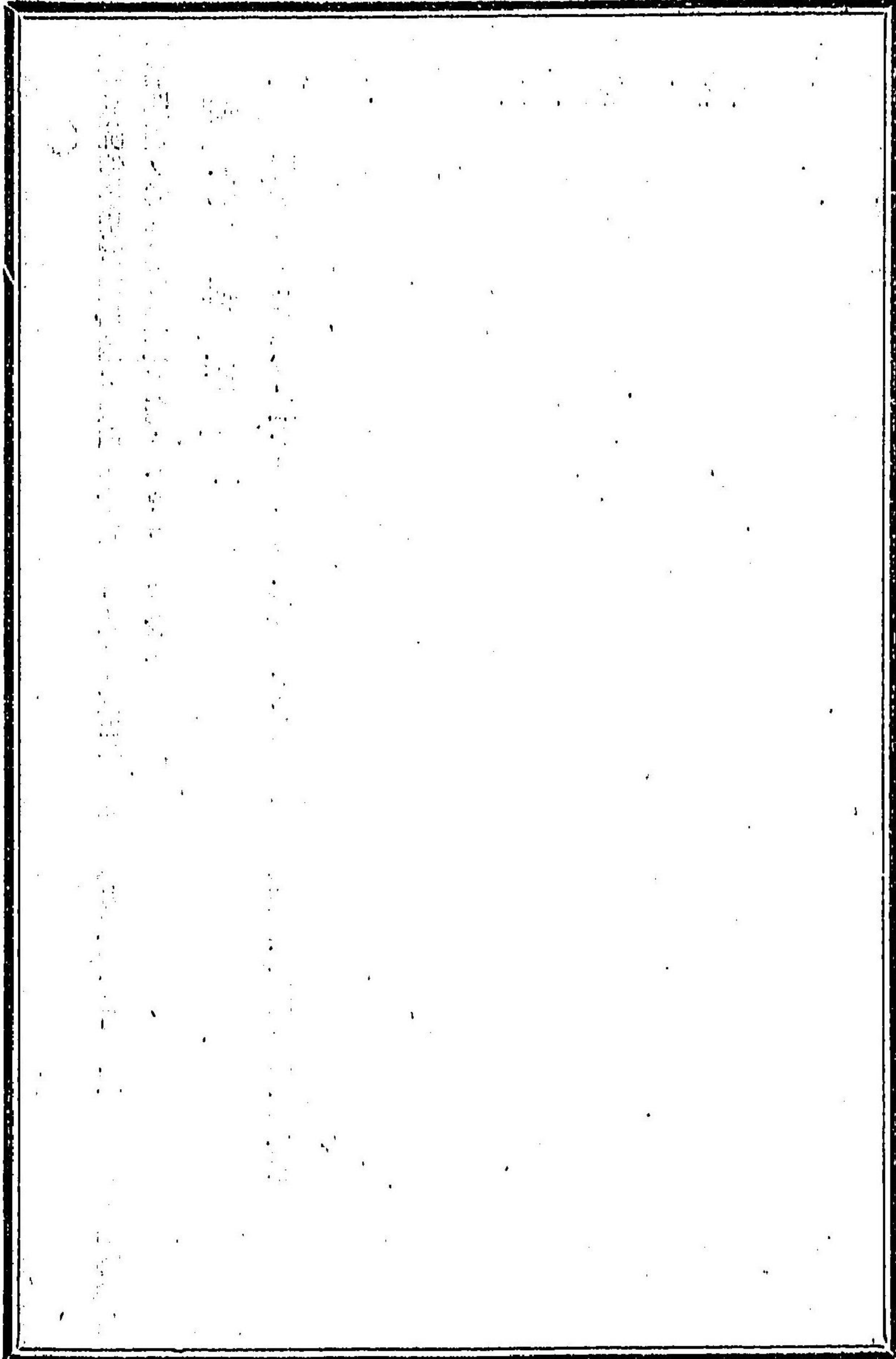


○ 朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十九年八月二十五日ヲ以テ貴族院伯爵議員一名闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年六月二十八日(官報 六月二十九日) 内閣總理大臣侯爵西園寺公望





○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ宮城縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年七月七日 (官報 七月九日)

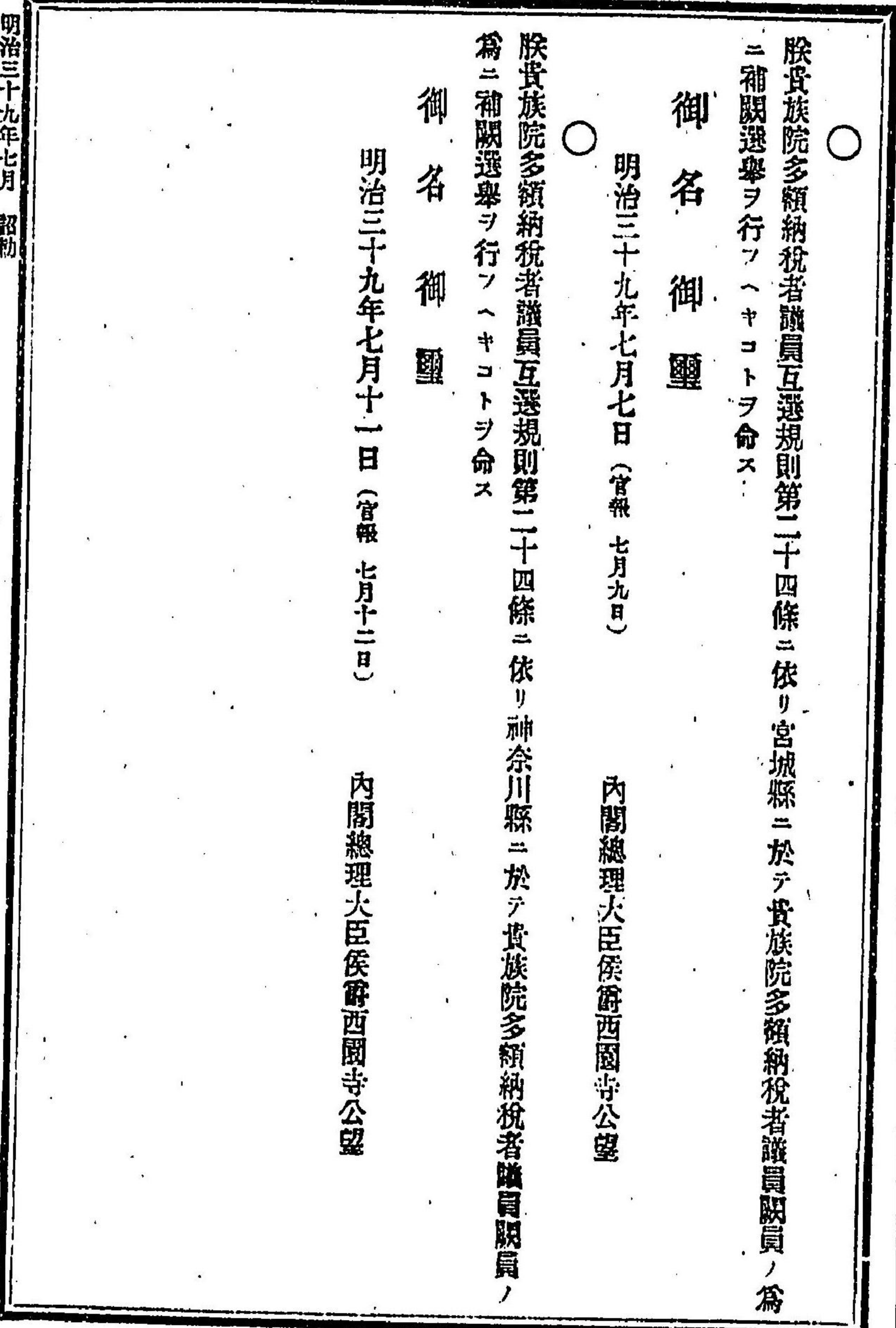
内閣總理大臣侯爵西園寺公望

朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ神奈川縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年七月十一日 (官報 七月十二日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望



○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ大阪府ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補關選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年九月三日 (官報 九月四日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ鹿兒島縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補關選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年九月三日 (官報 九月四日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ岡山縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補關選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十九年九月六日 (官報 九月七日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ秋田縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年九月十七日(官報 九月十八日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ富山縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年九月十七日(官報 九月十八日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ高知縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年九月二十七日(官報 九月二十八日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ愛知縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年十月三日(官報 十月四日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ青森縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年十月十八日(官報 十月十九日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○ 朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月二十五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名 御璽

明治三十九年十一月十四日(官報十一月十五日)

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 陸軍大臣 寺内正毅
- 農商務大臣 松岡康毅
- 海軍大臣 齋藤實
- 大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎
- 逓信大臣 山縣伊三郎
- 司法大臣 松田正久
- 内務大臣 原敬
- 文部大臣 牧野伸顯
- 外務大臣 子爵林 董

朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十二月二十八日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名 御璽

明治三十九年十二月二十六日

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 陸軍大臣 寺内 正毅
- 農商務大臣 松岡 廣毅
- 海軍大臣 齋藤 實
- 大藏大臣 法學博士 阪谷 芳郎
- 逓信大臣 山縣伊三郎
- 司法大臣 松田 正久
- 内務大臣 原 敬
- 文部大臣 牧野 伸顯
- 外務大臣 子爵林 董

法令全書

法律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臨時事件費支辨ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年二月十日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士 阪谷芳郎

法律第一號(官報二月十二日)

第一條 臨時事件費支辨ノ爲政府ハ一時借入金ヲ爲シ、特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替使用シ及公債ヲ募集スルコトヲ得

前項ノ一時借入金及公債ノ額ハ通シテ三億六千三百萬圓以內トス

第二條 臨時事件ニ因リテ生シタル陸海軍所屬ノ復舊其ノ他ノ事業ニ要スル經費及滿韓軍備ニ關スル臨時費支辨ノ爲政府ハ特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替使用シ及公債ヲ募集スルコトヲ得

前項公債ノ額ハ七千萬圓以內トス

第三條 本法ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ募集シ又ハ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

第四條 前三條ニ依ル一時借入金、特別會計ニ屬スル資金繰替及公債ヲ整理償還スル爲必要アル場合ニ於テハ第一條及第二條ノ制限以外ニ公債ヲ募集スルコトヲ得

第五條 政府ハ臨時軍事費出納上一時ノ不足ヲ補充スル爲共ノ歳入ヲ以テ償還スヘキ大藏省證券

ヲ發行スルコトヲ得

前項大藏省證券ニ關シテハ前項ニ規定スルモノノ外總テ大藏省證券條例ヲ適用ス

第六條 一時借入金及公債ノ利率、募集借入ノ方法規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ニ依リテ發行スル公債ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外整理公債條例ヲ適用ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル日本興業銀行法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年二月十二日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士 阪谷芳郎

法律第二號 (官報二月十三日)

日本興業銀行法中左ノ通改正ス

第二條中「一千萬圓」ヲ「一千七百五十萬圓」ニ改ム

第三條中「百圓」ヲ「五十圓」ニ改ム

第五條中「總裁」ヲ「總裁副總裁各」ニ改ム

第六條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

總裁ハ日本興業銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

副總裁ハ總裁事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ總裁副總裁ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副總裁及理事ハ總裁ヲ補助シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ日本興業銀行ノ業務ヲ分掌ス

第七條中「總裁」ヲ「總裁及副總裁」百株ヲ「二百株」五十株ヲ「百株」、三十株ヲ「六十株」ニ改ム
第八條第二十七條及第二十八條中「總裁」ヲ「總裁、副總裁」ニ改ム

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日本興業銀行ハ本法施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 本法施行ノ際ニ於ケル株式十萬箇ヲ二十萬箇トシ其ノ半數ハ拂込済ノモノ、他ノ半數ハ拂込未済ノモノトシ本法施行ノ際ニ於ケル株主ノ持株ニ比例シテ分配スヘシ

二 前號ノ拂込未済ノ株式ニ對シテハ遲滞ナク株金額四分ノ一ヲ下ラサル拂込ヲ爲サシムヘシ此ノ場合ニ於テハ商法中株式會社ニ於ケル資本増加ノ場合ニ關スル規定ヲ準用ス

三 株式十五萬箇ヲ増加シ遲滞ナク株金全額ノ拂込ヲ爲サシムヘシ此ノ場合ニ於テハ商法第二百十七條第二項及第二百十八條第一項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

四 前各號ニ關シテ必要ナル登記ハ第二號及第三號ニ付商法第二百十三條ノ規定ニ依リテ招集シタル株主總會終結ノ日ヨリ二週間内ニ之ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テハ株式ノ引受アリタルコトヲ證スル書面ヲ以テ非訟事件手續法第百八十九條第一號及第二號ノ書類ニ代フルコトヲ得

〔參照〕

法律第七十號日本興業銀行法(明治三十三年三月二十三日官報)抄録

第二條 日本興業銀行ノ資本金ハ一千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ増加スルコトヲ得

第三條 日本興業銀行ノ株式ノ金額ハ百圓トス

第五條 日本興業銀行ニ總裁一人理事四人以上監査役三人以上ヲ置ク

第六條 總裁ハ日本興業銀行ヲ代表ス

總裁及理事ハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ日本興業銀行ノ業務ヲ綜理ス

第七條 總裁ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五箇年トス
 理事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シタルニ倍ノ候補者中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ三箇年トス
 監査役ハ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二箇年トス
 第八條 總裁及理事ハ何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス
 第二十七條 日本興業銀行ニ於テ左ノ事犯アリタルトキハ總裁及理事ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ事犯ニ關セサルモハ此ノ限ニ在ラス
 第二十八條 日本興業銀行ノ總裁及理事第八條ノ規定ヲ犯シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

御名 御璽

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣銀行法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十九年二月十七日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣博士阪谷芳郎

法律第三號(官報二月十九日)

臺灣銀行法中左ノ通改正ス

第五條第一項第四號ヲ左ノ如ク改ム

第四 確實ナル擔保アル貸付

同條第二項中「地方債券又ハ勸業債券、農工債券ヲ」地方債券、勸業債券、農工債券又ハ興業債券ニ改ム

第八條第一項中「銀貨二枚ヲ削リ第二項中「一圓銀貨」ヲ「金貨」ニ改ム

第九條第二項中但書ヲ削ル

第十二條中「四人」ヲ「二人」ニ改ム

第十四條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ主務大臣ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行前第八條ニ依リ發行シタル銀行券ハ臺灣銀行本店又ハ支店ニ於テ一圓銀貨ト引換フヘシ但シ臺灣總督ノ定ムル一圓銀貨ノ公納公定相場ニ依リ金貨又ハ本法ニ依リ發行スル銀行券ト引換フルコトヲ得

第九條ニ依ル銀行券ノ發行高ニハ本法施行前發行ノ銀行券ニシテ引換未済ノモノヲ併算ス

〔参照〕

法律第三十八號臺灣銀行法(明治三十年四月一日官報)抄録

第五條 臺灣銀行ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

第四 確實ナル不動產ヲ抵押トシ又ハ勸業ヲ貸トスル貸付

右ノ外營業ノ都合ニ由リ國債證券、地方債券又ハ勸業債券、農工債券ヲ買入ルルコトヲ得

第八條 臺灣銀行ハ券面金額一圓銀貨一枚以上ノ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ銀行券ハ臺灣銀行本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ一圓銀貨ト引換フルモノトス但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第九條 臺灣銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金銀貨ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ

前項準備ニ依レル外銀行券ヲ發行セムトスルハ五百萬圓ヲ限度トシ政府發行ノ紙幣、匯券、兌換銀行券又ハ其ノ他確實ナル證券若ハ商業手形ヲ保證トシテ之ヲ發行スルコトヲ得但シ其ノ發行額ハ前項準備ニ依レル發行額ニ超過スルコトヲ得ス

第十二條 臺灣銀行ニ頭取、副頭取各一人理事四人以上監査役三人以上ヲ置ク

第十四條 頭取、副頭取及理事ハ在任中何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十一年法律第三號廢止法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年二月十七日

法律第四號(官報二月十九日)

明治三十一年法律第三號ハ明治三十八年度限り之ヲ廢止ス

〔參照〕

明治三十一年法律第三號ハ明治二十三年法律第二十號官設鐵道會計法ハ北海道官設鐵道ニ適用セサル件ナリ

御名 御璽

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十五年法律第二十九號中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十九年二月二十日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望
內務大臣 原 敬

法律第五號(官報二月二十一日)

明治三十五年法律第二十九號中「及陸軍警守」ヲ「陸軍警守及女監取締」ニ改ム

附則

臺灣ニ在勤スル女監取締ニ關シテハ明治三十九年四月一日以後ノ勤續年數ヲ巡查看守退隱料及選族扶助料法ニ於ケル勤續年數トス

〔參照〕

明治三十五年五月二十日法律第二十九號ハ臺灣ニ在勤スル巡查看守陸軍監獄看守及陸軍警守退隱料及選族扶助料ニ關スル件ナリ

御名 御璽

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國債整理基金特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十九年三月一日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

法律第六號(官報三月二日)

國債整理基金特別會計法

第一條 國債整理基金ヲ置キ其ノ歲入歲出ハ一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

國債整理基金ハ國債ノ償還發行ニ關スル費途ニ使用スルモノトス

第二條 國債整理基金ニ充ツヘキ資金ハ毎年度一般會計ヨリ之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ル

前項毎年度一般會計ヨリ繰入ルヘキ資金中明治三十七八年戰役ニ關スル經費支辨ノ爲發行シタル國債及其ノ借換ノ爲ニ發行シタル國債ニ關スル分ハ年額一億千萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス
第三條 國債借換ニ依ル募集金其ノ他ノ收入金ハ直接ニ之ヲ國債整理基金特別會計ニ編入スヘシ
第四條 國債整理基金ハ金銀地金及有價證券ヲ以テ之ヲ保有シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ之ヲ運用スルコトヲ得

前項ノ運用ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第五條 政府ハ計算上利益アリト認ムル場合ニ於テ國債借換ノ爲低利ノ國債ヲ募集スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ利率募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

國債借換ノ爲發行スル國債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ整理公債條例ニ依ル

第六條 政府ハ計算上利益アリト認ムルトキハ額面以上ニテモ買入銷却ヲ爲スコトヲ得

第七條 國債整理基金ノ運用ヨリ生ズル損益ハ本特別會計ノ所屬トシテ整理スルモノトス

第八條 國債整理基金ニシテ毎年度内ニ使用セサルモノハ翌年度へ繰越スヘシ

國債整理基金特別會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次繰越使用スルコトヲ得

第九條 政府ハ毎年國債整理基金特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ

帝國議會ニ提出スヘシ

附則

第十條 本法ハ明治三十九年度ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 本法施行前一般會計ニ收入シタル借換國債ノ募集金ニシテ本法施行ノ日ニ於ケル現在

額ハ之ヲ本特別會計ニ繰入ルヘシ

明治三十八年度一般會計ニ於テ前項借換國債ノ募集金ヲ以テスル國債償還ノ歳出豫算ニ於ケル

支出殘額ハ之ヲ本特別會計ニ繰越スヘシ

第十二條 償金特別會計法ハ明治三十八年度限り之ヲ廢止ス

償金特別會計ニ屬スル現金、有價證券及他ノ會計トノ計算ハ、國債整理基金特別會計ニ歸屬スル

モノトス



朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル非常特別稅法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

農商務大臣 松岡康毅

大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎

司法大臣 松田正久

內務大臣 原 敬

法律第七號 (官報 三月二日)

非常特別稅法中左ノ通改正ス

第一條 削除

第二十七條 削除

〔参照〕

法律第三號非常特別稅法(明治三十七年四月一日官報抄録)

第一條 臨時事件ニ因リ生ズル經費ヲ支辨スル爲本法ニ依リ租稅ヲ増徴シ若ハ賦課シ又ハ印紙ヲ増貼シ若ハ貼用セシム

第二十七條 平和克復ニ至リタルトキハ其ノ翌年末日限本法ヲ廢止ス



朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル軍艦水雷艦補充基金ノ組入ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎

法律第八號(官報三月二日)
軍艦水雷艇補充基金特別會計法第三條及第四條ニ依ル組入金ハ明治三十九年度ニ於テハ其ノ組入
ヲ爲ササルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル産業試験費講習費國庫補助法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月九日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
農商務大臣 松岡康毅
大藏大臣 博士阪谷芳郎

法律第九號(官報三月十日)

産業試験費講習費國庫補助法

第一條 本法ニ於テ試験場ト稱スルハ農事工業及水産ニ關スル試験場講習所ト稱スルハ農事工
業及水産ニ關スル講習所ニシテ主務大臣ノ定メタル規程ニ依リ設立シタルモノヲ謂フ
第二條 本法ニ依リテ交付スル補助金ニ充ツル爲國庫ハ毎年金二十萬圓以内ヲ支出ス
第三條 主務大臣ハ府縣ニ於テ設立シ又ハ北海道地方費ヲ以テ設立シタル試験場又ハ講習所ニ對
シ補助金ヲ交付スルコトヲ得
主務大臣ハ補助金ノ用途ヲ指定スルコトヲ得
第四條 補助金ノ交付ハ五箇年ヲ以テ一期トス但シ用途ヲ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ期間満了ノ後仍必要アルトキハ補助ヲ繼續スルコトヲ得

第五條 補助金ノ年額ハ試験場又ハ講習所ノ經費總額ノ二分ノ一以内トス

第六條 主務大臣ハ郡市區立ノ試験場又ハ講習所ニシテ成績顯著ナルモノニ對シ特種ノ試験ニ要
スル材料、機械又ハ裝置ノ費用ヲ補助スルコトヲ得但シ其ノ府縣ニ於テ設立シ又ハ北海道地方
費ヲ以テ設立シタル試験場又ハ講習所ニシテ同種ノ試験ヲ行フモノアルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ補助金ノ額ハ材料、機械又ハ裝置ニ要スル費用ノ二分ノ一以内トス

第七條 試験場又ハ講習所ニシテ其ノ管理不適格ナリト認めタルトキ、補助年期間其ノ經費ヲ繼
續支出セサルトキ又ハ主務大臣ノ定メタル規程若ハ補助ノ條件ニ違反シタルトキハ主務大臣ハ
補助ヲ廢止シ停止シ又ハ其ノ額ヲ減スルコトヲ得

第八條 主務大臣ハ工業ニ關スル實驗工場ニ囑託シ第二條ニ定ムル金額内ニ於テ其ノ費用ヲ支
給スルコトヲ得

附則

第九條 本法ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

府縣農事試験場國庫補助法ハ之ヲ廢止ス

第十條 試験場又ハ講習所ニシテ府縣農事試験場國庫補助法ニ依リ補助ヲ受クルモノハ其ノ補助
年期間本法ニ依リ補助ヲ受クルモノト看做ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル災害地方田畑地租免除ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月十六日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣博士阪谷芳郎

法律第十號(官報三月十七日)

第一條 明治三十八年中災害又ハ天候不良ニ因リ府縣又ハ北海道ノ全部若ハ一部ニ互リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限り之ヲ免除ス

第二條 前條免除ノ申請ハ本法施行後一箇月以内ニ所轄稅務署ニ申出ツヘシ此ノ期間ヲ經過シタルトキハ免除ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ出願シタル者ハ本法ニ依ル地租免除ノ出願ヲ爲シタル者ト看做ス

第三條 本法ニ依リ被害調査中ハ其ノ田畑ノ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

第四條 本法ニ依リ地租ヲ免除セラルヘキ土地ニ付テハ既ニ徵收シタル地租ハ之ヲ還付ス

第五條 本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル作業會計法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月二十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣博士阪谷芳郎

法律第十一號(官報三月二十二日)

作業會計法中左ノ通改正ス

第一條中「廣島鐵山」ヲ「海軍探炭所」ニ改メ第二條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

海軍探炭所据置運轉資本ハ十萬圓トシ漸次一般會計ヨリ繰入ス

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

法律第十七號作業會計法(明治二十三年三月十八日官報)抄錄

第一條 左ノ作業所ハ其事業ヲ經營スル爲メ固定資本據置運轉資本ヲ置キ作業上ノ收入及其附屬雜收入ハ作業ノ費用ニ充ルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第五 廣島鐵山

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月二十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣博士阪谷芳郎

法律第十二號(官報三月二十二日)

國債證券ノ定期買買ニ付テハ取引所稅及非常特別稅ヲ課セス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル民法施行法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月二十日

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 文部大臣 寺內正毅
- 陸軍大臣 松岡康毅
- 農商務大臣 齋藤 實
- 海軍大臣 齋藤 實
- 大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎
- 逓信大臣 山縣伊三郎
- 司法大臣 松田正久
- 內務大臣 原 敬

法律第十三號(官報 三月二十二日)

民法施行法中左ノ通改正ス

第十條 削除

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(參照)

法律第十一號民法施行法(明治三十一年六月二十一日官報)抄錄

第十條 民法中不動産上ノ權利ニ關スル規定ハ舊分ノ内之ヲ沖繩縣ニ施行セム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道敷設法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月二十日

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 陸軍大臣 寺內正毅
- 大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎
- 逓信大臣 山縣伊三郎

法律第十四號(官報 三月二十二日)

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項中羽越線及岩越線ノ部「新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道ヲ」新潟縣下新發田ヨリ村上、山形縣下鶴岡、酒田、秋田縣下木庄ヲ經テ秋田ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ山形縣下米澤ニ至ル鐵道ニ改ム

同項中山陰線ノ部「山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道」ノ下ニ「及本線ヨリ分岐シテ鳥取縣下境ニ至ル鐵道ヲ加フ

第七條第一項第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 北陸線及北越線ノ連絡線富山縣下富山ヨリ新潟縣下直江津ニ至ル鐵道

同項第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 山陰豫定線京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣

下山口近傍ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ鳥取縣下境ニ至ル鐵道中舞鶴ヨリ今市ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ鳥取縣下境ニ至ル鐵道
 同項第十號及第十一號ヲ削ル
 第八條中「二十箇年」ヲ「二十五箇年」ニ改ム

〔參照〕

- 法律第四號鐵道敷設法(明治二十五年六月二十一日官報抄録)
- 第二條 豫定鐵道線路ハ左ノ如シ
- 第七條 豫定線路中左ノ線路ハ第一期間ニ於テ其ノ實測及敷設ニ着手ス
- 第十號及第十一號
- 一 山陰山陽連絡豫定線ノ内兵庫縣下姫路ヨリ生野若ハ笹山ヲ經テ京都府下條鶴又ハ關部ニ至ル鐵道若ハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道中福知山ヨリ綾部ニ至ル鐵道
- 一 山陰山陽聯絡豫定線ノ内兵庫縣下和田山ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道又ハ岡山縣下岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下境ニ至ル鐵道若ハ岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道
- 第八條 第一期鐵道工事ハ起工ノ年ヨリ向フ二十箇年ヲ以テ成敷期限トス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鹽專賣法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月二十九日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望
 大藏大臣法學博士阪谷芳郎

法律第十五號(官報三月三十日)
 鹽專賣法中左ノ通改正ス

第三條及第四條中「鹽」ノ下ニ「及鹹水」ヲ加フ
 第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

智利硝石「カイニット」「セルヴィニット」「ポリハリット」「キーゼリット」「カルナリット」「ハルトザルツ」其ノ他ノ礦物ニシテ其ノ百分中四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ變性ヲ施スニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法ヲ施行セサル地ヨリ移入スルコトヲ得ス

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

鹹水ハ之ヲ讓渡シ、質入シ又ハ鹽製造以外ノ用途ニ使用スルコトヲ得ス但シ鹽製造者ニ讓渡スルハ此ノ限ニ在ラス

第十九條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

- 一 外國ニ輸出シ又ハ本法ヲ施行セサル地ニ移出スルモノ
- 第二十條ノ二 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鹽買業者ノ販賣スル鹽ノ價格ヲ制限スルコトヲ得
- 第三十條ノ二 鹽買業者第二十條ノ二ノ制限ヲ超エテ鹽ヲ販賣シタルトキハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條ノ二 鹹水ニ關シテハ第六條、第九條乃至第十三條、第二十二條、第二十四條、第二十五條、第二十七條乃至第三十條、第三十二條、第三十六條、第三十七條、及第三十九條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 本法施行ノ際鹹水ノミヲ製造スル者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ

其ノ期間内ハ鹹水ノ製造ヲ爲スコトヲ得

〔参照〕

法律第十一號鹽專賣法(明治三十八年一月一日官報抄録)

第三條 鹽ハ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法ヲ施行セサル地ヨリ移入スルコトヲ得ス

第四條 鹽ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス

第十九條 左ニ掲ケル鹽ニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ定價ヲ以テ之ヲ賣渡スコトヲ得

一 外國ニ輸出スルモノ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經テ爾等鹽油稅則中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月二十九日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士阪谷芳郎

法律第十六號(官報三月三十日)

鹽油稅則中左ノ通改正ス

第二條 鹽油製造人ハ左ノ造石稅ヲ納ムヘシ

一 鹽油 諸味一石ニ付 金一圓七十五錢

二 酒 製成一石ニ付 金一圓六十五錢

第十四條 削除

第十六條 削除

第二十條第二項中第十四條第二項ヲ削除

第二十二條 第五條第六條ノ査定ヲ受ケサル者 第八條第九條ヲ犯シタル者又ハ通稅ヲ謀ル爲帳簿ノ記載ヲ詐リタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

鹽油製造人カ本法施行前ニ買受ケタル鹽ヲ以テ仕込ミタル鹽油ニ關シテハ本法施行後ト雖舊稅率ニ依リ造石稅ヲ課ス

改正稅率ニ依リ造石稅ヲ課セラルル鹽油ニ付テハ非常特別稅法ニ依ル鹽油稅ノ増徴ヲ爲サス

〔参照〕

勅令第四十七號鹽油稅則(明治二十二年六月十八日官報抄録)

第二條 鹽油製造人ハ左ノ造石稅ヲ納ムヘシ但自家用料ノミノ鹽油ヲ製造スルモノハ半額トス

造石稅 鹽油ハ諸味一石ニ付 金二圓
酒ハ製成一石ニ付 金一圓

第十四條 鹽油製造人ノ製造スル鹽油ハ他ノ依託ヲ受ケ又ハ自家用料ニ供スルモノト雖モ此稅則ニ從フヘシ

第十六條 自家用料ノ爲メ製造シタル鹽油ハ之ヲ賣渡スコトヲ得ス

第二十條 鹽油製造人ニシテ鹽油ヲ隱蔽シタル者ハ其石數ニ相當スル造石稅三倍ノ罰金ニ處ス

第二十一條 第五條第六條ノ査定ヲ受ケサル者 第八條第九條第十六條ヲ犯シタル者及通稅ヲ謀ル爲メ帳簿ノ記載ヲ詐リタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ第十六條ヲ犯シタル者ハ仍ホ其總石數ニ第二條ノ造石稅ヲ課ス

前項ノ造石稅ハ其際直ニ之ヲ納ムヘシ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道國有法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月三十日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

陸軍大臣 寺内正毅

大藏大臣博士 阪谷芳郎

逓信大臣 山縣伊三郎

法律第十七號(官報 三月三十一日)

鐵道國有法

第一條 一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トス但シ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 政府ハ明治三十九年ヨリ明治四十八年迄ノ間ニ於テ本法ノ規定ニ依リ左ニ掲クル私設鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ買收スヘシ

- 一 北海道炭礦鐵道株式會社
- 一 北海道鐵道株式會社
- 一 日本鐵道株式會社
- 一 岩越鐵道株式會社
- 一 北越鐵道株式會社
- 一 甲武鐵道株式會社

- 一 總武鐵道株式會社
 - 一 房總鐵道株式會社
 - 一 七尾鐵道株式會社
 - 一 關西鐵道株式會社
 - 一 參宮鐵道株式會社
 - 一 京都鐵道株式會社
 - 一 西成鐵道株式會社
 - 一 阪鶴鐵道株式會社
 - 一 山陽鐵道株式會社
 - 一 德島鐵道株式會社
 - 一 九州鐵道株式會社
- 前項ニ掲ケタル各會社ハ他ノ私設鐵道株式會社ト合併シ又ハ他ノ私設鐵道株式會社ノ鐵道ヲ買收スルコトヲ得ス

第三條 前條ニ掲ケタル各鐵道買收ノ期日ハ政府ニ於テ之ヲ指定ス

第四條 政府ハ兼業ニ屬スルモノヲ除クノ外買收ノ日ニ於テ會社ノ現ニ有スル權利義務ヲ承繼ス但シ會社ノ株主ニ對スル權利義務、拂込株金ノ支出殘額並收益勘定、積立金勘定及雜勘定ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 買收價額ハ左ニ掲クルモノトス

- 一 會社ノ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ六營業年度間ニ於ケル建設費ニ對ス

ル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乗シタル額ヲ二十倍シタル金額

二 貯藏物品ノ實費ヲ時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シタル金額但シ借入金ヲ以テ購入シタルモノヲ除ク

前項第一號ニ於テ益金ト稱スルハ營業收入ヨリ營業費、賞與金及收益勘定以外ノ諸勘定ヨリ生シタル利息ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合ト稱スルハ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ每營業年度ニ於ケル建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ

第六條 借入金ハ建設費ニ使用シタルモノニ限り時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

會社カ鐵道及附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ鐵道建設規程ニ依リ期限内ニ改築若ハ改造ヲ爲ササル場合ニ於テハ其ノ補修、改築又ハ改造ニ要スル金額ハ前項ノ例ニ依リ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

第七條 資本勘定ニ屬スル支出ハ借入金ヲ以テシタルモノヲ除クノ外順次ニ建設費及貯藏物品ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス

借入金ノ支出ハ前項ノ支出ノ後ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八條 會社カ明治三十八年前半期ノ營業年度末ニ於テ運輸開始後六營業年度ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場合又ハ第五條第一項第一號ノ金額カ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ政府ハ其ノ建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ第五條第一項第一號ノ金額ニ代フ

第九條 左ニ掲グルル場合ニ於テハ政府ハ審査委員ヲシテ決定ヲ爲サシムヘシ

一 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキ

二 前條ノ場合ニ於テ協定調ハサルトキ

審査委員ノ決定ニ對シ不服アルトキハ會社ハ主務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

第十條 買收ノ執行ハ審査委員ノ審査中ト雖之ヲ停止セス

第十一條 會社カ買收ニ因リテ解散シタルトキハ主務大臣ハ解散ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十二條 買收代價ハ買收ノ日ヨリ五箇年以內ニ於テ券面金額ニ依リ五分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ五十圓トス

會社殘餘財産ノ分配ハ前項公債證書ヲ以テス

買收後公債證書ノ交付ヲ終ル迄ニ要スル清算人ノ職務ニ關スル會社ノ費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ支辨ス

第十三條 政府ハ買收ノ日ヨリ公債證書交付ノ日ニ至ル迄買收價額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額ヲ從前ノ決算期毎ニ會社ニ交付スヘシ

前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第十四條 政府ハ鐵道買收ノ執行ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行ス

第十五條 政府ハ前條ニ依リ發行シタル公債及第四條ニ依リ承繼シタル債務ノ整理ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ利率、募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 前二條ノ公債ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外整理公債條例ヲ適用ス

第十七條 第五條第一項第二號及第六條ニ規定シタル公債時價ハ買收期日前六箇月間ニ於ケル帝國五分利公債ノ平均相場ニ依ル

前項平均相場ハ日本銀行ノ證明ニ依リ政府之ヲ定ム

第十八條 買收ヲ受クヘキ會社カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ル

第九條乃至第十六條ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

第二條ニ掲グル會社ノ本法發布以後ニ於ケル貯藏物品ノ購入、建設費ノ増減及債務ノ負擔ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可ヲ受ケサルモノニ付テハ政府之ヲ承繼セス但シ政府ハ其ノ額ヲ査定シ又ハ相當ノ補償ヲ徴シテ之ヲ承繼スルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル京釜鐵道買收法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月三十日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
兼外務大臣
陸軍大臣 寺內正毅
大藏大臣 博士阪谷芳郎

遞信大臣 山縣伊三郎

法律第十八號(官報三月三十一日)

京釜鐵道買收法

第一條 政府ハ本法ノ規定ニ依リ明治三十九年ニ於テ京釜鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ買收スヘシ買收ノ期日ハ政府ニ於テ之ヲ指定ス

第二條 政府ハ買收ノ日ニ於テ會社ノ現ニ有スル權利義務ヲ承繼ス但シ會社ノ株主ニ對スル權利義務並收益勘定積立金勘定及雜勘定ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條 買收價額ハ左ニ掲グルモノトス

一 拂込株金ノ六分ニ相當スル金額ヲ二十倍シタル金額

二 京仁線ニ於ケル明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ六營業年度間ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額
前項第二號ニ於テ益金ト稱スルハ營業收入ヨリ營業費及收益勘定以外ノ諸勘定ヨリ生シタル利息ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合ト稱スルハ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ每營業年度ニ於ケル建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ

第四條 會社ニ於テ填補スヘキ社債發行ノ差損金ハ會社ノ負擔トス

第五條 左ニ掲グル金額ハ時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

- 一 京仁線ハ繰替使用シタル金額
- 二 京仁線ノ債務ニシテ政府へ返還スヘキ金額

前項第二號ノ金額ハ買收ノ日ヨリ以テ年五分ノ單利引法ニ依リテ之ヲ算定ス

第六條 會社カ鐵道及附屬物件ノ補修ヲ爲ササル場合ニ於テハ其ノ補修ニ要スル金額ハ前條第一項ノ例ニ依リ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

第七條 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキハ政府ハ審査委員ヲシテ決定ヲ爲サシムヘシ

審査委員ノ決定ハ終局トス

第八條 買收ノ執行ハ審査委員ノ審査中ト雖之ヲ停止セス

第九條 會社カ買收ニ因リテ解散シタルトキハ主務大臣ハ解散ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十條 買收代價ハ買收ノ日ヨリ二箇年以内ニ於テ券面金額ニ依リ五分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ五十圓トス

會社殘餘財産ノ分配ハ前項公債證書ヲ以テス

第十一條 政府ハ買收ノ日ヨリ公債證書交付ノ日ニ至ル迄買收價額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額ヲ從前ノ決算期毎ニ會社ニ交付スヘシ

前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中ト雖之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第十二條 政府ハ買收ノ執行ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行ス

第十三條 政府ハ前條ニ依リ發行シタル公債及第二條ニ依リ承繼シタル債務ノ整理ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ利率、募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 前二條ノ公債ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外整理公債條例ヲ適用ス

第十五條 第五條ニ規定シタル公債時價ハ買收期日前六箇月間ニ於ケル帝國五分利公債ノ平均相場ニ依ル

前項平均相場ハ日本銀行ノ證明ニ依リ政府之ヲ定ム

御名 御璽

明治三十九年三月三十日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士 阪谷芳郎

法律第十九號

關稅定率法

第一條 外國ヨリ輸入スル物品ニハ別表ニ依リ輸入稅ヲ課ス

第二條 從價稅ニ代フルニ從量稅ヲ以テスルヲ便宜トスル物品ニ付テハ六箇月以上ノ平均價格ニ依リ換算シ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ從量稅率ハ物品ヲ細別シ又ハ風袋込ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三條 協定稅率ノ適用ヲ受ケサル地域ノ生産品ニ對シ必要アルトキハ勅令ヲ以テ地域及物品ヲ指定シ協定稅率ヲ下ラサル範圍内ニ於テ稅率ヲ定ムルコトヲ得

第四條 本邦ノ船舶又ハ生産品ニ對シ他國ノ船舶又ハ生産品ヨリモ不利益ナル取扱ヲ爲ス國ノ生産品ニ對シテハ勅令ヲ以テ物品ヲ指定シ有稅品ニハ本法ニ定メタル稅率ト同額以下ノ附加稅ヲ

課税無税品ニハ從價五割以下ノ輸入税ヲ賦課スルコトヲ得
第五條 外國ニ於テ輸出獎勵金ヲ受クル物品ニハ勅令ヲ以テ獎勵金ト同額ノ附加税ヲ課スルコトヲ得

第六條 從價税品ノ課税價格ハ生産地若ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送費、保險料其ノ他輸入港ニ到著スル迄ノ諸費ヲ加ヘタルモノトス但シ原價及諸費ニ疑アルトキハ物品ノ輸入港ニ於ケル價格ヨリ輸入税ヲ控除シタルモノヲ以テ課税價格トス
第七條 左ノ物品ニハ輸入税ヲ免ス

- 一 御料品
- 二 本邦ニ來遊スル外國ノ元首、其ノ一族又ハ其ノ從者ニ屬スル物品
- 三 陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器、彈藥及爆發物
- 四 軍艦
- 五 本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使又ハ公使ニ屬スル自用品
- 六 本邦在住者ニ贈與スル勳章、賞牌及記章
- 七 記録文書其ノ他ノ書類
- 八 官立公立ノ學校、博物館、物品陳列所其ノ他ノ營造物ニ陳列スル標本又ハ參考品トシテ輸入スル物品
- 九 慈善又ハ救恤ノ爲ニ寄贈スル物品
- 十 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品
- 十一 商品ノ見本但シ見本用ニノミ適スルモノニ限ル

- 十二 旅客ノ用具及旅客ノ職業上必要ナル器具但シ旅客ノ身分ニ相當スルモノニシテ税關カ適當ト認メタルモノニ限ル
 - 十三 在外軍隊及軍艦ヨリ送還セル物品
 - 十四 個人ニ屬スル引越荷物但シ既ニ使用セラレタルモノニ限ル
 - 十五 輸出シタル物品ニシテ五箇年以内ニ輸入セラレ輸出ノ時ノ性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ酒精、酒類、砂糖及第八條第九條ニ依リ輸入税ノ免除又ハ拂戻ヲ受ケタル物品ヲ除ク
 - 十六 命令ヲ以テ指定シタル輸出貨物ノ容器ニシテ再輸入スルモノ
 - 十七 本邦ヨリ出漁セル船舶ヲ以テ捕獲採取シタル魚介類、海獸、海藻其ノ他ノ水産物及其ノ製品ニシテ工程ノ簡單ナルモノ但シ當該船舶又ハ之ニ附屬セル船舶ヲ以テ輸入シタルモノニ限ル
 - 十八 外國航行ノ艦船ニ船用ノ爲開港内ニ於テ引渡ス物品
 - 十九 難破シタル本邦船舶ノ解體材及融裝品
 - 二十 本邦ヨリ出港シタル船舶ニ搭載シタル輸出貨物ニシテ該船舶難破シタル爲積戻リタルモノ
 - 二十一 國、府、縣ノ輸入スル種馬、種牛及種豚、產馬組合ノ輸入スル種馬又ハ產牛組合ノ輸入スル種牛
- 第八條 左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ一箇年以内ニ再ヒ輸出スルモノニハ輸入税ヲ免ス但シ輸入ノ際税金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス
- 一 加工ノ爲輸入スル物品ニシテ勅令ヲ以テ指定シタルモノ
 - 二 修繕ノ爲輸入スル物品

三 學術研究旅行者使用ノ爲輸入スル物品
 四 試驗品トシテ輸入スルモノ
 五 演劇其ノ他興行用ノ爲輸入スル物品
 第九條 輸入原料品ヲ用非命令ヲ以テ指定シタル物品ヲ製造シ之ヲ外國へ輸出シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ノ定ムル所ニ依リ輸入税ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得
 輸入原料品ヲ用非命令ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得
 詐偽又ハ不正ノ所爲ヲ以テ前二項ノ拂戻金ヲ得又ハ得ムトシタル者ハ關稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス
 第十條 左ニ掲グル物品ハ輸入ヲ禁ス
 一 阿片及阿片吸煙具(政府ノ輸入スルモノヲ除ク)
 二 偽造、變造又ハ模造シタル貨幣、銀行券及帝國政府發行ノ證券
 三 公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書籍、圖畫、彫刻物其ノ他ノ物品
 四 特許、實用新案、意匠、商標及著作權ヲ侵害スル物品
 五 法令ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル物品
 附則
 第十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第十二條 非常特別稅法第二條及第三條中輸入税ニ關スル規定並明治三十三年法律第八十五號ハ之ヲ廢止ス

(別表)

番號	品名	單位	稅率
一	第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)	從價	無稅
二	植物及畜產(栽培用ノモノ)	從價	五分
三	馬	從價	五分
四	牛	從價	五分
五	綿羊及山羊	從價	五分
六	豚	從價	五分
七	家禽類	從價	五分
八	魚介類	從價	五分
九	其ノ他ノ動物	從價	五分
一〇	米及穀類	每百斤	四分
一一	大豆	同	四分
一二	小麥	同	四分
一三	粟	同	四分
一四	小豆	同	四分
一五	蠶豆	同	四分
一六	綠豆	同	四分
一七	黑豆	同	四分
一八	胡麻子	同	四分
一九	荳蔻子	同	四分
二〇	椰子	同	四分
二一	胡椒	同	四分
二二	胡椒	同	四分
二三	胡椒	同	四分
二四	椰子	從價	五分
二五	其ノ他ノ穀物及種子	從價	五分
二六	第三類 飲食物	從價	五分
二七	菓實及種子(砂糖、糊蜜、糖水又ハ水又ハ糖蜜ヲ以テ貯藏シタルモノヲ除ク)	從價	五分
二八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
二九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
三九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
四九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
五九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
六九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
七九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
八九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九一	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九二	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九三	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九四	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九五	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九六	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九七	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九八	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
九九	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分
一〇〇	一 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 二 罐詰、罐詰又ハ蜜詰 三 罐詰、罐詰又ハ蜜詰	從價	五分

七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九
珊瑚	蟹甲	獸筋	獸筋	獸筋	獸筋	獸筋	獸毛(羊毛、山羊毛及駱駝毛)
三	一	四	三	二	一	四	一
其ノ他	甲及ツメ	其ノ他	鹿角	海馬牙	象牙	象牙	豚毛
從	同	從	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同
價	價	價	價	價	價	價	價
四	一五〇〇	無	二	二〇〇〇	四五二〇	無	無
割	七三〇〇	稅	割	割	割	稅	割
九九	九八	九七	九六	九五	九四	九三	八二
白糖	丁香	人遺髮香	椰子根	椰子根	椰子根	椰子根	海綿
同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同
價	價	價	價	價	價	價	價
六二七〇	七二〇〇	一六五〇	一五〇〇	一八四〇	二二五〇	二九〇〇	六
四六〇	七二〇	一六五〇	一五〇〇	一八四〇	二二五〇	二九〇〇	割

〇〇	〇一	〇二	〇三	〇四	〇五	〇六	〇七	〇八	〇九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	
阿仙那及檳榔香	沒食子及五倍子	亞拉馬亞膠	トラガカント膠	砂刺克	阿膠	ゼラチン	魚膠	デキストリン	黃燐及赤燐	醋醃	酒石酸	微黑尖酸	石炭酸	枸橼酸	魚性沒食酸	單寧酸	苛性曹達	炭酸曹達(曹達灰)	炭酸曹達(智利硝石)	一 粗製ノモノ	二 精製ノモノ	微黑尖酸曹達	阿仙那及檳榔香			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價
〇、六〇	二、〇〇	三、七五	二、九〇	一、五二〇	一、七九〇	二、五八〇	一、八七〇	一、五二〇	無	一、九〇	二、九〇	五、六〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	無	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	
特魯兒酸類(亞斯、青化類)	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	亞斯及青化曹達	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	
無	一、八〇	二、七三	〇、四四	八、九〇	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	二、二八	

一五〇	炭酸ナトリウム	同	同	九八六〇	一六三	椰子油	同	同	三	四、一〇
一五一	アニリンソルト	同	同	三五五〇	一六四	其二	同	同	三	一、五〇
一五二	殺菌粉	同	同	一五八〇	一六五	椰子油	同	同	三	三、九〇
一五三	酒精類(阿片丁幾ヲ除ク)	同	同	〇、六五	一六六	椰子油	同	同	三	三、三〇
一五四	プラスチック	同	同	三	一六七	椰子油	同	同	三	三、〇〇
一五五	ガゼ及糊帶	同	同	三	一六八	椰子油	同	同	三	三、〇〇
一五六	膠液及オブライト	同	同	三	一六九	椰子油	同	同	三	三、〇〇
一五七	其ノ他ノ諸藥材、化學藥及製藥	同	同	三	一七〇	椰子油	同	同	三	三、〇〇
一五八	丸藥、散藥、塗藥其ノ他ノ調劑藥	同	同	三	一七一	椰子油	同	同	三	三、〇〇
一五九	植物性揮發油	同	同	三	一七二	椰子油	同	同	三	三、〇〇
	一 桂皮油	同	同	四五、〇〇	一七三	椰子油	同	同	三	三、〇〇
	二 シトロネラ油	同	同	三三、三〇	一七四	椰子油	同	同	三	三、〇〇
	三 ラウエンダー油及バ	同	同	二〇、〇〇	一七五	椰子油	同	同	三	三、〇〇
	四 ガモット油	同	同	二〇、〇〇	一七六	椰子油	同	同	三	三、〇〇
	五 松樹油	同	同	二〇、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	六 甲 繼入又ハ樽入ノモ	同	同	二、四八		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	乙 其ノ他	同	同	三、二〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	五 其ノ他	同	同	三、二〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
一六〇	亞麻子油	同	同	二、四八		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	一 繼入又ハ樽入ノモ	同	同	一、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	二 其ノ他	同	同	一、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
一六一	蓖麻子油	同	同	一、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	一 繼入又ハ樽入又ハ蓋入ノモ	同	同	二、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
	二 其ノ他	同	同	二、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇
一六二	阿列布油	同	同	二、〇〇		椰子油	同	同	三	三、〇〇

一七七	天然藍	同	同	一五、八〇	一九七	源青	同	同	〇、四五
	一 乾キタルモノ	同	同	三五	一九八	源青	同	同	〇、四五
	二 液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	三五	一九九	源青	同	同	〇、四五
一七八	人造藍	同	同	六三、四〇	二〇〇	源青	同	同	〇、四五
	一 乾キタルモノ	同	同	二、〇〇	二〇一	源青	同	同	〇、四五
	二 液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	二、〇〇	二〇二	源青	同	同	〇、四五
一七九	イソゾゴカミミン	同	同	二、〇〇	二〇三	源青	同	同	〇、四五
一八〇	橘皮	同	同	八、九〇	二〇四	源青	同	同	〇、四五
一八一	紅花	同	同	〇、二〇	二〇五	源青	同	同	〇、四五
	一 餅紅花	同	同	〇、二〇	二〇六	源青	同	同	〇、四五
	二 其ノ他	同	同	〇、二〇	二〇七	源青	同	同	〇、四五
一八二	染黄	同	同	〇、八〇	二〇八	源青	同	同	〇、四五
一八三	ロダウード越幾斯	同	同	三、三〇	二〇九	源青	同	同	〇、四五
一八四	アニリン染料	同	同	三、三〇	二一〇	源青	同	同	〇、四五
一八五	アリザリン染料	同	同	三、三〇	二一一	源青	同	同	〇、四五
	一 乾キタルモノ	同	同	二、七、八〇	二一二	源青	同	同	〇、四五
	二 液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	二、七、八〇	二一三	源青	同	同	〇、四五
一八六	酸化古拔爾篇	同	同	九、五〇	二一四	源青	同	同	〇、四五
一八七	金液、銀液及白金液	同	同	八、五〇	二一五	源青	同	同	〇、四五
一八八	ブラシアンプリニ	同	同	一、八、〇〇	二一六	源青	同	同	〇、四五
一八九	耶膏	同	同	一、〇、〇〇	二一七	源青	同	同	〇、四五
一九〇	鉛粉	同	同	二、八、五〇	二一八	源青	同	同	〇、四五
一九一	白色亞鉛粉	同	同	一、八、〇〇	二一九	源青	同	同	〇、四五
一九二	朱及辰砂	同	同	二、〇、〇〇	二二〇	源青	同	同	〇、四五
一九三	ベント	同	同	四、一、〇〇	二二一	源青	同	同	〇、四五
一九四	漆	同	同	六、三、〇〇	二二二	源青	同	同	〇、四五
一九五	ヴァニシユ	同	同	一、一、〇〇	二二三	源青	同	同	〇、四五
一九六	木タール及石炭タール	同	同	一、一、〇〇	二二四	源青	同	同	〇、四五

二二二	一 瓦斯機、マイセライズ 其ノ他類似ノモノ	同	每百斤	二一、五〇	二二二	一 綿製ノモノ	同	每百斤	二二、九〇
二二三	二 其ノ他	同	每百斤	二九、〇〇	二二二	二 其ノ他	同	每百斤	六、二五
二二四	亞麻、大麻、苧麻、ラミー其ノ他ノ植物纖維	同	每百斤	無	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	一、二九〇
二二五	亞麻纖維	同	每百斤	一八、五〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	五、九〇
二二六	亞麻纖維	同	每百斤	四二、二〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	六、二五
二二七	大麻、苧麻、ラミー及黃麻纖維	同	每百斤	無	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	一、二九〇
二二八	大麻、苧麻、ラミー及黃麻纖維	同	每百斤	無	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	五、九〇
二二九	羊毛、山羊毛及駱駝毛	同	每百斤	無	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	六、二五
二二〇	毛織物用ノミニニ適スルモノ	同	每百斤	二一、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	一、二九〇
二二一	二 其ノ他	同	每百斤	二六、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	六、二五
二二二	生皮、羊、鹿、斗、鼠、及層絲	同	每百斤	無	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	一、二九〇
二二三	生絲、玉絲及撥絲	同	每百斤	一、〇五分	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	五、九〇
二二四	野蠶絲	同	每百斤	一、六四、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	六、二五
二二五	紡績絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	一、二九〇
二二六	絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	五、九〇
二二七	人造絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	六、二五
二二八	北ノ他ノ絲	同	每百斤	三、一〇、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	一、二九〇
二二九	絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	五、九〇
二三〇	超スサルモノ)及線	同	每百斤	三、一〇、〇〇	二二三	細索(徑五ミリメートルヲ超スサルモノ)及線	同	每百斤	六、二五

二五六	一 瓦斯機、マイセライズ 其ノ他類似ノモノ	同	每百斤	二一、五〇	二六九	絹織物	同	每百斤	五、六一
二五七	二 其ノ他	同	每百斤	二九、〇〇	二七〇	絹織物	同	每百斤	九、五〇
二五八	亞麻、大麻、苧麻、ラミー其ノ他ノ植物纖維	同	每百斤	無	二七一	絹織物	同	每百斤	三、〇四
二五九	亞麻纖維	同	每百斤	一八、五〇	二七二	天鵝絨(絹製又ハ絹入ノモノ)	同	每百斤	四、九〇
二六〇	亞麻纖維	同	每百斤	四二、二〇	二七三	別號ニ掲ケサル純絹布	同	每百斤	四、九〇
二六一	亞麻纖維	同	每百斤	無	二七四	別號ニ掲ケサル交織布	同	每百斤	四、九〇
二六二	大麻、苧麻、ラミー及黃麻纖維	同	每百斤	無	二七五	一 絹入ノモノ	同	每百斤	四、九〇
二六三	大麻、苧麻、ラミー及黃麻纖維	同	每百斤	無	二七六	二 其ノ他	同	每百斤	四、九〇
二六四	羊毛、山羊毛及駱駝毛	同	每百斤	二一、〇〇	二七七	一 連製ノモノ	同	每百斤	〇、三七
二六五	毛織物用ノミニニ適スルモノ	同	每百斤	二六、〇〇	二七八	甲 絹製ノモノ	同	每百斤	〇、二二
二六六	二 其ノ他	同	每百斤	二六、〇〇		乙 亞麻製ノモノ	同	每百斤	〇、八八
二六七	生皮、羊、鹿、斗、鼠、及層絲	同	每百斤	無		丙 絹製又ハ絹入ノモノ	同	每百斤	〇、四六
二六八	生絲、玉絲及撥絲	同	每百斤	一、〇五分		丁 絹製又ハ絹入ノモノ	同	每百斤	〇、四六
	野蠶絲	同	每百斤	一、六四、〇〇		戊 其ノ他	同	每百斤	〇、四六
	紡績絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇			同	每百斤	〇、四六
	絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇			同	每百斤	〇、四六
	人造絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇			同	每百斤	〇、四六
	北ノ他ノ絲	同	每百斤	三、一〇、〇〇			同	每百斤	〇、四六
	絹織物	同	每百斤	三、一〇、〇〇			同	每百斤	〇、四六
	超スサルモノ)及線	同	每百斤	三、一〇、〇〇			同	每百斤	〇、四六

三七一	亞鉛	一 塊及錠	每百斤	〇、七二	一 塊及錠	從	價	七、分五厘
		二 板	同	三、八二	二 條、竿、紐、帶、線、板、筒、管、アングル、形、其、他、類、似、ノ、モノ、(粧、飾、品、ヲ、除、ク)	同	同	二 割
		甲 ニツケル鍍シタルモノ	同	無	三 屑及放(改造用ノミニ適スルモノ)	同	同	七、分五厘
		乙 其ノ他	同	二、二七	第十六類 金屬製品	同	同	無
		イ 二號板	每百斤	〇、五七	一 本邦通貨及外國金銀貨幣	從	價	一 無
		ロ 其ノ他	同	四、六五	二 其ノ他	從	價	一 無
三七三	ニツケル	一 粒及塊	同	二 割	三 錫箔	從	價	一 無
		二 條、竿、紐、帶、線、板及管	同	三、九六	三 其ノ他	從	價	一 九、六〇
三七四	水銀	アルミニウム	每百斤	七、二〇	一 錫箔	從	價	一 九、八〇
		一 塊及錠	同	三、八四	二 背銅粉	從	價	二 割五分
		二 條、線、板及管	同	三、八五	三 其ノ他	從	價	〇、六三
三七五	安知母尼	眞鍮及黃銅	每百斤	六、七〇	一 手縫用針	同	價	〇、一〇
		一 條及竿	同	七、四〇	二 縫衣機用針	同	價	三、九〇
		二 線及板	同	九、四〇	三 其ノ他	從	價	〇、四五
		三 筒及管	同	二、〇六	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	一、四、五〇	二 其ノ他	同	價	〇、一六
三七六	眞鍮及黃銅	日耳曼銀(條、竿、線及板)	同	三、八七	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		一 條及竿	同	三、八八	二 其ノ他	同	價	〇、一六
		二 線及板	同	三、八五	一 釘、リベット、螺絲釘、牛牡螺、旋釘類	同	價	六、〇一
		三 筒及管	同	三、八六	一 釘(鍍製又ハ銅製ノモノ)	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	三、八七	二 其ノ他	同	價	六、〇一
三七七	眞鍮及黃銅	日耳曼銀(條、竿、線及板)	同	三、八七	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		一 條及竿	同	三、八八	二 其ノ他	同	價	六、〇一
		二 線及板	同	三、八五	一 釘、リベット、螺絲釘、牛牡螺、旋釘類	同	價	六、〇一
		三 筒及管	同	三、八六	一 釘(鍍製又ハ銅製ノモノ)	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	三、八七	二 其ノ他	同	價	六、〇一
三七八	眞鍮及黃銅	日耳曼銀(條、竿、線及板)	同	三、八七	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		一 條及竿	同	三、八八	二 其ノ他	同	價	六、〇一
		二 線及板	同	三、八五	一 釘、リベット、螺絲釘、牛牡螺、旋釘類	同	價	六、〇一
		三 筒及管	同	三、八六	一 釘(鍍製又ハ銅製ノモノ)	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	三、八七	二 其ノ他	同	價	六、〇一
三七九	眞鍮及黃銅	日耳曼銀(條、竿、線及板)	同	三、八七	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		一 條及竿	同	三、八八	二 其ノ他	同	價	六、〇一
		二 線及板	同	三、八五	一 釘、リベット、螺絲釘、牛牡螺、旋釘類	同	價	六、〇一
		三 筒及管	同	三、八六	一 釘(鍍製又ハ銅製ノモノ)	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	三、八七	二 其ノ他	同	價	六、〇一
三八〇	眞鍮及黃銅	日耳曼銀(條、竿、線及板)	同	三、八七	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		一 條及竿	同	三、八八	二 其ノ他	同	價	六、〇一
		二 線及板	同	三、八五	一 釘、リベット、螺絲釘、牛牡螺、旋釘類	同	價	六、〇一
		三 筒及管	同	三、八六	一 釘(鍍製又ハ銅製ノモノ)	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	三、八七	二 其ノ他	同	價	六、〇一
三八一	眞鍮及黃銅	日耳曼銀(條、竿、線及板)	同	三、八七	一 金製ノモノ	同	價	六、〇一
		一 條及竿	同	三、八八	二 其ノ他	同	價	六、〇一
		二 線及板	同	三、八五	一 釘、リベット、螺絲釘、牛牡螺、旋釘類	同	價	六、〇一
		三 筒及管	同	三、八六	一 釘(鍍製又ハ銅製ノモノ)	同	價	六、〇一
		四 放(改造用ノミニニ適スルモノ)	同	三、八七	二 其ノ他	同	價	六、〇一

三九一	電鍍シタルモノ	一 電鍍シタルモノ	每百斤	四、二〇	工匠、器具及同部分品	同	價	二、三五
		二 銅製ノモノ	同	一、六〇	一 鐵砧	同	價	四、六五
		三 鋼製ノモノ	同	一、五〇	二 鐵粗	同	價	一〇、九〇
		四 眞鍮製ノモノ	從	二、〇〇	三 レンチ	同	價	四、〇〇
		五 牛牡螺、旋釘及ワッシャー(鐵製ノモノ)	從	三、〇〇	四 ヴァイス	同	價	三、二七
		六 リベット(鐵製ノモノ)	從	二、〇〇	五 ショヴエル及スクーパ(柄アルモノ)	同	價	三、二七
		七 ドック、ス、パイ、ク、ス(鐵製ノモノ)	從	一、八〇	六 其ノ他	同	價	三、二七
		八 プラント、プロテクター(鐵製ノモノ)	從	五、四〇	刃物(金銀製、鍍金銀製及別號ニ掲ケタルモノヲ除ク)	同	價	一、六八
		九 其ノ他	從	三、九四	鉛及鉛錫	同	價	二、〇三
		一〇 建築材、橋梁材、電線支柱其ノ他類似ノ材料	同	三、九五	鐵鏈	同	價	一、六八
		一一 海峽電線、地下電線其ノ他	同	三、九六	懷中時計用鏈	同	價	二、〇三
		一二 絶縁電線	同	三、九七	一 金製又ハ白金製ノモノ	同	價	一、六八
		一三 戸鎖(鐵製又ハ眞鍮製ノモノ)	同	三、九八	二 鍍金シタルモノ	同	價	一、四、三〇
		一四 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	三 其ノ他	同	價	一、四、三〇
		一五 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	スチール	同	價	九、四五
		一六 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	珠那ヲ施シタル鐵器	同	價	九、四五
		一七 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	咖啡粉碎器及裁肉器	同	價	九、四五
		一八 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	コック及バルブ類	同	價	九、四五
		一九 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	一 鐵製ノモノ	同	價	九、四五
		二〇 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	二 眞鍮製ノモノ	同	價	九、四五
		二一 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	三 其ノ他	同	價	九、四五
		二二 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	呼鈴及車用呼鈴	同	價	九、四五
		二三 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	金製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		二四 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		二五 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		二六 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		二七 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		二八 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		二九 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三〇 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三一 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三二 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三三 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三四 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三五 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三六 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三七 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三八 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		三九 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		四〇 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		四一 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		四二 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		四三 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		四四 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五
		四五 眞鍮製ノモノ	同	三、九八	銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	價	九、四五

四五二	電信機、電話機及同部分品	同	二割五分	四五二	甲板	同	〇、六〇
四五三	汽機	同	二割五分	四五三	乙 丸材及角材	同	四、五六
四五四	蒸汽機、瓦斯機、石油機、及同部分品	同	一割五分	四五四	六 其ノ他	同	〇、五二
四五五	金工機、木工機及同部分品	同	一割五分	四五五	薪材	同	〇、〇五
四五六	紡織機、製織機及同部分品	同	一割五分	四五六	木炭	同	一割五分
四五七	其ノ他ノ機械及同部分品	同	一割五分	四五七	骨炭	同	〇、七九
四五八	コブラ	同	無	四五八	電燈用カーボンロッド	同	〇、八六
四五九	フノリ	同	無	四五九	製紙用バルブ	同	〇、二五
四六〇	石花菜	同	無	四六〇	スバルアリ	同	二
四六一	膠皮用樹皮	同	無	四六一	麥稈	同	二〇、三〇
四六二	一 割リタルモノ	同	〇、四二	四六二	一 幅一インチノ四分ノ	同	七、七六
四六三	二 其ノ他	同	〇、九四	四六三	二 幅一インチノ八分ノ	同	三、三五
四六四	三 樹皮	同	一、三二	四六四	三 幅一インチノ八分ノ	同	三〇、五〇
	四 其ノ他	同	一、六六	四六五	三 其ノ他	同	一九、七〇
	一 花梨木、鐵刀木、黃楊	同	八、九二	四六六	フルト製糖機	同	三〇、五〇
	二 木紅木、紫檀及黒檀	同	〇、六三	四六七	帽子用裏革(模造革ヲ含ム)	同	一、九七
	三 リグナム、ウアイタ	同	〇、六〇	四六八	一 包	同	三
	四 チーキ	同	〇、六〇	四六九	二 襪	同	三
	五 オレゴンパイン、フ	同	一、八〇	四七〇	三 其ノ他	同	三
	六 アー及シダー	同	一、八〇	四七一	四 椰皮	同	三
		同	一、八〇	四七二	五 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七三	六 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七四	七 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七五	八 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七六	九 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七七	十 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七八	十一 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四七九	十二 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八〇	十三 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八一	十四 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八二	十五 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八三	十六 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八四	十七 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八五	十八 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八六	十九 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八七	二十 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八八	二十一 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四八九	二十二 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九〇	二十三 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九一	二十四 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九二	二十五 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九三	二十六 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九四	二十七 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九五	二十八 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九六	二十九 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九七	三十 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九八	三十一 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	四九九	三十二 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	五〇〇	三十三 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	五〇一	三十四 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	五〇二	三十五 其ノ他	同	三
		同	一、八〇	五〇三	三十六 其ノ他	同	三

四七七	二 其ノ他	同	二割五分	四七七	一 椰	同	六、七、五〇
四七八	麥芽	同	二〇〇	四七八	二 其ノ他	同	四
四七九	飼料	同	〇、一六	四七九	三 其ノ他	同	二
四八〇	一 乾草	同	〇、一六	四八〇	四 其ノ他	同	二
四八一	二 其ノ他	同	〇、一六	四八一	五 其ノ他	同	二
四八二	天蠶絲	同	〇、一六	四八二	六 其ノ他	同	二
四八三	封蠟	同	〇、一六	四八三	七 其ノ他	同	二
四八四	ローラーコンポジション	同	〇、一六	四八四	八 其ノ他	同	二
	一 生	同	無	四八五	九 其ノ他	同	二
	二 軟質ノモノ	同	無	四八六	十 其ノ他	同	二
	三 厚一ミリメートル	同	無	四八七	十一 其ノ他	同	二
	四 超エサルモノ	同	無	四八八	十二 其ノ他	同	二
	五 其ノ他	同	無	四八九	十三 其ノ他	同	二
四八五	一 生	同	無	四九〇	十四 其ノ他	同	二
	二 軟質ノモノ	同	無	四九一	十五 其ノ他	同	二
	三 厚一ミリメートル	同	無	四九二	十六 其ノ他	同	二
	四 超エサルモノ	同	無	四九三	十七 其ノ他	同	二
	五 其ノ他	同	無	四九四	十八 其ノ他	同	二
四八六	一 生	同	無	四九五	十九 其ノ他	同	二
	二 軟質ノモノ	同	無	四九六	二十 其ノ他	同	二
	三 厚一ミリメートル	同	無	四九七	二十一 其ノ他	同	二
	四 超エサルモノ	同	無	四九八	二十二 其ノ他	同	二
	五 其ノ他	同	無	四九九	二十三 其ノ他	同	二
	六 其ノ他	同	無	五〇〇	二十四 其ノ他	同	二
	七 其ノ他	同	無	五〇一	二十五 其ノ他	同	二
	八 其ノ他	同	無	五〇二	二十六 其ノ他	同	二
	九 其ノ他	同	無	五〇三	二十七 其ノ他	同	二
	十 其ノ他	同	無	五〇四	二十八 其ノ他	同	二
	十一 其ノ他	同	無	五〇五	二十九 其ノ他	同	二
	十二 其ノ他	同	無	五〇六	三十 其ノ他	同	二
	十三 其ノ他	同	無	五〇七	三十一 其ノ他	同	二
	十四 其ノ他	同	無	五〇八	三十二 其ノ他	同	二
	十五 其ノ他	同	無	五〇九	三十三 其ノ他	同	二
	十六 其ノ他	同	無	五一〇	三十四 其ノ他	同	二
	十七 其ノ他	同	無	五一一	三十五 其ノ他	同	二
	十八 其ノ他	同	無	五一二	三十六 其ノ他	同	二
	十九 其ノ他	同	無	五一三	三十七 其ノ他	同	二
	二十 其ノ他	同	無	五一四	三十八 其ノ他	同	二
	二十一 其ノ他	同	無	五一五	三十九 其ノ他	同	二
	二十二 其ノ他	同	無	五一六	四十 其ノ他	同	二
	二十三 其ノ他	同	無	五一七	四十一 其ノ他	同	二
	二十四 其ノ他	同	無	五一八	四十二 其ノ他	同	二
	二十五 其ノ他	同	無	五一九	四十三 其ノ他	同	二
	二十六 其ノ他	同	無	五二〇	四十四 其ノ他	同	二
	二十七 其ノ他	同	無	五二一	四十五 其ノ他	同	二
	二十八 其ノ他	同	無	五二二	四十六 其ノ他	同	二
	二十九 其ノ他	同	無	五二三	四十七 其ノ他	同	二
	三十 其ノ他	同	無	五二四	四十八 其ノ他	同	二
	三十一 其ノ他	同	無	五二五	四十九 其ノ他	同	二
	三十二 其ノ他	同	無	五二六	五十 其ノ他	同	二
	三十三 其ノ他	同	無	五二七	五十一 其ノ他	同	二
	三十四 其ノ他	同	無	五二八	五十二 其ノ他	同	二
	三十五 其ノ他	同	無	五二九	五十三 其ノ他	同	二
	三十六 其ノ他	同	無	五三〇	五十四 其ノ他	同	二
	三十七 其ノ他	同	無	五三一	五十五 其ノ他	同	二
	三十八 其ノ他	同	無	五三二	五十六 其ノ他	同	二
	三十九 其ノ他	同	無	五三三	五十七 其ノ他	同	二
	四十 其ノ他	同	無	五三四	五十八 其ノ他	同	二
	四十一 其ノ他	同	無	五三五	五十九 其ノ他	同	二
	四十二 其ノ他	同	無	五三六	六十 其ノ他	同	二
	四十三 其ノ他	同	無	五三七	六十一 其ノ他	同	二
	四十四 其ノ他	同	無	五三八	六十二 其ノ他	同	二
	四十五 其ノ他	同	無	五三九	六十三 其ノ他	同	二
	四十六 其ノ他	同	無	五四〇	六十四 其ノ他	同	二
	四十七 其ノ他	同	無	五四一	六十五 其ノ他	同	二
	四十八 其ノ他	同	無	五四二	六十六 其ノ他	同	二
	四十九 其ノ他	同	無	五四三	六十七 其ノ他	同	二
	五十 其ノ他	同	無	五四四	六十八 其ノ他	同	二
		同	無	五四五	六十九 其ノ他	同	二
		同	無	五四六	七十 其ノ他	同	二
		同	無	五四七	七十一 其ノ他	同	二
		同	無	五四八	七十二 其ノ他	同	二
		同	無	五四九	七十三 其ノ他	同	二
		同	無	五五〇	七十四 其ノ他	同	二
		同	無	五五一	七十五 其ノ他	同	二
		同	無	五五二	七十六 其ノ他	同	二
		同	無	五五三	七十七 其ノ他	同	二
		同	無	五五四	七十八 其ノ他	同	二
		同	無	五五五	七十九 其ノ他	同	二
		同	無	五五六	八十 其ノ他	同	二
		同	無	五五七	八十一 其ノ他	同	二
		同	無	五五八	八十二 其ノ他	同	二
		同	無	五五九	八十三 其ノ他	同	二
		同	無	五六〇	八十四 其ノ他	同	二
		同	無	五六一	八十五 其ノ他	同	二
		同	無	五六二	八十六 其ノ他	同	二
		同	無	五六三	八十七 其ノ他	同	二
		同	無	五六四	八十八 其ノ他	同	二
		同	無	五六五	八十九 其ノ他	同	二
		同	無	五六六	九十 其ノ他	同	二
		同	無	五六七	九十一 其ノ他	同	二
		同	無	五六八	九十二 其ノ他	同	二
		同	無	五六九	九十三 其ノ他	同	二
		同	無	五七〇	九十四 其ノ他	同	二
		同	無	五七一	九十五 其ノ他	同	二
		同	無	五七二	九十六 其ノ他	同	二
		同	無	五七三	九十七 其ノ他	同	二
		同	無	五七四	九十八 其ノ他	同	二
		同	無	五七五	九十九 其ノ他	同	二
		同	無	五七六	一百 其ノ他	同	二
		同	無	五七七		同	二
		同	無	五七八		同	二
		同	無	五七九		同	二
		同	無	五八〇		同	二
		同	無	五八一		同	二
		同	無	五八二		同	二
		同	無	五八三		同	二
		同	無	五八四		同	二
		同	無	五八五		同	二
		同	無	五八六		同	二
		同	無	五八七		同	二
		同	無	五八八		同	二
		同	無	五八九		同	二
		同	無	五九〇		同	二
		同	無	五九一		同	二
		同	無	五九二		同	二
		同	無	五九三		同	二
		同	無	五九四		同	二
		同	無	五九五		同	二
		同	無	五九六		同	二
		同	無	五九七		同	二
		同	無	五九八		同	二
		同	無	五九九		同	二

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル軍人恩給法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月三十一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺內正毅
海軍大臣 齋藤 實

法律第二十號(官報四月二日)

軍人恩給法中左ノ通改正ス

第六條但書中「四十年」ヲ「五十年」ニ改ム

第九條第一號中「二肢以上」ヲ「二肢」ニ改ム

第十條ニ左ノ一項ヲ加フ

前條第一號ニ該當スル傷痕疾病ニ加フルニ同第一號乃至第六號ノ一ニ該當スル傷痕ヲ受ケ又ハ
疾病ニ罹リタル者ハ其ノ症候ノ等差ニ應シ第三號表甲號又ハ乙號第一項ノ金額十分ノ六以内ヲ
増給ス

第十四條中「輕症」ニシテ免除恩給ヲ受ケサル者ヲ「輕症ナル者」ニ改ム

第十五條中「十二箇年分」ヲ「十箇年分」ニ改ム

第一號表ニ別表一、第二號表ニ別表二ノ如ク追加シ第三號表ヲ別表三ノ如ク改ム

第三號 增加恩給表

種別	官		將官及相當官		佐尉官及相當官		判任官		下士	卒
	現任	高	一	二	三	四	五			
甲	第一項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第二項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第三項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第四項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第五項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第六項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
乙	第一項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第二項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第三項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第四項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第五項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百
	第六項	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百	二千四百

〔參照〕 法律第四十五號軍人恩給法明治二十三年六月二十一日官報抄録

第六條 退職恩給、免除恩給年限八軍人恩給ヲ受ケルハ其事故ノ生シタルトキノ現官階ト其服役年數トニ從ヒ第一號表若クハ第二號表ニ依テ之ヲ給ス但現役四十年以上ノ者ニ給スハキ恩給ハ四十年ノ額又十一年未滿ノ者ニ給スハキ恩給ハ十一年ノ額トス

第九條 增加恩給ハ戰陣及戰時平時ニ拘ハラズ公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ニ退職恩給、免除恩給ノ外特ニ給スルモノトス

一 兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡シタルトキ

第十四條 眼恤金ハ下士以下左ニ掲クル事項ノ一ニ當リ第九條第六日ヨリ輕症ニシテ免除恩給ヲ受ケサル者ニ之ヲ給ス

第十五條 眼恤金ハ前條ニ該當スル傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキノ現官階ニ應ジ前條第一ニ當ル者ハ第三號表甲欄第六項ノ一箇年分ヨリ少カラス十三箇年分ヨリ多カラス前條第二ニ當ル者ハ同表乙欄第六項ノ一箇年分ヨリ少カラス十三箇年分ヨリ多カラス額トス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治二十三年法律第七十五號中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月三十一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺內正毅
內務大臣 原 敬

法律第二十一號(官報四月一日)

明治三十三年法律第七十五號中左ノ通改正ス

第一條中「臺灣」ノ下ニ「又ハ樺太」ヲ加フ

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ樺太ニ在勤スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ在職月數ニモ之ヲ適用ス

〔參照〕

法律第七十五號(明治三十三年三月三十一日官報)抄録

第一條 舊制ニ在勤スル文官判任以上ノ者ニシテ三箇年以上引續キ在職シタル者ニハ官吏恩給法官吏遺族扶助法ノ在官年數計算ニ於テ其ノ在職一箇月ニ對シテ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ加算シタル年數ハ軍人恩給法ニ於テ文官服務中ノ日數中ニ算入ス

第一項ノ加算ハ舊制ニ到著シタル日ニ始マル

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十三年法律第七十六號中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月三十一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

陸軍大臣 寺內正毅

海軍大臣 齋藤 實

法律第二十二號(官報 四月一日)

明治三十三年法律第七十六號中左ノ通改正ス

第一條中「臺灣」ノ下ニ「又ハ樺太」ヲ加フ

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ樺太ニ服役スル者ヲ關シテハ本法施行前ヨリノ服役月數ニモ之ヲ適用ス

〔參照〕

法律第七十六號(明治三十三年三月三十一日官報)抄録

第一條 舊制ニ於テ服役スル軍人ニシテ六箇月以上引續キ服役シタル者ニハ軍人恩給法ノ服役年數計算ニ於テ其ノ服役一箇月ニ對シ現役外ノ年月トシテ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年又ハ外國航海年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ加算シタル年數ハ官吏恩給法ニ於テ在官年數中ニ算入ス

第一項ノ加算ハ舊制ニ到著シタル日ニ始マル

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル輸出羽二重精練業法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月五日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

農商務大臣 松岡康毅

法律第二十三號(官報 四月六日)

輸出羽二重精練業法

第一條 輸出羽二重ノ精練業ヲ營ムトスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ精練ノ方法工場ノ設備

其ノ他精練ニ關シ必要ナル事項ヲ具シ地方長官ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 主務大臣ハ精練ノ方法工場ノ設備其ノ他精練ニ關シ必要ナル命令ヲ發シ及處分ヲ爲ス

コトヲ得

第三條 主務大臣及地方長官ハ官吏ヲシテ精練所ニ臨檢セシメ帳簿、工場、倉庫其ノ他物件ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條 精練業ヲ承繼シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五條 主務大臣及地方長官ハ精練業者ノ行爲カ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第六條 許可ヲ受ケスシテ輸出羽二重ノ精練ヲ爲シタル者ハ五十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 精練業者第二條ノ命令ニ違反シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虚偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ、之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第九條 精練業ヲ承繼シ又ハ廢止シタル者第四條ノ届出ヲ怠リタルトキハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用非ス

第十一條 精練業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第十二條 精練業者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ精練業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ

之ヲ準用ス

第十四條 本法及本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ輸出紋紐及輸出薄絹ニ之ヲ準用ス

附則

第十五條 本法發布以前ヨリ精練業ヲ營ム者ニシテ仍其ノ業務ヲ繼續セムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル官國幣社經費ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月六日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
 大藏大臣 博士 阪谷芳郎
 內務大臣 原 敬

法律第二十四號(官報 四月七日)

第一條 官國幣社ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ供進シ其ノ各社ニ對スル金額ハ內務大臣之ヲ定ム

第二條 從前官國幣社ニ於テ積立テタル永遠資本金及維持元資金ハ官國幣社ノ基本財産トシ之ヲ費消スルコトヲ得ス

前項基本財産ノ利子及其ノ他ノ財産並收入ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ經費ニ充ツルコトヲ得

第三條 官國幣社ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ臨時ノ費用ニ充ツル爲第一條供進金ノ中ヨリ一定

ノ積立ヲ爲スヘシ
前項ノ積立金ハ各社共通ノ費途ニ充テ内務大臣ハ内務省神社局長ヲシテ之ヲ保管セシメ其ノ收支ヲ取扱ハシム

第四條 從前官國幣社ニ於テ積立テタル官國幣社保存費共通金ハ前條各社共通金ニ編入ス
第五條 本法ハ官幣大社臺灣神社及別格官幣社靖國神社ニ適用セス

附則

第六條 第一條ニ依リ供進スル經費ハ天災事變ノ爲要スル臨時費用ノ外明治四十九年度ニ至ル迄毎年二十二萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月六日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎
内務大臣 原 敬

法律第二十五號(官報四月七日)
臺灣總督府鐵道部ノ職工八夫ノ給料、諸手當其ノ他支部局及派出工場ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費ハ主

任ノ官吏ニ委任シテ仕拂ヲ爲サシムル爲現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル貨幣法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月六日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

法律第二十六號(官報四月七日)
貨幣法中左ノ通改正ス

第六條中第四號及第五號ヲ左ノ如ク改ム

四 五十錢銀貨幣 二匁七分十グラム二二五

五 二十錢銀貨幣 一匁零分八厘四グラム一〇五

第十條中第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 銀貨幣五十錢ハ每片二厘一毛六〇グラム一〇八一〇一千枚毎ニ一匁零分八厘四グラム一〇

五二十錢ハ每片一厘零毛八〇グラム一〇四〇五一千枚毎ニ六分四厘二グラム一四〇十錢

ハ每片一厘零毛四〇グラム一〇三九〇一千枚毎ニ五分六厘二グラム一〇トス

附則

本法ハ明治三十九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
從來發行ノ銀貨幣ハ從前ノ通通用スヘシ

〔參照〕

法律第十六號貨幣法(明治三十年三月二十九日官報)抄録
 第六條 貨幣ノ量目ハ左ノ如シ
 四 五十錢銀貨幣 三匁五分九厘四毛二(十三「グラム」四七八三)
 五 二十錢銀貨幣 一匁四分三厘七毛七(五「グラム」三九一四)
 第十條 金銀貨幣量目ノ公差ハ左ノ如シ
 二 銀貨幣ハ各種共毎片二匁五毛九二(〇「グラム」〇九七二〇)五十錢銀貨幣ハ一千枚毎ニ一匁二分四厘四(「グラム」六五〇〇〇)二十錢銀貨幣ハ一千枚毎ニ八分三厘(三「グラム」二二五〇)十錢銀貨幣ハ一千枚毎ニ四分一厘(一「グラム」五三七五〇)トス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十八年法律第十七號中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽
 明治三十九年四月六日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
 大藏大臣^{法學博士}阪谷芳郎

法律第二十七號(官報四月七日)

明治三十八年法律第十七號中左ノ通改正ス
 第一條中「七百萬圓」ヲ「千六百萬圓」ニ「五百五十萬圓」ヲ「千二百萬圓」ニ改ム

〔參照〕

法律第十七號(明治三十八年二月十六日官報)抄録
 第一條 煙草專賣局及製鐵所ノ擔置運轉資本ニ不足ヲ生シタルトキハ大藏大臣ハ融通証券ノ發行ニ依リ一時之ヲ補足スルコトヲ得但シ其ノ金額ハ煙草專賣局ニ在リテハ七百萬圓製鐵所ニ在リテハ五百五十萬圓ヲ超過スルコトヲ得ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル農工銀行補助法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽
 明治三十九年四月六日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
 大藏大臣^{法學博士}阪谷芳郎

法律第二十八號(官報四月七日)

農工銀行補助法中左ノ通改正ス
 第二條中「十五箇年」ヲ「二十箇年」ニ改ム
 第四條第一項中「十箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム
 第七條第一項中「十五箇年」ヲ「二十箇年」ニ改ム

〔參照〕

法律第六十四號農工銀行補助法(明治二十九年四月二十日官報)抄録
 第二條 北海道及沖繩縣ニ設立スル農工銀行ノ營業ヲ補助スル爲其ノ創立初季ヨリ十五箇年ヲ限リ政府ハ豫算ニ定ムル所ニ從ヒ北海道ノ農工銀行ニ二萬五千圓以內沖繩縣ノ農工銀行ニ五千圓以內ヲ毎年交付ス但シ農工銀行ノ擔置資本金額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ス
 第四條 此ノ法律ニ依リ府縣ノ引受ケタル株式ニ對シテハ農工銀行ハ其ノ創立初季ヨリ十箇年間ハ利益配當ヲ爲スコトヲ要セス
 第七條 農工銀行創立初季ヨリ十五箇年經過ノ後府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ得テ此ノ法律ニ依リ引受ケタル農工銀行ノ株式ヲ市町村ニ交付スルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル廢兵院法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月六日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺内正毅
海軍大臣 齋藤 實

法律第二十九號(官報四月七日)

廢兵院法

- 第一條 戰鬪ノ爲傷痕ヲ受ケ軍人恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者ニシテ救護ヲ要スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ廢兵院ニ收容ス
- 廢兵院ニ收容シタル者ハ國費ヲ以テ終身之ヲ扶養ス
- 第二條 公務ノ爲傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者ニシテ救護ヲ要スルモノハ特ニ廢兵院ニ收容スルコトヲ得
- 第三條 廢兵院ニ收容シタル者ニハ其ノ問恩給ノ支給ヲ停止ス
- 第四條 廢兵院ニ收容シタル者左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ退院ヲ命ス
 - 一 軍人恩給法ニ依リ恩給ヲ剝奪セラレ又ハ停止セラレタルトキ
 - 二 救護ヲ要セサルニ至リタルトキ
 - 三 屢懲罰ニ處セラレ改悛ノ見込ナキトキ

第五條 廢兵院ニ收容シタル者ニシテ退院ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退院シタル者ハ退院ノ日ヨリ二箇年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ廢兵院ニ收容スルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條 廢兵院ニ收容シタル者ハ其ノ犯罪及審判ニ關シテハ服役ヲ免セラレタル當時ノ官等級ニ應ジ現役陸軍軍人ト看做ス

第七條 廢兵院ニ於テ寄附ヲ受ケタル不動産、金銀及有價證券ハ廢兵院基金ト爲シ其ノ利子其ノ他ノ果實ト共ニ之ヲ蓄積ス

第八條 廢兵院基金ノ利子其ノ他ノ果實ハ廢兵院ニ收容シタル者ニ係ル費用ニノミ之ヲ使用スルコトヲ得

第九條 廢兵院基金及其ノ利子其ノ他ノ果實ノ收支ニ係ル検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十九年法律第十三號中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月六日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
文部大臣 牧野伸顯

法律第三十號(官報四月七日)

明治三十九年法律第十三號中左ノ通改正ス

第一條中「公立實業補習學校ノ教員」ノ下ニ「及小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園ノ保母」ヲ加フ
 第三條中「正教員」ノ下ニ「保母」ヲ加フ
 第四條ノ二中「正教員」ノ下ニ「保母」ヲ加フ

附則

本法ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

法律第十三號(明治二十九年三月二十四日官報)抄録
 第一條 明治二十三年法律第九十號ハ第十五條ヲ除キ公立實業補習學校ノ教員ニ適用シ同年法律第九十一號ハ第一條及第二十二條ヲ除キ公立高等女學校專門學校實業學校(以下略)及其ノ他ノ公立學校ノ學校長教員會監及書記ニ適用ス
 第三條 明治二十三年法律第九十號同年法律第九十一號及此ノ法律ニ依リ退職料等ヲ受クヘキ學校長正教員會監及書記ノ在職年月數ハ各公立學校ノ間ニ於テハ之ヲ通算ス
 第四條ノ二 學校長正教員會監又ハ書記タリシ者教員其ノ他教育事務ニ從事スル文官ト爲リタルトキ若ハ教員其ノ他教育事務ニ從事スル文官タリシ者學校長正教員會監又ハ書記ト爲リタルトキハ各其ノ在官在職年數ヲ通算シ明治二十三年法律第九十號及同年法律第九十一號ノ退職料扶助料扶助金ヲ受クルコトヲ得
 通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
内務大臣 原 敬

法律第三十一號(官報 四月十一日)

第一條 臺灣ニ於テハ法律ヲ要スル事項ハ臺灣總督ノ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得
 第二條 前條ノ命令ハ主務大臣ヲ經テ勅裁ヲ請フヘシ
 第三條 臨時緊急ヲ要スル場合ニ於テ臺灣總督ハ直ニ第一條ノ命令ヲ發スルコトヲ得
 前項ノ命令ハ發布後直ニ勅裁ヲ請フヘシ若勅裁ヲ得サルトキハ臺灣總督ハ直ニ其ノ命令ノ將來ニ向テ効力ナキコトヲ公布スヘシ
 第四條 法律ノ全部又ハ一部ヲ臺灣ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第五條 第一條ノ命令ハ第四條ニ依リ臺灣ニ施行シタル法律及時ニ臺灣ニ施行スル目的ヲ以テ制定シタル法律及勅令ニ違背スルコトヲ得ス
 第六條 臺灣總督ノ發シタル律令ハ仍其ノ効力ヲ有ス

附則

本法ハ明治四十年一月一日ヨリ之ヲ施行シ明治四十四年十二月三十一日迄其ノ効力ヲ有スルモノトス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル屠場法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
内務大臣 原 敬

法律第三十二號(官報四月十一日)

屠場法

- 第一條 本法ニ於テ屠場ト稱スルハ食用ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ屠殺スル場屋ヲ謂フ
本法ニ於テ獸畜ト稱スルハ牛、羊、豚及馬ヲ謂フ
- 第二條 屠場ヲ設立セムトスル者ハ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 屠場以外ニ於テハ食用ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス但シ自家用共
ノ他特別ノ事情アル場合ハ命令ノ定ムル所ニ依ル
- 第四條 屠場ニ於テハ屠畜検査員ノ検査ヲ經サル獸畜ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス
屠肉、内臟其ノ他食用ニ供スル部分ハ屠畜検査員ノ検査ヲ經ルニ非サレハ屠場外ニ搬出シ又ハ
製造ノ用ニ供シ若ハ貯藏スルコトヲ得ス
- 第五條 屠場ニハ屠畜検査ノ爲必要ナル設備ヲ爲スヘシ
- 第六條 市町村ニ於テ屠場ヲ設立スルトキハ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ハ必要ト認ムル地
區内ニ於ケル私設屠場ノ廢止ヲ命スルコトヲ得
- 第七條 屠場ヲ設立スル市町村ハ屠場ヲ命セラレタル私設屠場主ニ對シ屠場ノ使用廢止ノ爲受ク
ヘキ損失ヲ補償スヘシ
前項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ地方
長官之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
- 第八條 内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ屠場ノ設置ヲ市町村ニ命スルコトヲ得
- 第九條 市町村ハ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ノ認可ヲ得ルニ非サレハ屠場ヲ廢止スルコ
トヲ得ス

第十條 市町村立屠場ノ用地ニ必要ナル國有ノ土地ハ之ヲ市町村ニ讓與シ又ハ無償ニテ使用セシ
ムルコトヲ得

第十一條 衛生上危害ヲ生シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官(東京府ニ於
テハ警視總監)ハ屠場ノ廢止ヲ命シ又ハ其ノ使用ヲ停止スルコトヲ得

第十二條 地方長官(東京府ニ於テハ警視總監)ハ必要ト認ムルトキハ屠場設備ノ變更ヲ命スルコ
トヲ得

第十三條 第三條、第四條ニ違背シタル者又ハ第十一條ノ停止ヲ犯シタル者ハ三百圓以下ノ罰金
ニ處ス

第十四條 屠畜ニ關スル營業者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル
命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト
同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 屠畜ニ關スル營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業
務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以
テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第十六條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人、其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ
發スル命令ニ違反シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス
法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附則

第十七條 本法施行ノ際現ニ存スル屠場ハ本法施行後三箇年以内ナルトキハ其ノ期間ニ依ル
 做ス但シ本法施行ノ日ヨリ起算シ許可期間三箇年以内ナルトキハ其ノ期間ニ依ル
 前項ノ期間終了後ハ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ
 第十八條 木法中市町村ニ關スル規定ハ北海道ノ區、一級町村、二級町村及沖繩縣ノ區其ノ他市町
 村ニ準スヘキ地ニ適用ス
 第十九條 本法ハ明治三十九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
 シム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

法律第三十三號 (官報 四月十一日)

第一條 北海道ニ地租條例ヲ施行ス

第二條 北海道ニ於ケル地租定率ハ當分地價百分ノ一トス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國債ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

法律第三十四號 (官報 四月十一日)

第一條 國債ノ起債、元金償還、利子仕拂、證券及登錄ニ關スル取扱手續ハ大藏大臣之ヲ定メ日本銀
 行ヲシテ其ノ事務ヲ取扱ハシム

第二條 國債ニ對シテハ無記名利札付證券ヲ發行ス
 國債ノ登錄ハ債權者ノ請求ニ因リ之ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ證券ヲ發行セス但シ債權者ノ請求
 アルトキハ記名利札付證券ヲ發行ス

第三條 登錄國債ヲ移轉シ又ハ登錄國債ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタルトキハ登錄ヲ受クルニ非サ
 レハ之ヲ以テ政府其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
 第四條 相續遺贈及強制執行ノ場合ヲ除ク外權利ノ移轉ニ因ル國債ノ登錄ハ其ノ利子仕拂期
 前一箇月間之ヲ停止ス

第五條 記名國債證券又ハ其ノ利札ヲ滅失又ハ紛失シタルトキハ其ノ記名者ヨリ直ニ之ヲ所管取
 扱銀行ニ届出ツヘシ之ヲ發見シタルトキ亦同シ

前項ノ規定ニ依リ滅失又ハ紛失ノ届出ヲ爲シタル者ハ届出ヲ爲シタル後三箇月ヲ經過シテ仍發
 見セサルトキハ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ元金ノ償還期又ハ利子ノ
 仕拂期開始以後ハ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ爲サス

滅失又ハ紛失ノ届出アリタル記名國債證券又ハ其ノ利札ハ代證券又ハ代利札ノ交付ニ因リ其ノ效力ヲ失フ

第六條 無記名國債證券又ハ其ノ利札ヲ滅失又ハ紛失シタル者ハ其ノ證券又ハ利札ノ持參人カ償還又ハ仕拂ヲ受ケタル場合ニハ其ノ金額及其ノ仕拂ノ日以後ノ利子ヲ辨償スヘキ旨ヲ約シテ擔保ヲ提供シ其ノ元金ノ償還又ハ利子ノ仕拂ヲ請求スルコトヲ得但シ取扱銀行ノ確實ト認メタル保證人ヲ立テ擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得

擔保ヲ提供シタル者カ債務ノ履行ヲ爲ササルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充テ過剩額アルトキハ之ヲ還付ス

金錢以外ノ擔保ハ之ヲ公賣ニ付ス

公賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 無記名國債證券ニ對シ元金ヲ償還スル場合ニ於テ其ノ證券ニ附屬スル利札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ元金ノ内ヨリ控除ス但シ既ニ利子仕拂期ノ開始シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項利札ノ所持人ハ何時ト雖其ノ利札ヲ提出シテ控除金額ノ仕拂ヲ請求スルコトヲ得

第八條 民法施行法第五十七條ノ規定ハ國債證券及其ノ利札ニ之ヲ適用セス

第九條 國債ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十箇年、利子ニ在リテハ五箇年ヲ以テ完成ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

新舊公債證券發行條例ニ依ル舊公債ノ賦金ニハ本法中利子ノ規定ヲ、賦札ニハ本法中利札ノ規定

ヲ準用ス

國債ニ關スル現行法令中本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ但シ時効ニ關スル規定ハ此ノ限ニ在ラス

本法施行前ニ整理公債條例ノ規定ニ依リ滅失又ハ紛失ノ届出ヲ爲シタル無記名國債證券及其ノ利札ノ處分ニ付テハ仍整理公債條例ニ依ル

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル登録稅法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

法律第三十五號(官報四月十一日)

登録稅法中左ノ通改正ス

第十六條 削除

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕

法律第二十七號登録稅法(明治二十九年三月二十八日官報)抄録

第十六條 國債ノ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

- 一 新規登録 債権金額 千分ノ二
- 二 登録變更 債権金額 千分ノ一
- 三 登録除却 債権金額 千分ノ一

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十三年法律第八十六號中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣博士阪谷芳郎

法律第三十六號(官報四月十一日)

明治三十三年法律第八十六號中左ノ通改正ス

「鹹魚及燻製魚ニ對シ」ノ下明治二十年法律第十四號ヲ削ル

〔參照〕

法律第八十六號(明治三十三年八月二十七日官報)
外國ヨリ輸入スル鹹魚及燻製魚ニ對シ明治三十年法律第十四號關稅定率法ニ定メタル外仍原價百分ノ五十以下ノ輸入稅ヲ増課シ魚粕ニ對シ原價百分ノ五十以下ノ輸入稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ此ノ稅率及其ノ施行期間ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル帝國鐵道會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣博士阪谷芳郎
遞信大臣 山縣伊三郎

法律第三十七號(官報四月十一日)

帝國鐵道會計法

第一條 帝國鐵道ノ事業ヲ經營スル爲從來出資シ及將來出資スル金額ヲ以テ資本ト爲シ特別ノ會計ヲ立テシム

前項ノ資本ハ本會計ノ負債トシ一般會計ニ對シ漸次償還スルモノトス但シ官設鐵道會計法第四條ニ依リ純益トシテ從來一般會計ノ歳入ニ編入シタル金額ハ利子ニ相當スル金額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ負債ノ償還ニ充テタルモノト看做ス

第二條 本會計ハ之ヲ資本勘定及收益勘定ニ區分ス

第三條 資本勘定ハ帝國鐵道建設改良ノ爲一般會計ヨリ支出スル資金及所屬財產ノ賣拂代金ヲ以テ其ノ歳入トシ帝國鐵道ノ建設改良ニ要スル費用ヲ以テ其ノ歳出トス

第四條 收益勘定ハ營業上ノ諸收入及資本所屬物件ノ貸付料並帝國鐵道用品資金會計ノ過剩金ヲ以テ其ノ歳入トシ營業上ノ諸費用及資本所屬物件ノ維持修理並補充費ヲ以テ其ノ歳出トス

第五條 收益勘定ニ於テ歳入總額ヨリ歳出總額ヲ控除シタル金額ヲ益金トシ負債ノ利子ト負債消却金トニ區分シテ之ヲ一般會計ニ納付スヘシ

第六條 政府ハ毎年帝國鐵道資本勘定及收益勘定ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

- 第七條 資本勘定ニ屬スル毎年度豫算殘額ハ事業ノ完成ニ至ル迄順次之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得
- 第八條 收益勘定ノ歳出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歳入及第十條ニ依ル借入金ノ合計額ヲ超過スルコトヲ得ス
- 第九條 收益勘定ノ歳出豫算ニハ災害事變其ノ他豫期セサル歳出ノ不足ニ應スル爲豫備費ヲ設クルコトヲ得
- 第十條 收益勘定ノ歳出ヲ支辨スルニ當リ歳入金不足ノ場合ニ於テハ一時一般會計ヨリ五十萬圓ヲ限リ借入ヲ爲スコトヲ得
- 前項借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ
- 第十一條 資本勘定及收益勘定ハ帝國鐵道用品資金ヨリ物品ヲ購入スルトキハ前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第十二條 本會計ニ關シ必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 官設鐵道會計法ハ之ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル官設鐵道用品資金會計法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
 大藏大臣 博士阪谷芳郎
 逓信大臣 山縣伊三郎

法律第三十八號(官報四月十一日)

官設鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス

「官設鐵道」ヲ「帝國鐵道」ニ改ム

第一條中「購入貯藏」ノ下ニ「及製作修理」ヲ加フ

第二條 帝國鐵道用品資金ハ從來ノ官設鐵道用品資金ニ百五十萬圓及官設鐵道會計ノ据置運轉資本ニ十萬圓ヲ以テ之ニ充テ鐵道國有法ニ依リ政府カ會社ヨリ買收スル鐵道用品ノ價額ト合シ漸次増加シテ五百萬圓トス

第三條 削除

第五條 帝國鐵道用品資金會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生シタルトキハ其ノ過剩金ヲ同年度ニ於ケル帝國鐵道收益勘定ノ歳入ニ編入スヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕

法律第二號官設鐵道用品資金會計法(明治二十六年一月十八日官報)抄錄

第一條 鐵道用品ヲ購入貯藏シ官設鐵道運轉營業並ニ建設事業ノ需用ニ應スル爲メ官設鐵道用品資金ヲ既年特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 官設鐵道用品資金ハ官設鐵道會計ノ据置運轉資本ノ内金百八拾萬圓ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 官設鐵道用品資金ヲ以テ購入貯藏シタル物品ノ製作改製及修理ノ費用ハ該資金ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ
第五條 官設鐵道用品資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生スルトキハ其ノ過剩金ヲ同年度一般ノ歳入ニ編入スヘシ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎
遞信大臣 山縣伊三郎

法律第三十九號(官報四月十一日)

帝國鐵道會計法及帝國鐵道用品資金會計法ハ韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ニ之ヲ準用ス但シ其ノ用品資金ハ漸次増加シテ百萬圓トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎
遞信大臣 山縣伊三郎

法律第四十號(官報四月十一日)

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ハ當分ノ内雇員ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル屯田兵土地給與規則廢止法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺內正毅
大藏大臣法學博士阪谷芳郎
內務大臣 原 敬

法律第四十一號(官報四月十二日)

屯田兵土地給與規則ハ之ヲ廢止ス

附則

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

屯田兵村ニ屬スル公有財産、營造物、事業及權利義務ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ町村又ハ部落ニ

歸屬ス

屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ニ對スル國稅ノ免除ニ係ルモノハ仍從前ノ例ニ依ル

○ 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十年法律第四十二號廢止法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺內正毅

法律第四十二號(官報四月十二日)

明治三十年法律第四十二號ハ之ヲ廢止ス

附則

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕

○ 明治三十年四月一法律第四十二號ハ官給ニ係ル屯田兵ノ建勳及馬匹讓與買入書入ニ關スル件ナリ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル徵兵令中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十二日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺內正毅
海軍大臣 齋藤 實

法律第四十三號(官報四月十三日)

徵兵令中左ノ通改正ス

第二十三條第二項中「外國ニ在ル者」朝鮮國ニ在ル者ヲ除クヲ「韓國、露國領沿海州、露國領薩哈噠、清國、香港、澳門以外ノ外國ニ在ル者」ニ改ム

第二十五條中「毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者」ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ翌年一月中ニニ改ム

附則

本法ハ明治四十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ露國領沿海州、露國領薩哈噠、清國、香港又ハ澳門ニ在リテ徵集猶豫中ノ者ハ從前ノ規定ニ依リ徵集ヲ猶豫ス

〔參照〕

法律第一號徵兵令(明治二十二年一月二十二日官報)抄録
第二十三條 第十三條第一項ニ掲ケル學校ニ在ル者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十八歳迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十八歳迄ニ止ミ又ハ二十八歳ヲ過ケルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラヌシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者及第十三條第三項ニ依リ服役スル者ハ此限ニ在ラヌ
外國ニ在ル者ハ抽籤ノ法ニ依ラヌシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラヌシテ之ヲ徵集ス
第三十二條ヲ過ケル者ハ國民兵役ニ服セシム但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラヌ

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歳迄ニ事故止ミ同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歳迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ其ノ生ハ其ノ本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歳未満ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル海上衝突豫防法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年四月十七日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
海軍大臣 齋藤 實
逓信大臣 山縣伊三郎

法律第四十四號 (官報 四月十八日)

海上衝突豫防法中左ノ通改正ス

第八條 水先船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアルトキハ他船ニ要スル燈ヲ表示セス周圍ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ檣頭ニ掲ケ且十五分時ヲ超ニサル短時ノ間隙ヲ以テ閃火一箇若ハ數箇ヲ發スヘシ
水先船ニハ點火シタル舷燈ヲ用意シ置キ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキハ我船ノ進行スル方向ヲ示ス爲メ短時ノ間隙ヲ以テ之ヲ表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス
水先人ヲ要招スル船舶ヘ直付ケスヘキ水先船ハ白燈ヲ檣頭ニ掲クル代リニ隨時之ヲ表示シ又前項ノ舷燈ノ代リニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用井井タル燈籠一箇ヲ手近カニ備置キ前項ノ規

定ニ依リ之ヲ使用スルヲ得

免許水先人ノ業務ニ專用スル水先汽船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアリテ碇泊セサルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ檣燈ノ下方八尺ノ所ニ周圍少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキ紅燈一箇ヲ増掲シ且航行中ノ船舶ニ要スル舷燈ヲ掲クヘシ
前項ノ水先汽船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアリテ碇泊スルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ前項ノ規定ニ依リ紅燈ヲ増掲スヘシ但シ舷燈ヲ掲クヘカラス
水先船其ノ營業所ニアルモ水先業務ニ從事セサルトキハ其ノ積量ニ相當スル他船ト同様ノ燈ヲ掲クヘシ

第九條 漁船ハ航行中特ニ本條ニ規定アル場合ヲ除ク外其ノ積量ニ相當スル航行中ノ船舶ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲クルカ又ハ之ヲ表示スヘシ

- 一 無甲板船即チ全部張詰メタル甲板ニ因リテ海水ノ浸入ヲ防カサル船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺以内ナルトキハ周圍ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲クヘシ
- 無甲板船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺ヲ超ニルトキハ周圍ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲ケ且我船ノ他船ニ近寄り行クトキ又ハ他船ノ我船ニ近寄り來ルトキハ其ノ白燈ノ下方ニ少クモ三尺ヲ隔テ且漁具ノ結著シタル方向ニ於テ水平上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一箇ヲ増表スヘシ
- 二 第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外流シ網ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶ハ網ノ全部又ハ一部水中ニ投下シアル間ハ最モ見得易キ所ニ白燈二箇ヲ掲クヘシ此ノ兩燈ハ上下ノ距離六尺

ヨリ少カラス十五尺ヨリ多カラス且龍骨線ニテ測リタル前後ノ距離五尺ヨリ少カラス十尺ヨリ多カラサル様其ノ一燈ヲ他燈ノ下方ニ設置シ其ノ下燈ハ網ノ方向ニ掲クヘシ此ノ兩燈ハ周回少クモ三海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

總積量二十噸未満ノ帆走漁船ハ地中海及日本國並韓國ノ沿海ニ於テハ必シモ兩燈中其ノ下燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ同一ノ位置(網又ハ漁具ノ方向ニ於テ)ニ表示スヘシ

三 第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除外延繩ヲ用非テ漁業ニ従事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之ヲ曳入ルル船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ停留セサルモノハ流シ網ヲ用非テ漁業ニ従事スル船舶ト同一ノ燈ヲ掲クヘシ其ノ延繩ヲ延ヘ又ハ曳繩ヲ用ウルモノハ其ノ船ノ種類ニ應シ航行中ノ汽船又ハ帆船ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲クヘシ

總積量二十噸未満ノ帆走漁船ハ地中海及日本國並韓國ノ沿海ニ於テハ必シモ兩燈中其ノ下燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ同一ノ位置(釣繩ノ方向ニ於テ)ニ表示スヘシ

四 打テセ網(總テ海底ニ漁具ヲ曳クモノヲ包含ス)ヲ用非テ漁業ニ従事スル船舶ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

甲 汽船ハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ三色ノ燈籠一箇ヲ掲ケ尙其ノ下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一箇ヲ増掲スヘシ此ノ三色燈ハ船

ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正横後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及スヘク製造シ且設置スルヲ要シ又白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタルモノタルヲ要ス

乙 帆船ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタル白色ノ燈籠一箇ヲ掲ケ且他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メ最モ見得易キ所ニ白色ノ閃火又ハ炬火一箇ヲ表示スヘシ

甲及乙ニ規定シタル諸燈ハ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス
五 桁網ヲ用非テ牡蠣採取ニ従事スル船舶其ノ他桁網ヲ用非テ漁業ニ従事スル船舶ハ打テセ網ヲ用非テ漁業ニ従事スル船舶ト同一ノ燈ヲ掲ケ及之ヲ表示スヘシ
六 漁船ハ本條ニ規定シタル燈ヲ掲ケ及之ヲ表示スル外何時ニテモ閃火ヲ用非且漁業用ノ燈火ヲ用ウルヲ得

七 長サ百五十尺未満ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲クヘシ
長サ百五十尺以上ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲ケ且第十一條ニ規定シタル白燈一箇ヲ増掲スヘシ

八 漁船漁業ニ従事中漁具ノ岩礁其ノ他障碍物ニ纏著シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ著シタルトキハ他船ノ我船ニ近寄り來ルトキ碇泊燈ノ下方少クモ三尺ヲ隔テ且漁網其ノ他ノ漁具ノ方向ニ於テ水平上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一箇ヲ増表スヘシ

第十二規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其ノ他暴雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲スヘシ(第十五條第四項及末項參照)

九 霧中降雪其ノ他暴雨中流シ網打メセ網桁網又ハ延繩ヲ用非テ漁業ニ從事スル總積量二十噸以上ノ船舶ハ汽船ニアリテハ汽笛若ハ汽角帆船ニアリテハ號角ヲ用非一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ一聲ヲ發シ之ニ續キテ號鐘ヲ鳴ラスヘシ總積量二十噸未滿ノ漁船ハ必シモ此ノ信號ヲ爲スヲ要セス然レトモ之ヲ爲ササルトキハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ適宜他ノ有效ナル音響信號ヲ爲スヘシ

十 網延繩又ハ打メセ網ヲ用非テ漁業ニ從事スル船舶航行中晝間ニアリテハ最モ見得易キ所ニ籃其ノ他ノ信號ヲ掲ケ近寄り來ル他船ニ其ノ漁業中ナルコトヲ表示スヘシ若シ碇泊中ノ船舶漁具ヲ投下セルトキハ他船ノ近寄り來リタルトキ同様に信號ヲ他船ノ航過シ得ル舷側ニ於テ表示スヘシ

本條ニ依リ特ニ規定シタル燈ヲ掲ケ又之ヲ表示スルヲ要スル船舶ハ第四條第一項及第十一條末項ノ燈ヲ掲グルニ及ハス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕

法律第五號海上衝突豫防法(明治二十五年六月二十三日官報抄録)

第八條 水先船其ノ水先區ニ於テ營業ヲ爲ストキハ他船ニ要スル燈ヲ掲ケヘカラス單ニ周回ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ楯頭ニ掲ケ且十五分時ヲ超ニサル間隙ヲ以テ閃火一箇又ハ數箇ヲ發スヘシ

水先船ニハ右ノ外綠紅ノ二燈ヲ用意シ置キ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキハ我船ノ進行スル方向ヲ示ス爲メ一時之ヲ表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

水先人ヲ要スル船舶ハ直付ケスヘキ水先船ハ白燈ヲ楯頭ニ掲クル代リニ臨時之ヲ表示シ又舷燈ヲ兩舷ニ掲クル代リニ一箇ハ綠色一箇ハ紅色ノ玻璃ヲ用非タル燈籠一箇ヲ手近カニ備置キ前項ニ從テ之ヲ使用スルヲ得

水先船其ノ水先區ニ於テ營業ヲ爲サルトキハ其ノ積量ニ應ジテ他船ト同一ノ燈ヲ掲ケヘシ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル産業組合法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治三十九年四月十八日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
農商務大臣 松岡康毅

法律第四十五號(官報 四月十九日)

産業組合法中左ノ通改正ス

第一條第二項ヲ削ル

第九條第一項第七號ヲ左ノ如ク改ム

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

第十五條第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ前項第三號ノ事項ニ付テハ定款ヲ以テ期日ヲ定メ一事業年度内一回又ハ數回ニ取纏メテ期

日後二週間内ニ記載ヲ爲スコトヲ得

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總會ヲ設クルコト

ヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコ

トヲ得ス

第四十四條第一項中「分配ヲ處分」ニ改メ同第二項中「組合員ノ持分ニ對スル」ヲ削リ「分配ヲ配當」ニ改ム

第五十四條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

〔參照〕

法律第三十四號産業組合法(明治三十三年三月七日官報抄録)

- 第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ
- 一 組合員ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)
- 二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セシメテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)
- 三 産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)
- 四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナル物ヲ使用セシムルコト(生産組合)
- 前項第一號ニ掲ケタル事業ハ他ノ各號ニ掲ケタル事業ト相兼スルコトヲ得ス
- 第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ
- 七 剩餘金及損失分配ニ關スル規定
- 第十五條 組合ハ其ノ設立ノ登記ノ申請ト共ニ組合員名簿ヲ其ノ主タル事務所所在地ノ裁判所ニ提出スヘシ
- 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 各組合員ノ氏名、住所
- 二 各組合員ノ出資口數
- 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
- 四 出資各口ノ取得ノ年月日
- 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第十四條第二項ノ規定ハ組合員名簿ノ記載ニ之ヲ準用ス

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ分配ヲ爲スコトヲ得ス

組合員ノ持分ニ對スル剩餘金分配ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退ヲ組合員名簿ニ記載シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

御名 御璽

明治三十九年四月二十三日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士 阪谷芳郎

法律第四十六號(官報 四月二十四日)

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法

第一條 造石稅納付濟ノ酒精ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル工業ノ用ニ供スル者ハ政府ノ承認ヲ得テ毎回一石以上ノ酒精ヲ使用スルトキニ限り其ノ造石稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二條 造石稅又ハ沖繩縣酒類出港稅納付濟ノ酒精、酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル政府ノ工業用ニ供給スル者ハ毎回一石以上ノ供給ヲ爲ストキニ限り

其ノ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第三條 前二條ノ請求ハ酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ノ使用又ハ供給後一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ酒精ニ對シ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ變性ヲ命スルコトヲ得

第五條 第一條ノ請求ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ造石稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條ノ請求ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類及酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ政府ニ供給シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第六條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求シタル者ハ其ノ造石稅又ハ出港稅ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第七條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニ之ヲ準用ス

附則

醫藥用工業用酒精戻稅法ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行後三箇月迄ニ造石稅ノ賦課ヲ受ケタル醫藥用酒精ノ稅金下戻ニ關シテハ本法施行後六箇月ヲ限リ醫藥用工業用酒精戻稅法ヲ適用ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル醫師法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年五月一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
內務大臣 原 敬
文部大臣 牧野伸顯

法律第四十七號 (宣讀 五月二日)

醫師法

第一條 醫師ヲサトスル者ハ左ノ資格ヲ有シ內務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

一 帝國大學醫科大學醫學科又ハ官立、公立若ハ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校醫學科ヲ卒業シタル者

二 醫師試驗ニ合格シタル者

三 外國醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者
醫師試驗ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ノ卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ醫學專門學校ヲ卒業シ若ハ外國醫學校ニ於テ四箇年以上ノ醫學課程ヲ修了シタル者ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二條 左ニ掲クル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二 公權停止中ノ者

三 未成年者、禁治産者、準禁治産者、墮者、啞者及盲者

第三條 禁錮ニ處セラレタル者又ハ醫事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者ニハ免許ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第四條 内務省ニ醫籍ヲ備ヘ醫師免許ニ關スル事項ヲ登録ス

登録スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 醫師ハ自ラ診察セシメテ診斷書、處方箋ヲ交付シ若ハ治療ヲ爲シ又ハ檢案セシメテ檢案書若ハ死産證書ヲ交付スルコトヲ得ス

第六條 醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ十箇年之間ヲ保存スヘシ

第七條 醫師ハ其ノ技能ヲ誇稱シテ虚偽ノ廣告ヲ爲シ又ハ秘傳療法ヲ有スル旨ヲ廣告スルコトヲ得ス

第八條 醫師ハ醫師會ヲ設立スルコトヲ得

醫師會ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム

第九條 醫師會ハ醫事衛生ニ關シ官廳ノ諮問ニ應シ又ハ建議ヲ爲スコトヲ得

第十條 醫師第二條第一號又ハ第三號ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取消スヘシ

醫師禁錮ニ處セラレタルトキ又ハ業務ニ關シ罰金ニ處セラレ若ハ不正ノ行爲アリタルトキハ免許ヲ取消シ又ハ期間ヲ定メテ醫業ヲ停止スルコトアルヘシ其ノ事免許前ニ係ル場合亦同シ

本條ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖第二條第三號ノ原因止ミタルトキ又ハ改悛ノ情顯著ナルトキ

ハ再免許ヲ與フルコトアルヘシ

本條ノ處分ハ内務大臣之ヲ行フ但シ第二項及第三項後段ノ場合ニ於テハ中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトヲ要ス

第十一條 免許ヲ受ケシテ醫業ヲ爲シタル者、停止中醫業ヲ爲シタル者又ハ第五條、第六條、第七條若ハ第十三條第三項但書ニ違背シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第十二條 本法ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 本法施行前ノ醫術開業免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス

本法施行前第一條第一項第一號ニ該當セサル官立、府縣立醫學校ヲ卒業シタル者ニハ第一條第一項ノ資格ヲ有セサルモ免許ヲ與フルコトアルヘシ

本法施行前醫術假開業免狀ヲ得タル者ハ本法施行ノ後ト雖醫業ヲ爲スコトヲ得但シ免許地域外ニ診察所、治療所又ハ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得ス

前項但書ノ規定ハ往診治療ヲ爲スコトヲ妨ケス

第十四條 本法施行後八箇年之間ハ第一條第二項ノ規定ヲ適用セス醫術開業試驗規則ニ依リ醫術開業試験ヲ舉行ス

前項ノ試験ニ合格シタル者ハ第一條第一項ノ資格ヲ有スル者ト看做ス

○

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル齒科醫師法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年五月一日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
内務大臣 原 敬
文部大臣 牧野伸顯

法律第四十八號(官報五月二日)

齒科醫師法

- 第一條 齒科醫師ヲラムトスル者ハ左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 文部大臣ノ指定シタル齒科醫學校ヲ卒業シタル者
 - 二 齒科醫師試験ニ合格シタル者
 - 三 外國齒科醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ齒科醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者
- 第二條 左ニ掲グル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ス
- 一 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 公權停止中ノ者
 - 三 未成年者、禁治産者、準禁治産者、癡者、啞者及盲者
- 第三條 禁錮ニ處セラレタル者又ハ醫事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者ニハ免許ヲ與ヘサルコトアルヘシ
- 第四條 内務省ニ齒科醫籍ヲ備ヘ齒科醫師免許ニ關スル事項ヲ登録ス
- 登録スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

- 第五條 齒科醫師ハ自ラ診察セシテ診斷書、處方箋ヲ交付シ又ハ治療ヲ爲スコトヲ得ス
- 第六條 齒科醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ
- 前項ノ帳簿ハ十箇年之間之ヲ保存スヘシ
- 第七條 齒科醫師ハ其ノ技能ヲ誇稱シテ虚偽ノ廣告ヲ爲シ又ハ秘密療法ヲ有スル旨ヲ廣告スルコトヲ得ス
- 第八條 齒科醫師ハ齒科醫師會ヲ設立スルコトヲ得
- 齒科醫師會ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム
- 第九條 齒科醫師會ハ齒科醫事衛生ニ關シ官廳ノ諮問ニ應ジ又ハ建議ヲ爲スコトヲ得
- 第十條 齒科醫師第二條第一號又ハ第三號ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取消スヘシ
- 齒科醫師禁錮ニ處セラレタルトキ又ハ業務ニ關シ罰金ニ處セラレ若ハ不正ノ行爲アリタルトキハ免許ヲ取消シ又ハ期間ヲ定メテ齒科醫學ヲ停止スルコトアルヘシ其ノ事免許前ニ係ル場合亦同シ
- 本條ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖第二條第三號ノ原因止ミタルトキ又ハ改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ與フルコトアルヘシ
- 本條ノ處分ハ内務大臣之ヲ行フ但シ第二項及第三項後段ノ場合ニ於テハ中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトヲ要ス
- 第十一條 免許ヲ受ケスシテ齒科醫學ヲ爲シタル者、停止中齒科醫學ヲ爲シタル者又ハ第五條、第六條若ハ第七條ニ違背シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第十二條 本法ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 本法施行前ノ齒科醫術開業免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル議院法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年五月七日

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 兼外務大臣
- 陸軍大臣 寺内正毅
- 農商務大臣 松岡康毅
- 海軍大臣 齋藤實
- 大藏大臣 齋藤實
- 逓信大臣 山縣伊三郎
- 司法大臣 松田正久
- 内務大臣 原敬
- 文部大臣 牧野伸顯

法律第四十九號(官報 五月八日)

議院法中左ノ通改正ス

第四十條中「十五日」ヲ「二十一日」ニ改ム

〔參照〕

法律第二號議院法(明治二十二年二月十一日抄録)
第四十條 政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取りタル日ヨリ十五日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル裁判所構成法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年五月七日

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 司法大臣 松田正久

法律第五十號(官報 五月八日)

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第十六條ノ一「第二竊盜ノ罪」ノ下ニ「及竊盜ノ贓物ニ關スル罪」ヲ加フ

附則

此ノ法律施行ノ日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

此ノ法律施行前地方裁判所ニ提起シタル訴訟ハ此ノ法律ニ依リ區裁判所ノ權限ニ屬スルモノト雖其ノ地方裁判所之ヲ裁判ス

〔參照〕

法律第六號裁判所構成法(明治二十三年二月十日官報)抄録
第十六條ノ一 區裁判所ハ刑事ニ於テ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス但シ第二以下ニ記載シタル罪ハ豫審ヲ經サルモノニ限ル

第一 盜竊罪

- 第二 竊盜ノ罪
- 第三 二百圓ヲ超過スル罰金ヲ併科又ハ附加セサル本利六月以下ノ禁錮ニ該ル罪
- 第四 本利二百圓ヲ超過セサル罰金ニ該ル罪

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル紙幣類似證券取締法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

明治三十九年五月七日

法律第五十一號(官報五月八日)

紙幣類似證券取締法

- 第一條 一様ノ形式ヲ具ヘ箇々ノ取引ニ基カスシテ金額ヲ定メ多數ニ發行シタル證券ニシテ紙幣類似ノ作用ヲ爲スモノト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ其ノ發行及流通ヲ禁止スルコトヲ得
- 前項ノ規定ハ一様ノ價格ヲ表示シテ物品ノ給付ヲ約束スル證券ニ付之ヲ準用ス
- 第二條 前條ニ依リ證券ノ發行及流通ヲ禁止シタルトキハ主務大臣ハ直ニ其ノ旨ヲ公告ス
- 禁止ノ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ無効トス
- 第三條 禁止ニ違反シテ證券ヲ發行シ又ハ其ノ證券ヲ授受シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ證券ヲ沒收ス
- 禁止ニ違反シテ證券ヲ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ノ罰亦前項ニ同シ
- 第四條 禁止ノ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ裁判ニ依リ沒收ス

スル場合ヲ除クノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

明治三十九年五月十日

法律第五十二號(官報五月十一日)

- 第一條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計ノ年度ハ明治四十年三月三十一日ヲ以テ終結ス
- 第二條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ハ明治四十年十一月二十日迄ニ悉皆完結スヘシ
- 第三條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費ノ支辨ニ係ル工事、測量又ハ製造ノ事業ニシテ其ノ會計年度内ニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ遞次繰越シ使用スルコトヲ得外國注文ニ係ル物品ノ購入代及一時賜金ノ支出ヲ終ラサルモノニ付亦同シ
- 第四條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費支辨ノ諸費中復員ヲ爲ササル部隊ニ係ル經費ニシテ其ノ會計年度内ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ使用スルコトヲ得
- 第五條 前二條ニ規定シタルモノヲ除クノ外陸海軍ニ屬スル臨時事件費支辨ノ諸費ニシテ既ニ契約ヲ爲シ又ハ仕拂ノ義務ヲ生シ其ノ會計年度内ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額

ヲ一般會計ニ移シ使用スルコトヲ得

第六條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計ニ於テ歲計剩餘アルトキハ一般會計ノ歲入ニ繰入ル

○ 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル蠶病豫防法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年六月五日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
農商務大臣 松岡康毅

○ 法律第五十二號 (官報六月六日)

蠶病豫防法中左ノ通改正ス

第十八條 第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ國庫ハ其ノ半額以內ヲ補助スルコトヲ得

第十九條 削除

附則

○ 本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

○ 法律第二十二號蠶病豫防法(明治三十八年二月十六日官報)抄録

第十八條 蠶病豫防事務ノ費用ハ府縣ノ負擔トス

沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

○ 第十九條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關シ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

○ 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及議員選舉權被選舉權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年六月二十一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
内務大臣 原 敬

法律第五十四號(官報六月二十二日)

明治三十八年法律第七十號ニ依リ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ハ其ノ猶豫期間市町村ノ公民權ヲ停止シ市町村會議員北海道會議員及衆議院議員ノ選舉權被選舉權ヲ有セサルモノトス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年六月二十一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
司法大臣 松田正久

法律第五十五號(官報六月二十二日)

第一條 債權者カ民法第四百二十三條ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ不動産登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ提出シ且申請書ニ同法第三十六條ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ氏名住所若債權者カ法人ナルトキハ其ノ名稱並事務所及代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
第二條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登記ヲ爲スニハ不動産登記法第五十條第二項ニ依ルノ外債權者ノ氏名住所又ハ名稱並事務所及代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

第三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産登記法第六十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ債權者ニ還付シ且登記簿ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス
不動産登記法第六十三條ノ通知ハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年六月二十五日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
司法大臣 松田正久

法律第五十六號(官報六月二十六日)

第一條 理事廳ハ其ノ管轄區域内ニ於ケル訴訟事件ノ始審及非訟事件ノ事務ヲ行フ

第二條 統監ハ一ノ理事廳ノ管轄ニ屬スル裁判事務ノ一部ヲ他ノ理事廳ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第三條 理事廳ハ理事官又ハ副理事官單獨ニ審問裁判ス

第四條 統監府法務院ハ終審トシテ理事廳ノ裁判ニ對スル上訴ヲ管轄ス

第五條 統監府法務院ハ評定官二人ヲ以テ組織シタル部ニ於テ審問裁判ス
評定官中上席ノ者ヲ以テ裁判長トス

第六條 五年以上判事、檢事、帝國大學法科大學教授、理事官、副理事官又ハ辯護士タル者ニ非サレハ評定官又ハ檢察官タルコトヲ得ス

第七條 理事官ハ理事廳職員ヲシテ其ノ廳ノ檢察事務ニ付檢事ノ事ヲ行ハシム

第八條 統監府法務院ノ檢察事務ハ檢察官之ヲ行フ但シ檢察官事故アルトキハ法務院長ハ評定官中ノ一人ヲシテ之ヲ代理セシム

第九條 裁判所構成法中法律上ノ共助ニ關スル規定ハ理事廳及統監府法務院ト裁判所トノ間裁判所及臺灣總督府法院共助法ノ規定ハ理事廳及統監府法務院ト臺灣總督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ之ヲ準用ス

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法ノ規定ハ外國裁判所ノ囑託ニ因リ理事廳及統監府法務院ニ於テ行フ法律上ノ輔助ニ之ヲ準用ス

第十條 本法ニ規定アルモノノ外裁判事務ニ關シ韓國ニ於テ適用スル法律ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前受理シタル訴訟事件及非訟事件ニ關シテハ總テ從前ノ例ニ依ル

○ 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル內國官憲ノ管掌ニ屬スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年六月二十六日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望

法律第五十七號 (官報 六月二十七日)

韓國ニ關スル事項ニシテ法律ノ規定ニ依リ內國官憲ノ管掌ニ屬スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ統監ノ職權ニ屬セシムルコトヲ得

法令全書

豫算

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十九年度歳入歳出總豫算並明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月十二日 (官報 三月十三日)

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士 阪谷芳郎

豫算

第一條 明治三十九年度歳入總額ヲ四億八千七百八拾九萬八千五百七拾貳圓歳出總額ヲ四億八千七百八拾九萬八千五百七拾貳圓ト定ム其款項ノ金額ハ別冊甲號歳入豫算歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條 別冊乙號所掲ノ費途ハ各其規畫スル所ニ隨ヒ明治三十九年度以降ノ繼續費ト爲シ若クハ既定ノ總額年限金額ヲ改定ス

第三條 明治三十九年度歳出豫算中別冊丙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌明治四十年年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第四條 明治三十九年度ニ於テ發行スル大藏省證券最高額ハ五千萬圓トス

(別冊)

甲號

歳入經常部

第一款 租稅

金貳億五千九拾八萬參百參拾貳圓

第一項 地租

金八千五百六拾參萬貳千四百參拾八圓

第二項	所得稅	金貳千八百八拾參萬七千參百參拾四圓
第三項	營業稅	金千九百參拾七萬五百七拾五圓
第四項	酒稅	金五千九百拾七萬八百五拾壹圓
第五項	醬油稅	金五百參拾壹萬八千五百七拾六圓
第六項	砂糖消費稅	金千六百七拾五萬五千七百六拾九圓
第七項	毛織物消費稅	金參百貳拾六萬參百參拾參圓
第八項	賣藥營業稅	金拾九萬七千四百四拾九圓
第九項	鑛業稅	金百貳拾參萬五千七拾五圓
第十項	取引所稅	金九拾九萬六千九百九拾圓
第十一項	兌換銀行券發行稅	金四拾貳萬七千六百九拾五圓
第十二項	噸稅	金參千七拾八萬七千六百六拾五圓
第十三項	關稅	金貳百拾貳萬九百九拾貳圓
第十四項	通行稅	金貳千七百參拾壹萬參千參百拾貳圓
第十五項	相續稅	金貳千七百參拾壹萬參千參百拾貳圓
第一款	印紙收入	金貳千七百參拾壹萬參千參百拾貳圓
第二款	印紙收入	金貳千七百參拾壹萬參千參百拾貳圓
第三款	官業及官有財產收入	金壹萬四千四百四拾四萬九千九百參拾七圓
第四款	官業及官有財產收入	金壹萬四千四百四拾四萬九千九百參拾七圓
第一項	郵便電信收入	金參千貳拾萬九千九百九拾壹圓
第二項	森林收入	金四百九拾七萬四千四百五拾四圓
第三項	囚徒工錢及製作收入	金百參萬貳千貳百拾九圓
第四項	鹽專賣收入	金貳千六百貳拾七萬四千八百參拾壹圓

第五項	樟腦專賣收入	金九拾壹萬貳千參拾九圓
第六項	官有物貸下料	金參拾貳萬貳千九拾六圓
第七項	印刷局益金	金貳拾八萬六千八百六拾六圓
第八項	煙草專賣局益金	金參千貳拾八萬九千八百九拾九圓
第九項	東京砲兵工廠益金	金七百八拾圓
第十項	大阪砲兵工廠益金	金五百四拾六圓
第十一項	千住製絨所益金	金參千百拾四圓
第十二項	鐵道益金	金千拾四萬六千百拾貳圓
第十三項	電信燈臺用品製造所益金	金千參百圓
第四款	雜收入	金貳百四拾八萬七千五百四拾圓
第一項	免許及手数料	金拾七萬六千貳百參拾九圓
第二項	懲罰及沒收金	金九拾貳萬七千五百八拾八圓
第三項	辨償及違約金	金貳拾八萬參千六百八圓
第四項	稅關雜收入	金貳拾壹萬參千六百參拾圓
第五項	雜入	金五拾九萬八千參百五圓
第六項	官道遺族扶助法納金	金拾九萬六千八百六拾九圓
第七項	學校職員退職及遺族扶助法納金	金八萬四千參百參拾圓
第八項	沖繩縣地方收入	金六千六百貳拾參圓
第九項	小笠原島地方收入	金參百四拾八圓
第五款	預金利子繰入	金參百九拾壹萬五千五百拾六圓
第一款	預金利子繰入	金參百九拾壹萬五千五百拾六圓

第六款 臺灣事業公債償却金繰入 金貳百四萬四千參百貳拾壹圓

第一項 臺灣事業公債償却金繰入 金貳百四萬四千參百貳拾壹圓
歲入經常部合計金參億九千九百八拾八萬六千九百五拾八圓

歲入臨時部

第一款 官有物拂下代 金千四百貳拾四萬七千四百五圓

第一項 礦山拂下代 金五千九拾圓

第二項 地所拂下代 金參拾壹萬七千七百七拾參圓

第三項 建物拂下代 金五千九百六拾圓

第四項 物品拂下代 金千九百九拾七拾九圓

第五項 船舶拂下代 金貳百七拾七萬七千六百參拾圓

第六項 家畜拂下代 金四萬九千四百七拾參圓

第二款 雜收入 金貳百八拾六萬八千參百九拾圓

第一項 海軍受託造修收入 金五拾七萬參千九拾九圓

第二項 返納金 金貳拾參萬九千九拾六圓

第三項 清國償還金收入 金貳百四萬八千參百九拾五圓

第四項 雜入 金壹萬四千八百八拾圓

第三款 地方分擔納付金 金拾九萬貳千九百九拾八圓

第一項 地方分擔納付金 金拾九萬貳千九百九拾八圓

第四款 橫濱港灣設備納付金 金五拾萬圓

第一項 橫濱港灣設備納付金 金七千五百八拾四萬參千貳百四拾貳圓

第五款 公債募集金 金七千五百八拾四萬參千貳百四拾貳圓

第一款 公債募集金 金七千五百八拾四萬參千貳百四拾貳圓

第六款 森林資金繰入 金貳百拾五萬九千九百參拾四圓

第一項 森林資金繰入 金貳百拾五萬九千九百參拾四圓

第七款 前年度繰入金 金九拾萬七千六百四拾五圓

第一項 前年度繰入金 金九拾萬七千六百四拾五圓

歲入臨時部合計金九千六百七拾壹萬千六百拾四圓

歲入總計金四億八千七百八拾九萬八千五百七拾貳圓

歲出經常部

第一款 皇室費 金參百萬圓

第一項 皇室費 金參百萬圓

外務省所管

第一款 外務本省 金拾六萬九千五百貳圓

第一項 俸給及諸給 金六萬七千貳百五拾壹圓

第二項 廳費 金貳萬四千貳拾九圓

第三項 修繕費 金四千六百八拾壹圓

第四項 死傷手當 金拾圓

第五項 賠償及訴訟費 金拾圓

第六項 旅費 金千七百八拾四圓

第七項 雜給及雜費 金壹萬五千貳百八拾參圓

第八項 備外國人諸給 金壹萬圓

第九項 電信料 金四萬圓

第十項 宴會費	金五千圓
第十一項 常設仲裁裁判所費分擔金	金千參百五拾四圓
第十二款 在外公館	金貳百貳拾九萬八千參百五拾壹圓
第一項 俸給及諸給	金百貳拾參萬八千九百拾參圓
第二項 廳費	金拾五萬九千七百貳拾四圓
第三項 修繕費	金參萬八千四百壹圓
第四項 賠償及訴訟費	金拾圓
第五項 旅費	金拾萬五千參百貳拾四圓
第六項 雜給及雜費	金七萬七百參拾六圓
第七項 備外國人諸給	金參萬六百八拾貳圓
第八項 裁判及囚徒費	金壹萬四百四拾九圓
第九項 登記用紙及公告料	金五百九圓
第十項 在外國居留民取締費	金拾參萬百八拾四圓
第十一項 地所家屋借料	金拾六萬九千四百五拾貳圓
第十二項 電信料	金七萬千參百七拾四圓
第十三項 宴會費	金六萬參千四百八拾圓
第十四項 在外國難民貸與金	金拾壹圓
第十五項 墓地管理費	金百貳圓
第十六項 外國留學生費	金九千圓
第十七項 櫛密費	金貳拾萬圓
外務省所管合計	金貳百四拾六萬七千八百五拾參圓

內務省所管	金五萬圓
第一款 神宮費	金五萬圓
第一項 神宮費	金貳拾貳萬參千九百貳拾四圓
第二款 神社費及國幣社例祭幣帛料	金貳拾貳萬千七百八拾九圓
第一項 神社費	金貳千百參拾五圓
第二項 國幣社例祭幣帛料	金參拾四萬五拾九圓
第三款 內務本省	金拾六萬四千九百七拾貳圓
第一項 俸給及諸給	金參萬四千百貳拾圓
第二項 廳費	金四千四百圓
第三項 修繕費	金壹圓
第四項 死傷手當	金七百四拾八圓
第五項 賠償及訴訟費	金四萬五千七百拾八圓
第六項 旅費	金五萬九千四百貳拾貳圓
第七項 雜給及雜費	金貳萬七千六百拾九圓
第八項 阿片費	金貳千參百九拾四圓
第九項 萬國版權保護同盟費分擔金	金千百拾五圓
第十項 測量費	金五萬四千參百九拾五圓
第四款 衛生試驗所	金貳萬七千五百七拾參圓
第一項 俸給及諸給	金五千八百參拾六圓
第二項 廳費	金九百拾九圓
第三項 修繕費	

第四項	死傷手當	金四圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳圓
第六項	旅費	金六百四拾五圓
第七項	雜給及雜費	金七千五百拾圓
第八項	依頼試驗用諸費	金壹萬貳千參百六拾六圓
第五款 傳染病研究所		
第一項	俸給及諸給	金拾八萬參百六拾四圓
第二項	廳費	金貳萬六千六百四拾圓
第三項	修繕費	金七千四百四拾壹圓
第四項	死傷手當	金千八百五拾壹圓
第五項	賠償及訴訟費	金壹圓
第六項	旅費	金貳圓
第七項	雜給及雜費	金九百四圓
第八項	研究費	金八千五百拾六圓
第九項	調製及配送費	金貳萬八千八百拾九圓
第六款 警視廳		
第一項	俸給及諸給	金拾參萬八千四百四圓
第二項	廳費	金壹萬六千七百拾貳圓
第三項	修繕費	金參千四百六圓
第四項	死傷手當	金八拾七圓
第五項	賠償及訴訟費	金四拾壹圓

第六項	旅費	金八千九百拾四圓
第七項	雜給及雜費	金五萬參千七百九拾四圓
第八項	褒賞費	金壹圓
第九項	機密費	金九千圓
第十項	畜牛結核病豫防費	金七千八拾八圓
第七款 北海道廳		
第一項	俸給及諸給	金六拾八萬七千四百參拾圓
第二項	廳費	金貳拾七萬七千八百六拾四圓
第三項	修繕費	金四萬九千八百九拾貳圓
第四項	死傷手當	金六千四百拾六圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳拾五圓
第六項	旅費	金貳千四拾五圓
第七項	雜給及雜費	金八萬六千參百四拾參圓
第八項	褒賞費	金五萬六千七百拾六圓
第九項	徵兵費	金千九百拾六圓
第十項	恩賜及救助費	金壹萬千八百八拾七圓
第十一項	滯納處分費	金參千五拾貳圓
第十二項	森林保護費	金八千參百四圓
第十三項	函館消毒所及避病院保存費	金九萬五千五拾五圓
第十四項	機密費	金七百拾參圓
第十五項	北海道舊土人保護費	金參千六百圓
		金壹萬貳千貳百六拾圓

第十六項	傳染病豫防費補助	金千九百九拾八圓
第十七項	警察費運帶支辨金	金六萬參千七百七拾四圓
第十八項	畜牛結核病豫防費	金六千八百拾圓
第八款 府縣		
第一項	俸給及諸給	金七百五拾九萬參千九百四拾九圓
第二項	廳費	金貳百七拾四萬九千參百四拾六圓
第三項	死傷手當	金貳拾八萬八千七百參拾六圓
第四項	賠償及訴訟費	金八百圓
第五項	旅費	金壹萬七千八百六圓
第六項	雜給及雜費	金七拾七萬七千八百七拾五圓
第七項	雜給及雜費	金參拾九萬六千參百拾四圓
第八項	褒賞費	金貳萬七千貳百參拾七圓
第九項	爆彈發物倉庫諸費	金壹萬七千參百參拾八圓
第十項	徵兵費	金貳拾參萬五千七百七拾圓
第十一項	恩賜及救助費	金貳拾壹萬六千五百八拾六圓
第十二項	傳染病豫防費補助	金貳拾七萬四千百拾七圓
第十三項	備外國人諸給	金七千貳百圓
第十四項	警察費運帶支辨金	金百九拾參萬四千貳百五拾參圓
第十五項	消避所及避病院保存費	金百參拾九圓
第十六項	營繕土木費	金貳萬貳千五百拾壹圓
第十七項	地方費補給	金貳拾萬參千七百六拾五圓
第十八項	皇城外郭地營繕費補給	金貳萬六千圓

第十八項	機密費	金拾萬圓
第十九項	囚人及刑事被告入臺灣押送費	金七百八拾五圓
第二十項	港務費	金拾貳萬八千四百四拾貳圓
第二十一項	海港檢疫費	金參萬九千八百四拾七圓
第二十二項	畜牛結核病豫防費	金拾貳萬九千貳百九拾七圓
第二十三項	行政處分強制費	金八拾五圓
第九款 地方費		
第一項	小笠原島地方費	金貳拾九萬八千百拾五圓
第二項	沖繩縣地方費	金貳萬貳百參拾九圓
第三項	伊豆七島地方警察費	金貳拾四萬參千八百八拾壹圓
第四項	對馬地方警察費	金六千貳百拾圓
第五項	大島地方警察費	金壹萬四千參百八圓
第六項	機密費	金壹萬貳千參百拾七圓
第十款	機密費	金千六百拾圓
第十項	古社寺保存補助及補給費	金拾五萬圓
第一項	古社寺保存補助及補給費	金拾五萬圓
內務省所管合計金九百八拾壹萬五千四拾參圓		
大藏省所管		
第一款	大藏本省	金參拾萬貳千六百貳拾四圓
第一項	俸給及諸給	金拾五萬九千參百九拾圓
第二項	廳費	金四萬貳百九拾八圓
第三項	修繕費	金參千七百九拾圓

第四項	死傷手當	金貳圓
第五項	賠償及訴訟費	金千四百六拾圓
第六項	旅費	金貳萬八千七百五拾六圓
第七項	雜給及雜費	金六萬五千五百六圓
第八項	萬國關稅表刊行同盟費	金五百七拾八圓
第九項	關稅訴願審查委員會費	金貳千八百四拾四圓
第一款	預金利息及手數料	金參百九拾貳萬參千五百拾參圓
第一項	預金利息	金參百九拾壹萬千五百拾六圓
第二項	利子拂手數料	金壹萬千六百參拾七圓
第三款	恩賞諸祿	金四千貳拾八萬貳千六百參拾九圓
第一項	賞勳年金	金千五百參拾參萬參千貳拾貳圓
第二項	文官恩給	金貳百拾貳萬七千七百參拾八圓
第三項	軍人恩給	金貳千貳百參拾八萬千百拾九圓
第四項	學校職員恩給	金拾五萬四千九拾四圓
第五項	沖繩縣諸祿	金拾參萬九千九百貳拾六圓
第六項	外國人恩給	金參萬千四百五拾圓
第七項	特別年金	金參百圓
第八項	巡查及看守恩給	金拾壹萬四千九百九拾圓
第四款	內閣	金貳拾參萬貳千四百七拾九圓
第一項	俸給及諸給	金九萬八千五百六拾參圓
第二項	廳費	金參萬八千八百八圓

第三項	修繕費	金貳千五百九拾八圓
第四項	死傷手當	金拾七圓
第五項	旅費	金九百圓
第六項	雜給及雜費	金參萬千參百貳拾七圓
第七項	褒賞費	金壹萬八千貳百六拾六圓
第八項	機密費	金五萬圓
第五款	樞密院	金拾四萬五千八拾參圓
第一項	俸給及諸給	金拾參萬六千貳百參拾八圓
第二項	廳費	金參千五百五拾四圓
第三項	修繕費	金千百拾圓
第四項	旅費	金四百七拾參圓
第五項	雜給及雜費	金四千八百八圓
第六款	貴族院	金六拾四萬七千五百四拾五圓
第一項	議員諸費	金五拾七萬七千八百五拾壹圓
第二項	俸給及諸給	金貳萬八千五百五拾圓
第三項	廳費	金壹萬八千四百八拾七圓
第四項	修繕費	金貳千七百圓
第五項	旅費	金百圓
第六項	雜給及雜費	金貳萬貳百五拾七圓
第七款	衆議院	金八拾六萬參百貳拾七圓
第一項	議員諸費	金七拾八萬參千貳百八圓

第二項	俸給及諸給	金貳萬七千七百貳拾五圓
第三項	廳費	金貳萬四千八百七拾八圓
第四項	修繕費	金貳千五百圓
第五項	旅費	金六拾圓
第六項	雜給及雜費	金貳萬九千九百五拾八圓
第八款	會計檢察院	金拾七萬五百八圓
第一項	俸給及諸給	金拾參萬參千六百拾參圓
第二項	廳費	金七千六百六拾參圓
第三項	修繕費	金貳千七拾五圓
第四項	旅費	金壹萬參千四百八拾參圓
第五項	雜給及雜費	金壹萬四千七百七拾四圓
第九款	行政裁判所	金四萬五千五百八拾圓
第一項	俸給及諸給	金參萬九千五百四拾圓
第二項	廳費	金千四百貳拾六圓
第三項	修繕費	金四百四拾五圓
第四項	旅費	金九百七圓
第五項	雜給及雜費	金參千貳百六拾貳圓
第十款	馬政局	金六拾七萬五千貳百貳圓
第一項	俸給及諸給	金七萬貳千六百六拾八圓
第二項	廳費	金七千參百七拾圓
第三項	修繕費	金五千九百五拾圓

第四項	死傷手當	金參拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金六拾圓
第六項	旅費	金參萬六千參百九拾六圓
第七項	雜給及雜費	金壹萬四千六拾九圓
第八項	差馬獎勵費	金壹萬八千圓
第九項	去勢獎勵及補償費	金八萬七千七百參拾五圓
第十項	去勢練習費	金參千參百拾圓
第十一款	事業費	金四拾參萬五千六百拾四圓
第十二款	稅關	金七拾七萬六千八百五拾參圓
第一項	俸給及諸給	金參拾八萬六千參圓
第二項	廳費	金拾萬八千七百六拾五圓
第三項	修繕費	金參萬貳千四百拾五圓
第四項	死傷手當	金八圓
第五項	賠償及訴訟費	金參百參拾貳圓
第六項	旅費	金貳萬八千貳百九拾六圓
第七項	雜給及雜費	金貳拾萬千參百拾七圓
第八項	從價稅品買上代	金參千五百拾九圓
第九項	收容貨物及無請求品費	金壹萬參千四百參拾壹圓
第十項	犯則者處分費	金百圓
第十一款	機密費	金貳千六百六拾七圓
第十二款	內國稅徵收費	金四百八拾六萬千五百貳拾七圓

民國三十三年三月

第一項	俸給及諸給	金百八拾五萬九千八百四拾參圓
第二項	廳費	金貳拾九萬九千七百參拾貳圓
第三項	修繕費	金七千九百九拾九圓
第四項	賠償及訴訟費	金五千四百七圓
第五項	旅費	金八拾五萬四百貳拾壹圓
第六項	雜給及雜費	金七拾貳萬貳百五拾五圓
第七項	所得稅調查費	金拾貳萬七千八百貳圓
第八項	營業稅調查費	金壹萬貳千圓
第九項	市町村交付金	金八拾壹萬五百九拾四圓
第十項	滯納及犯則者處分費	金六萬參千七百八拾圓
第十一項	印紙鑑札類諸費	金九萬六千五百拾參圓
第十二項	災害地免租處分費	金五千參百九拾九圓
第十三項	相續稅調查費	金千七百八拾貳圓
第十三款	樟腦及樟腦油專賣費	金八拾六萬貳千四百拾圓
第一項	事務費	金五萬六千貳百四拾貳圓
第二項	事業費	金八拾萬五千八百九拾八圓
第十四款	鹽專賣費	金千參百六拾壹萬九千七百圓
第一項	俸給及諸給	金參拾五萬參千參百六拾圓
第二項	廳費	金八萬五千八百拾壹圓
第三項	補修費	金四萬參千八百七拾五圓
第四項	賠償及訴訟費	金六百圓

第五項	旅費	金拾參萬貳千九百九拾貳圓
第六項	雜給及雜費	金貳拾萬七千八百六拾八圓
第七項	犯則者處分費	金貳千圓
第八項	鹽賠償及交付金	金千貳百七拾壹萬九千五百參拾壹圓
第九項	鹽運搬及保管費	金五萬參千六百六拾參圓
第十項	鹽試驗費	金貳萬圓
第十五款	釀造試驗費	金參萬八千九百貳拾九圓
第一項	事務費	金壹萬六千五百四拾九圓
第二項	事業費	金貳萬貳千參百八拾圓
第十六款	文官試驗費	金四千參拾五圓
第一項	廳費	金四百四拾五圓
第二項	修繕費	金貳拾五圓
第三項	雜給及雜費	金參千五百六拾五圓
第十七款	文官懲戒諸費	金九百參拾貳圓
第一項	廳費	金四百九圓
第二項	修繕費	金七拾圓
第三項	雜給及雜費	金四百五拾參圓
第十八款	橫濱港維持費	金拾七萬千貳百四拾壹圓
第一項	俸給及諸給	金貳千參百六拾圓
第二項	廳費	金八百拾參圓
第三項	修繕費	金五百五拾九圓

第四項	死傷手當	金百五拾五圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳圓
第六項	旅費	金九百六拾壹圓
第七項	雜給及雜費	金參千六拾八圓
第八項	港灣維持費	金拾六萬參千參百貳拾參圓
第十九款	國資運用費	金百五拾貳萬八千四百四拾圓
第一項	國庫金取扱及金融事項調査費	金百五拾壹萬四千四百參拾七圓
第二項	仕務命令及保管金引出切符用紙調査費	金壹萬八千參圓
第三十款	諸拂戻及缺損補填金	金貳百貳萬九千五百五拾貳圓
第一項	諸拂戻金	金貳百貳圓
第二項	缺損補填金	金貳萬九千五百五拾貳圓
第二十一款	輸出交付金	金拾六萬四千四百六拾八圓
第一項	輸出交付金	金拾六萬四千四百六拾八圓
第二十二款	國債整理基金繰入	金壹億四千六百八萬八千九百四拾參圓
第一項	國債整理基金繰入	金壹億四千六百八萬八千九百四拾參圓
第二十三款	國庫豫備金	金貳百萬圓
第一項	第一豫備	金百萬圓
第二項	第二豫備	金百萬圓
陸軍省所管	大藏省所管合計金貳億千九百四拾參萬九千九百圓	
第一款	陸軍本省	金貳拾五萬七千貳拾六圓

第一項	俸給及諸給	金拾五萬八千九百五拾參圓
第二項	廳費	金參萬五千五百圓
第三項	修繕費	金參千六百七拾五圓
第四項	旅費	金壹萬四百貳拾五圓
第五項	雜給及雜費	金貳萬貳千五百八拾五圓
第六項	諸手當	金五千八百八圓
第七項	糧秣費	金壹萬五千五百六拾參圓
第八項	被服費	金百貳拾圓
第九項	馬匹費	金八千參百九拾七圓
第二款	軍事費	金四千九百參拾九萬六千六百七圓
第一項	俸給及諸給	金千參百拾參萬貳千六百拾九圓
第二項	廳費	金七拾六萬九千貳百貳拾壹圓
第三項	修繕費	金八拾萬九千八百參圓
第四項	死傷手當	金參千九百六拾壹圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳千四百拾圓
第六項	旅費	金百四拾七萬六千六百五圓
第七項	雜給及雜費	金九拾壹萬參千六百六拾八圓
第八項	諸手當	金七拾七萬八千四百七拾壹圓
第九項	外國駐在員費	金拾壹萬八千五百六拾八圓
第十項	糧秣費	金千五百九拾八萬貳千六百五圓
第十一項	被服費	金五百九拾八萬參千五百五拾貳圓

第十二項	兵器彈藥費	金四百參拾四萬四千四百九拾八圓
第十三項	馬匹費	金百五拾八萬六千六百八拾七圓
第十四項	演習費	金百四拾五萬五百參拾八圓
第十五項	患者費	金四拾四萬七千六百四拾七圓
第十六項	軍隊需品費	金百拾貳萬七千九百參拾八圓
第十七項	罷役恤金	金七拾圓
第十八項	囚徒費	金四萬四千八百六拾八圓
第十九項	兵要地圖費	金六千五百四拾五圓
第二十項	供奉費	金六百八拾壹圓
第二十一項	輸送費	金參拾萬千參百貳拾貳圓
第二十二項	機密費	金拾壹萬五千圓
第三款 憲兵費		
第一項	俸給及諸給	金七拾貳萬千六百拾九圓
第二項	廳費	金參拾參萬五千六百五拾四圓
第三項	修繕費	金參萬六千八百拾圓
第四項	死傷手當	金九千八拾五圓
第五項	賠償及訴訟費	金百參拾五圓
第六項	旅費	金貳百參拾八圓
第七項	雜給及雜費	金六萬八千八百貳圓
第八項	諸手當	金六萬五千貳百九拾參圓
第九項	糧秣費	金貳萬千貳百九拾四圓
		金九萬四千參百八拾六圓

第十項	被服費	金貳萬五千五拾四圓
第十一項	兵器彈藥費	金壹萬千貳百六拾五圓
第十二項	馬匹費	金壹萬六千四百六拾四圓
第十三項	囚徒費	金參千五百貳拾五圓
第十四項	機密費	金參萬參千六百拾四圓
第四款 靖國神社寄付金		
第一項	靖國神社寄付金	金七千五百五拾圓
陸軍省所管合計金五千參拾八萬貳千八百貳圓		
海軍省所管		
第一款 海軍本省		
第一項	俸給及諸給	金拾五萬八千七拾八圓
第二項	廳費	金拾壹萬參千參百六拾圓
第三項	修繕費	金壹萬四千四百參拾五圓
第四項	死傷手當	金參千五百五圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾圓
第六項	旅費	金貳拾圓
第七項	雜給及雜費	金七千參百五拾參圓
第二款 軍事費		
第一項	俸給及諸給	金貳千八百七拾五萬五千九百九拾五圓
第二項	廳費	金七百七拾壹萬六千四百七拾七圓
第三項	修繕費	金貳拾八萬參千貳百四拾八圓
		金拾七萬七百六拾九圓

- 第四項 死傷手當 金貳千七百貳拾四圓
 - 第五項 賠償及訴訟費 金百拾五圓
 - 第六項 旅費 金四拾八萬四千九百拾壹圓
 - 第七項 雜給及雜費 金四拾九萬參千八圓
 - 第八項 諸手當 金參拾貳萬九千六拾九圓
 - 第九項 外國駐在員費 金拾萬六千九百九拾五圓
 - 第十項 糧食費 金四百參萬九百七圓
 - 第十一項 被服費 金四百四拾萬百拾四圓
 - 第十二項 造兵及修理費 金五百參拾八萬四千四百拾九圓
 - 第十三項 造船及修理費 金百八拾五萬九千九百四拾五圓
 - 第十四項 演習費 金貳拾壹萬八千九百九拾八圓
 - 第十五項 患者費 金拾六萬七千六百七拾圓
 - 第十六項 軍港要港費 金貳拾萬參千圓
 - 第十七項 艦費 金五百參拾七萬九百五拾五圓
 - 第十八項 扶助金 金貳拾六萬八千九百九拾貳圓
 - 第十九項 囚徒費 金五千七百七拾五圓
 - 第二十項 水路費 金拾八萬四千八百四圓
 - 第二十一項 備外國人諸給 金壹萬貳千六百圓
 - 第二十二項 機密費 金五萬圓
 - 第二十三項 機助費 金貳萬圓
- 海軍省所管合計金貳千八百九拾壹萬四千七拾參圓

- 司法省所管
- 第二款 司法本省 金拾貳萬參百參拾參圓
 - 第一項 俸給及諸給 金七萬參千八百八拾圓
 - 第二項 廳費 金肆萬九千參拾貳圓
 - 第三項 修繕費 金千四百參拾圓
 - 第四項 死傷手當 金七圓
 - 第五項 賠償及訴訟費 金五拾五圓
 - 第六項 旅費 金五千七百四拾七圓
 - 第七項 雜給及雜費 金壹萬七千參百五拾參圓
 - 第八項 刑事檢察及辯護士試驗費 金貳千八百貳拾九圓
 - 第二款 裁判所 金四百九拾參萬九千六百貳拾參圓
 - 第一項 俸給及諸給 金貳百八拾九萬九千六百五拾九圓
 - 第二項 廳費 金四拾六萬千貳百五拾壹圓
 - 第三項 修繕費 金六萬六千九百拾八圓
 - 第四項 死傷手當 金貳拾七圓
 - 第五項 賠償及訴訟費 金八百四拾七圓
 - 第六項 旅費 金九萬五百貳拾圓
 - 第七項 雜給及雜費 金九拾萬九千七百七拾四圓
 - 第八項 裁判及登記諸費 金五拾萬六千七百八拾七圓
 - 第九項 機密費 金四千四百四拾圓
 - 第三款 監獄費 金五百拾七萬八千九百五拾五圓

第一項	俸給及諸給	金貳拾九萬九千八百八拾貳圓
第二項	廳費	金拾七萬貳千拾六圓
第三項	修繕費	金九萬八百九拾壹圓
第四項	死傷手當	金四百五圓
第五項	賠償及訴訟費	金六圓
第六項	旅費	金四萬百參拾六圓
第七項	雜給及雜費	金貳百壹萬千七百九拾六圓
第八項	在監入費	金貳百五拾六萬參千八百貳拾參圓
司法部所管合計金千貳拾參萬八千九百拾壹圓		
文部省所管		
第一款	文部本省	金四拾萬五千七拾六圓
第一項	俸給及諸給	金八萬四千四百九拾八圓
第二項	廳費	金壹萬貳千六百八拾參圓
第三項	修繕費	金參千五百拾圓
第四項	死傷手當	金參圓
第五項	賠償及訴訟費	金七圓
第六項	旅費	金壹萬參千貳百圓
第七項	雜給及雜費	金貳萬參千八拾貳圓
第八項	編書費	金參萬六拾七圓
第九項	教員免許及檢定費	金七千六百參拾貳圓
第十項	萬國理學文書目錄委員會加盟費	金四千五百參拾九圓

第十一項	帝國學士院費	金壹萬八百九拾圓
第十二項	學生費	金貳拾萬四千六拾四圓
第十三項	萬國學術協會費	金四千參百九拾八圓
第十四項	高等學校大學理科入學試驗費	金六千八百六拾參圓
第二款 震災豫防調査會		
第一項	修繕費	金壹萬九千五百貳拾八圓
第二項	死傷手當	金千四百四拾四圓
第三項	賠償及訴訟費	金壹圓
第四項	調査費	金貳圓
第三款 測地學委員會		
第一項	修繕費	金七千九百貳拾四圓
第二項	死傷手當	金百圓
第三項	賠償及訴訟費	金貳圓
第四項	調査費	金七千八百貳拾壹圓
第四款 中央氣象臺		
第一項	俸給及諸給	金四萬九千八百五拾七圓
第二項	廳費	金壹萬參千八百參拾壹圓
第三項	修繕費	金壹萬七千四百參拾參圓
第四項	死傷手當	金千參百八拾五圓
第五項	賠償及訴訟費	金壹圓
第六項	旅費	金貳千五百五拾九圓

第七項	雜給及雜費	金八千八百六拾五圓
第八項	委託電報料	金五千七百八拾壹圓
第五款 緯度觀測所		
第一項	俸給及諸給	金六千參拾四圓
第二項	廟費	金參千七百九拾四圓
第三項	修繕費	金九百參拾九圓
第四項	死傷手當	金貳百圓
第五項	賠償及訴訟費	金壹圓
第六項	旅費	金貳百九拾八圓
第七項	雜給及雜費	金八百圓
第六款 醫術及藥劑師試驗費		
第一項	俸給及諸給	金七萬千六百拾五圓
第二項	廳費	金千九百四拾四圓
第三項	修繕費	金貳千七百八拾壹圓
第四項	死傷手當	金千貳百圓
第五項	賠償及訴訟費	金壹圓
第六項	旅費	金貳圓
第七項	雜給及雜費	金千七百七拾七圓
第八項	病院費	金貳萬七千九百貳拾壹圓
第七款 諸學校及圖書館支出金		
第一項	東京帝國大學	金參百貳萬貳千六拾六圓
		金八拾壹萬參千貳百五拾六圓

第二項	京都帝國大學	金六拾六萬參千七百七拾壹圓
第三項	東京高等師範學校	金拾六萬貳千貳百貳拾六圓
第四項	廣島高等師範學校	金拾貳萬七千八百貳拾參圓
第五項	女子高等師範學校	金七萬七千九百貳拾四圓
第六項	札幌醫學校	金五萬參千拾圓
第七項	盛岡高等農林學校	金四萬六千九百九拾五圓
第八項	東京高等商業學校	金五萬貳千九百五拾五圓
第九項	神戸高等商業學校	金四萬千八百四圓
第十項	長崎高等商業學校	金參萬七千八百九拾壹圓
第十一項	山口高等商業學校	金壹萬參千參百四拾六圓
第十二項	第一高等學校	金六萬千七百八拾圓
第十三項	第二高等學校	金四萬四千貳百四拾四圓
第十四項	第三高等學校	金四萬九百七拾四圓
第十五項	第四高等學校	金四萬參千六百四拾壹圓
第十六項	第五高等學校	金四萬五千七拾壹圓
第十七項	第六高等學校	金四萬八千貳百九圓
第十八項	第七高等學校造士館	金參萬七千貳百五拾五圓
第十九項	千葉醫學專門學校	金貳萬六千貳百四拾六圓
第二十項	仙臺醫學專門學校	金貳萬六千貳百九拾六圓
第二十一項	岡山醫學專門學校	金貳萬五千九百七拾貳圓
第二十二項	金澤醫學專門學校	金貳萬四千四百貳拾八圓

第二十三項	長崎醫學專門學校	金貳萬六千八百七拾六圓
第二十四項	東京高等工業學校	金八萬六千五百參拾圓
第二十五項	大阪高等工業學校	金七萬四千九百四拾五圓
第二十六項	京都高等工藝學校	金四萬八千六百六拾九圓
第二十七項	名古屋高等工業學校	金四萬五千貳百九拾九圓
第二十八項	熊本工學專門學校	金參萬六千六拾參圓
第二十九項	仙臺工學專門學校	金參千六百貳拾七圓
第三十項	東京外國語學校	金四萬五千九百貳拾壹圓
第三十一項	東京美術學校	金四萬八千八百貳拾壹圓
第三十二項	東京音樂學校	金四萬四千四百九拾九圓
第三十三項	東京盲啞學校	金壹萬千參百圓
第三十四項	帝國圖書館	金參萬四千九百九拾九圓
第八款	府縣立師範學校長俸給及諸給	金六萬八千貳百五拾壹圓
第九款	普通教育費	金六萬八千貳百五拾壹圓
第十款	小學校教育費補助	金百萬圓
第十款	實業教育獎勵費	金百萬圓
第十款	實業教育費補助	金參拾壹萬圓
第十款	實業教員養成費	金壹萬六千四拾六圓
第十款	實業教員養成費支出金	金貳萬參千九百五拾四圓
第十款	文部省所管合計金五百萬參百五拾壹圓	

農商務省所管		
第一款	農商務本省	金參拾六萬六拾圓
第一項	俸給及諸給	金拾七萬千八百貳拾四圓
第二項	廳費	金貳萬六千五百拾四圓
第三項	修繕費	金四千九百五拾壹圓
第四項	死傷手當	金七圓
第五項	賠償及訴訟費	金九百參拾七圓
第六項	旅費	金參萬九千九拾六圓
第七項	雜給及雜費	金參萬千參百九拾八圓
第八項	萬國度量衡會費分擔金	金貳千七百八拾貳圓
第九項	度量衡費	金貳萬七千貳百八拾四圓
第十項	中央度量衡器檢定所費	金壹萬六百八拾參圓
第十一項	調查及試驗費	金貳萬參千九百四拾貳圓
第十二項	商品陳列館列品諸費	金壹萬九千九拾貳圓
第十三項	保安林禁伐補償費	金千五百拾圓
第二款 特許局		
第一項	俸給及諸給	金拾四萬六千四百貳圓
第二項	廳費	金八萬五千八百貳拾八圓
第三項	賠償及訴訟費	金壹萬八千五百參拾八圓
第四項	公報發行諸費	金參拾圓
第五項	旅費	金貳萬六千七百四圓
第五項	旅費	金貳千參百五拾六圓

第六項 雜給及雜費	金壹萬千一百拾七圓
第七項 農園工業所有權保費同區費分給金	金千五百六拾九圓
第三款 森林費	金貳百拾八萬四千六百八拾九圓
第一項 俸給及諸給	金五拾六萬五千四百貳拾四圓
第二項 廳費	金拾壹萬五千六百六拾八圓
第三項 修繕費	金壹萬九百拾圓
第四項 死傷手當	金壹萬五百參拾圓
第五項 賠償及訴訟費	金拾貳萬貳千參百四圓
第六項 旅費	金五萬五千五百拾五圓
第七項 雜給及雜費	金百參拾萬四千貳百拾八圓
第八項 事業費	金貳拾六萬千五百貳拾九圓
第四款 鑛山監督署	金拾五萬六千四百拾四圓
第一項 俸給及諸給	金貳萬八千八百拾五圓
第二項 廳費	金貳千圓
第三項 修繕費	金拾圓
第四項 死傷手當	金六百圓
第五項 賠償及訴訟費	金六萬貳百貳拾圓
第六項 旅費	金壹萬九千貳百四拾圓
第七項 雜給及雜費	金拾七萬貳千六百七拾八圓
第五款 農事試驗場	金六萬參千五百九拾圓
第一項 俸給及諸給	

第二項 廳費	金參千九百六拾五圓
第三項 修繕費	金千四百貳拾參圓
第四項 死傷手當	金拾圓
第五項 賠償及訴訟費	金五圓
第六項 旅費	金八千六百六圓
第七項 雜給及雜費	金六千貳百拾九圓
第八項 事業費	金八萬千六百六拾圓
第九項 備外國人諸給	金七千貳百圓
第六款 水產講習所	金六萬八千參百四拾壹圓
第一項 俸給及諸給	金壹萬七千八百八圓
第二項 廳費	金千八百四拾八圓
第三項 修繕費	金參千五百五拾八圓
第四項 死傷手當	金貳圓
第五項 賠償及訴訟費	金貳圓
第六項 旅費	金五千七百五圓
第七項 雜給及雜費	金參千七百九圓
第八項 事業費	金參萬六千四百九圓
第七款 蠶業講習所	金拾萬七千參百六拾壹圓
第一項 俸給及諸給	金貳萬五千五百參拾八圓
第二項 廳費	金參千九拾參圓
第三項 修繕費	金貳千五百參拾壹圓

第四項	死傷手當	金參圓
第五項	賠償及訴訟費	金參圓
第六項	旅費	金貳千貳百五拾參圓
第七項	雜給及雜費	金四千六拾五圓
第八項	事業費	金六萬九千八百七拾七圓
第八款 生絲検査所		
第一項	俸給及諸給	金五萬參千八拾七圓
第二項	廳費	金壹萬四千貳百六拾參圓
第三項	修繕費	金千八百六拾四圓
第四項	死傷手當	金五百六拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金五圓
第六項	旅費	金千九拾貳圓
第七項	雜給及雜費	金八千六百貳拾八圓
第八項	事業費	金貳萬六千五百七拾圓
第九款 畜産改良費		
第一項	俸給及諸給	金拾四萬九千參百四拾參圓
第二項	廳費	金六千九百貳拾圓
第三項	修繕費	金千四百拾九圓
第四項	死傷手當	金貳百圓
第五項	賠償及訴訟費	金參圓
第六項	旅費	金七千四拾七圓

第七項	雜給及雜費	金六千七百參圓
第八項	事業費	金拾貳萬七千四拾八圓
第十款 工業試驗所		
第一項	俸給及諸給	金五萬九千四百拾壹圓
第二項	廳費	金貳萬六千七百拾八圓
第三項	修繕費	金貳千八百八拾圓
第四項	死傷手當	金百五拾圓
第五項	旅費	金五圓
第六項	雜給及雜費	金參千五百七拾圓
第七項	事業費	金貳萬四千五百八拾八圓
第十一款 補助費		
第一項	農會補助	金貳拾八萬九千八百九拾圓
第二項	府縣農事試驗場講習所及水産試驗場講習所補助	金拾四萬八千五百圓
第十二款 花筵検査所		
第一項	俸給及諸給	金四萬九千五百九拾貳圓
第二項	廳費	金壹萬千八百五拾八圓
第三項	修繕費	金千參百六拾五圓
第四項	死傷手當	金五百圓
第五項	賠償及訴訟費	金五圓
第六項	旅費	金拾圓
第七項	雜給及雜費	金千貳百參拾八圓
第七項	雜給及雜費	金壹萬七百貳拾壹圓

第八項 事業費

農商務省所管合計金參百九拾萬貳千貳拾參圓

金貳萬參千八百九拾五圓

遞信省所管

金六拾六萬千五百拾圓

第一款 遞信本省

金貳拾五萬四千參百參拾六圓

第二項 廳費

金拾六萬參千參百拾九圓

第三項 修繕費

金七千八百五拾四圓

第四項 死傷手當

金五拾貳圓

第五項 賠償及訴訟費

金五拾壹圓

第六項 旅費

金七萬六千五百八拾貳圓

第七項 雜給及雜費

金拾五萬五百拾六圓

第八項 備外國人諸給

金六千六百圓

第九項 萬國鐵道同盟會補助費

金貳百圓

第十項 萬國航海會議補助費

金貳千圓

第二款 遞信費

金貳千四拾四萬貳千九拾五圓

第一項 俸給及諸給

金貳百拾壹萬九千八百貳圓

第二項 修繕費

金六萬千八百六拾五圓

第三項 死傷手當

金貳千參百五拾圓

第四項 賠償及訴訟費

金五千七拾七圓

第五項 旅費

金參拾參萬七百六拾貳圓

第六項 萬國郵便電信聯約費

金五萬五千四百五圓

第七項 遞信事業費

金千五百八拾貳萬七千六百八拾八圓

第八項 諸拂戻金

金貳百參萬九千參百拾六圓

第三款 航路標識費

金參拾參萬四千參百貳拾六圓

第一項 俸給及諸給

金拾五萬貳千貳百九拾八圓

第二項 修繕費

金七百八圓

第三項 死傷手當

金千四拾七圓

第四項 賠償及訴訟費

金五圓

第五項 旅費

金六千七百六拾五圓

第六項 航路標識事業費

金拾七萬參千五百參圓

第四款 船舶海員費

金拾六萬五千五百參圓

第一項 俸給及諸給

金拾萬參千五拾七圓

第二項 廳費

金壹萬六千四百貳拾四圓

第三項 修繕費

金六百貳拾九圓

第四項 死傷手當

金拾圓

第五項 賠償及訴訟費

金參圓

第六項 旅費

金壹萬參千七百八拾九圓

第七項 雜給及雜費

金貳萬八千八百九拾六圓

第八項 審判費

金千六百九拾參圓

第九項 難破船費

金千貳圓

第五款 商船學校

金拾六萬八千八百八拾五圓

第一項 俸給及諸給

金參萬八千四百拾壹圓

第二項	廳費	金貳萬八百貳拾壹圓
第三項	修繕費	金五百參拾壹圓
第四項	死傷手當	金六圓
第五項	賠償及訴訟費	金參圓
第六項	旅費	金千貳百七拾五圓
第七項	雜給及雜費	金壹萬四千七百五拾六圓
第八項	學生費	金貳萬九千四百拾九圓
第九項	海上練習費	金六萬四千貳百參圓
遞信省所管合計金貳千七百七拾七萬貳千四百拾九圓		
歲出經常部合計金參億五千四百九拾貳萬五千四百七拾五圓		
歲出臨時部		
外務省所管		
第一款	營繕費	金拾九萬七千參百貳拾圓
第一項	在清國公使館新築費	金拾貳萬七千參百九拾五圓
第二項	在外公館新築費	金五萬圓
第三項	新營費	金壹萬九千九百貳拾五圓
第二款	在外公館移轉費	金壹萬四千圓
第一項	在外公館移轉費	金壹萬四千圓
外務省所管合計金貳拾壹萬千參百貳拾圓		
內務省所管		
第一款	補助費	金百壹萬八千圓

第一項	東京市水道費補助	金拾七萬圓
第二項	神戸市水道費補助	金拾八萬圓
第三項	大阪築港費補助	金四拾六萬八千圓
第四項	砂防工事費補助	金貳拾萬圓
第二款	土木事業費	金百五拾貳萬九百六圓
第一項	俸給及諸給	金九萬五千貳百六拾七圓
第二項	廳費	金壹萬七千七百貳拾八圓
第三項	死傷手當	金壹圓
第四項	旅費	金五萬九千六百六拾五圓
第五項	雜給及雜費	金五萬四千四百六拾七圓
第六項	營繕費	金七千六百六拾四圓
第七項	調查費	金貳萬五千五百拾六圓
第八項	利根川修築費	金六拾參萬千五百圓
第九項	庄川改修費	金拾貳萬圓
第十項	九頭龍川改修費	金參拾八萬圓
第十一項	木曾川修築費	金七萬貳千九百九拾八圓
第十二項	澁川流域砂防費	金參萬圓
第十三項	木曾川附屬築造物維持費	金參萬圓
第三款	營繕費	金四拾參萬七千七百五拾九圓
第一項	警視廳廳舍建築費	金拾六萬五千貳百六拾五圓
第二項	新營費	金貳拾四萬七千九百五拾圓

第三項 修繕費	金貳萬四千五百四拾四圓
第四款 造神宮使廳	金拾五萬千四拾貳圓
第一項 俸給及諸給	金壹萬參千八百九拾八圓
第二項 廳費	金千八百五拾圓
第三項 修繕費	金四百圓
第四項 死傷手當	金壹圓
第五項 賠償及訴訟費	金貳圓
第六項 旅費	金五千四百七圓
第七項 雜給及雜費	金五千五百四拾壹圓
第八項 式年御造營費	金拾貳萬參千九百四拾參圓
第五款 小笠原島殖産事業費	金貳萬五百四拾四圓
第一項 森林經營費	金五千貳百八拾八圓
第二項 水産經營費	金壹萬五千貳百五拾六圓
第六款 北海道地方費補助	金五拾萬圓
第一項 北海道地方費補助	金五拾萬圓
第七款 北海道拓殖費	金百參拾萬七千參百五拾四圓
第一項 殖民事業費	金貳拾九萬貳千四百五拾參圓
第二項 農事試驗場費	金壹萬千貳百參拾七圓
第三項 小樽築港費	金貳拾壹萬四千六百拾八圓
第四項 道路橋梁排水費	金五拾八萬五千五拾六圓
第五項 驛遞及渡船費	金參萬參千參拾壹圓

第六項 道路橋梁修繕費	金九萬千九拾六圓
第七項 河川港灣費	金七萬九千八百六拾參圓
第八款 臨時神社費	金參萬千六百八拾五圓
第一項 臨時神社費	金參萬千六百八拾五圓
內務省所管合計金四百九拾八萬七千貳百九拾圓	
大藏省所管	
第一款 補助費	金七拾六萬八千貳百六拾五圓
第一項 株式會社農工銀行補助	金貳萬千九百六拾五圓
第二項 株式會社臺灣銀行補助	金貳拾五萬圓
第三項 株式會社日本興業銀行補助	金六萬貳千五百圓
第四項 罹災救助基金補助	金四拾參萬參千八百圓
第二款 公債證書製造及發行費	金四萬八千五百四拾五圓
第一項 公債證書製造及發行費	金四萬八千五百四拾五圓
第三款 營繕費	金貳百拾參萬九百四拾九圓
第一項 橫濱稅關海面埋立及陸上設備費	金百萬圓
第二項 橫濱港水堤修築費	金貳拾九萬七百七圓
第三項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費	金四拾參萬九千四百七圓
第四項 贖院修繕費	金九萬參千九百六拾貳圓
第五項 新營費	金貳拾五萬圓
第六項 修繕費	金五萬六千八百七拾參圓
第四款 馬政事業設備費	金四萬五千九百圓

- 第一項 馬政事業設備費 金四萬五千九百圓
- 第五款 臨時秩祿處分調查局殘務取扱費 金七千八百貳圓
- 第一項 臨時秩祿處分調查局殘務取扱費 金七千八百貳圓
- 第六款 關稅定率調查費 金壹萬千參百五拾四圓
- 第一項 關稅定率調查費 金壹萬千參百五拾四圓
- 第七款 四分子利付清國債券元利 金貳百四萬八千參百九拾五圓
- 第一項 四分子利付清國債券元利 金貳百四萬八千參百九拾五圓
- 第八款 國庫豫備金 金百參拾萬圓
- 第一項 清國事件第二豫備 金百參拾萬圓
- 第九款 臨時事件豫備費 金七千九百五拾萬圓
- 第一項 臨時事件豫備費 金七千九百五拾萬圓
- 陸軍省所管合計金八千五百八拾六萬千貳百拾圓
- 陸軍省所管
 - 第一款 砲臺建築費 金參拾萬六千參百九拾圓
 - 第一項 東京灣砲臺建築費 金貳拾壹萬貳千參百圓
 - 第二款 基隆砲臺建築費 金貳萬圓
 - 第三項 澎湖島砲臺建築費 金五萬六千八百圓
 - 第四項 兵器彈藥費 金壹萬七千貳百九拾圓
 - 第二款 營繕費 金八萬六千五百五拾圓
 - 第一項 新營費 金八萬六千五百五拾圓
 - 第三款 測量費 金參拾壹萬六千七百七拾參圓

- 第一項 俸給及諸給 金五萬四千五百五拾六圓
- 第二項 賜費 金七百六拾參圓
- 第三項 雜給及雜費 金貳千五百圓
- 第四項 諸手當 金七百參拾八圓
- 第五項 測量事業費 金貳拾五萬八千拾六圓
- 第四款 營繕及初度調辦費 金七拾七萬九千八拾五圓
- 第一項 臺灣兵營廳舍營繕及初度調辦費 金七拾七萬九千八拾五圓
- 第五款 臺灣匪徒鎮定費 金貳萬圓
- 第一項 臺灣匪徒鎮定費 金貳萬圓
- 第六款 戰史編纂費 金參萬五千七百參拾四圓
- 第一項 戰史編纂費 金參萬五千七百參拾四圓
- 第七款 一時賜金 金八千九拾參圓
- 第一項 一時賜金 金八千九拾參圓
- 陸軍省所管合計金百五拾五萬貳千百貳拾五圓
- 海軍省所管
 - 第一款 營繕費 金貳拾萬九百五拾圓
 - 第一項 新營費 金七萬五千圓
 - 第二項 吳鎮守府震災復舊費 金拾貳萬五千九百五拾圓
 - 第二款 受託造修費 金五拾五萬七百八拾四圓
 - 第一項 受託造修費 金五拾五萬七百八拾四圓
 - 第三款 臨時海軍建築部費 金壹萬六千貳百九拾五圓

第一項 俸給及諸給	金壹萬參百參拾六圓
第二項 賜費	金七百參拾八圓
第三項 旅費	金貳千四百壹圓
第四項 雜給及雜費	金貳千八百貳拾圓
第四款 拂下圖誌製造費	金壹萬五千圓
第一項 拂下圖誌製造費	金壹萬五千圓
第五款 軍艦製造及建築費	金八百七拾五萬四千四拾圓
第一項 造船費	金五百貳拾七萬五千貳百七圓
第二項 造兵費	金貳百貳拾五萬七百五拾圓
第三項 建築費	金百貳拾貳萬八千八拾參圓
第六款 海軍工廠資金	金九拾萬七千六百四拾五圓
第一項 海軍工廠資金	金九拾萬七千六百四拾五圓
第七款 採炭設備費	金拾六萬四千參百四拾圓
第一項 採炭設備費	金拾六萬四千參百四拾圓
海軍省所管合計金千六拾萬九千五拾四圓	
司法省所管	
第一款 營繕費	金六拾貳萬八千參拾七圓
第一項 千葉縣監獄署建築費	金六萬五千五拾六圓
第二項 長崎縣監獄署建築費	金五萬八千七百九拾參圓
第三項 鹿兒島縣監獄署建築費	金五萬五百貳拾五圓
第四項 石川縣監獄署建築費	金參萬圓

第五項 奈良縣監獄署建築費	金六萬圓
第六項 甲府監獄建築費	金八萬圓
第七項 新營費	金貳拾萬九千六百九拾貳圓
第八項 修繕費	金七萬七千九百七拾壹圓
文部省所管	
第一款 營繕費	金七拾萬四千六百四圓
第一項 東京醫術及藥劑師試驗場改築費	金七萬參千六百八拾圓
第二項 東京帝國大學工科大学火災復舊費	金拾萬四千五百拾四圓
第三項 東京帝國大學醫科大學醫院外來診療所等改築費	金七萬圓
第四項 東京帝國大學工科大学實驗室等增築費	金四萬參千四百五拾貳圓
第五項 京都帝國大學教室及實驗室改道並增築費	金五萬圓
第六項 札幌農學校水產學教室及實驗室新築費	金四萬貳千九百參拾九圓
第七項 新營費	金貳拾六萬五千五百參拾參圓
第八項 修繕費	金五萬八千四百八拾六圓
第二款 設備費	金九萬貳千六百九拾四圓
第一項 中央氣象臺設備費	金參千五百五拾四圓
第二項 東京帝國大學設備費	金五萬九千參百六拾五圓
第三項 京都帝國大學設備費	金貳萬四千八拾五圓
第四項 盛岡高等農林學校設備費	金千參百參拾圓
第五項 大阪高等工業學校設備費	金四千七百六拾圓
第三款 醫科大學創立費	金貳萬六千貳百六拾貳圓

第一項	新營費	金貳萬百拾貳圓
第二項	設備費	金六千五百拾圓
第四款	第二高等師範學校創立費	金七萬六千九百拾圓
第一項	新營費	金七萬千九百拾圓
第二項	設備費	金五千圓
第五款	熊本工學專門學校創立費	金參萬八千五百圓
第一項	新營費	金參萬千五百圓
第二項	設備費	金七千圓
第六款	仙臺工學專門學校創立費	金四萬參千圓
第一項	新營費	金參萬參千圓
第二項	設備費	金壹萬圓
第七款	諸學校臨時支出金	金六萬六千四百圓
第一項	東京帝國大學學術探檢費支出金	金八千九百拾圓
第二項	京都帝國大學文科大學圖書費支出金	金壹萬圓
第三項	京都帝國大學臨川醫學科大學圖書費及標本費支出金	金壹萬貳千五百圓
第四項	札幌農學校圖書費標本費及標本費支出金	金壹萬圓
第五項	盛岡高等農林學校圖書費標本費及標本費支出金	金四千五百圓
第六項	長崎高等商業學校圖書及標本費支出金	金貳千七百圓
第七項	東京高等工業學校標本費支出金	金壹萬圓
第八項	名古屋高等工業學校圖書及標本費支出金	金參千貳百圓
第九項	東京外國語學校臨時外國語學速成費支出金	金千五百九拾圓

第十項	東京外國語學校臨時圖書製作費支出金	金參千圓
第八款	臨時調查費	金壹萬圓
第一項	國語調查費	金壹萬圓
第九款	臨時教員養成所費	金貳萬圓
第一項	臨時教員養成所費	金貳萬圓
第十款	委託學生費	金壹萬四千八百八拾圓
第一項	清國委託學生費	金壹萬四千八百八拾圓
第十一款	普通教育獎勵費	金貳拾五萬圓
第一項	普通教育獎勵費	金貳拾五萬圓
第十二款	臨時經緯度測量費	金千七百四拾七圓
第一項	臨時經緯度測量費	金千七百四拾七圓
第十三款	臺灣沖繩經緯度測量費	金千七百四拾七圓
第一項	臺灣沖繩經緯度測量費	金千七百四拾七圓
第十三款	中央氣象臺臨時氣象報告費	金七千五百六拾六圓
第一項	氣象報告印刷諸費	金七千五百六拾六圓
農商務省所管		
第一款	外國貿易擴張費	金七萬貳千圓
第一項	實業練習生補助費	金四萬八千八百八拾八圓
第二項	商品標本陳列費	金貳千八百四拾貳圓
第三項	商況視察費	金八千九拾參圓
第四項	商況調查報告費	金壹萬貳千貳百四拾七圓
第二款	製鐵所創立費	金百八拾九萬九千貳百圓

第一項 事務費	金壹萬貳千七百八拾六圓
第二項 工場費	金百六拾貳萬八千貳百參拾九圓
第三項 製鐵原料鐵山費	金貳拾壹萬五百七拾五圓
第四項 貯水池增設費	金四萬七千六百圓
第三款 遠洋漁業獎勵費	金九萬五千九百參拾圓
第一項 遠洋漁業獎勵費	金九萬五千九百參拾圓
第四款 補助費	金五萬九千圓
第一項 朝鮮海水產組合補助	金貳萬圓
第二項 鳳兒島縣大島郡糖業改良費補助	金參萬圓
第三項 耕地整理講習費補助	金九千圓
第五款 營繕費	金五拾萬七千貳百五拾四圓
第一項 糖業試驗場新營繕費	金拾萬九千九百九拾五圓
第二項 新營繕費	金參拾八萬參千六百參拾圓
第三項 修繕費	金貳萬千六百貳拾九圓
第六款 國有林野經營費	金貳百拾五萬九千九百參拾四圓
第一項 俸給及諸給	金參拾四萬參千貳百拾五圓
第二項 死傷手當	金參拾圓
第三項 賠償及訴訟費	金壹萬七千七百拾貳圓
第四項 旅費	金貳拾五萬千參百六拾壹圓
第五項 事業費	金百五拾參萬八千六百拾六圓
第六項 營繕費	金千圓

第七款 製鐵所據置運轉資本補填	金八拾六萬九千七百貳拾圓
第一項 製鐵所據置運轉資本補填	金八拾六萬九千七百貳拾圓
第八款 漁業免許處分費	金貳萬九千六百參拾九圓
第一項 漁業免許處分費	金貳萬九千六百參拾九圓
第九款 糖業改良費	金參萬參千參百拾八圓
第一項 糖業改良費	金參萬參千參百拾八圓
第十款 足尾國有林復舊費	金七萬四千參百四拾八圓
第一項 足尾國有林復舊費	金七萬四千參百四拾八圓
第十一款 仙山處分調查費	金四萬四千貳拾四圓
第一項 仙山處分調查費	金四萬四千貳拾四圓
第十二款 府縣聯合共進會費	金壹萬七千四百貳拾六圓
第一項 府縣聯合共進會費	金壹萬七千四百貳拾六圓
第十三款 伊國未蘭萬國博覽會費	金五千八百八拾六圓
第一項 伊國未蘭萬國博覽會費	金五千八百八拾六圓
第十四款 貸與機械購入費	金四萬貳千八百八拾七圓
第一項 貸與機械購入費	金四萬貳千八百八拾七圓
農商務省所管合計金五百八拾六萬貳千七百六拾六圓	
遞信省所管	
第一款 補助費	金九百八拾四萬貳千五百七拾貳圓
第一項 海員養成補助	金五千圓
第二項 水難救濟補助	金壹萬圓

第三項	航路擴張費	金六百拾九萬六千八百八拾壹圓
第四項	航海獎勵費	金百四拾九萬貳千圓
第五項	造船獎勵費	金七拾貳萬貳千五百圓
第六項	日本鐵道株式會社利益補助	金四萬參百九拾參圓
第七項	京釜鐵道株式會社補助	金百參拾參萬四千四百九拾八圓
第八項	湖南汽船株式會社補助	金四萬五千圓
第二款	電信電話營業費	金貳百六拾六萬六千六百圓
第一款	電信電話營業費	金貳百六拾六萬六千六百圓
第三款	航路標識營業費	金貳萬六千六百七拾八圓
第一項	伏瀨航路標識新設費	金貳萬參千五百圓
第二項	新營業費	金貳千五百圓
第三項	航路標識修繕費	金千七拾八圓
第四款	營業費	金五拾四萬九千參百五拾七圓
第一項	小樽郵便局新營業費	金四萬五千圓
第二項	郵便爲替貯金管理所新營業費	金拾五萬圓
第三項	新營業費	金參拾壹萬千八百七圓
第四項	修繕費	金四萬貳千五百五拾圓
第五款	官設既成鐵道改良費	金參百萬圓
第一項	官設既成鐵道改良費	金參百萬圓
第六款	鐵道建設費	金五百參萬貳千八百八拾參圓
第一項	福島青森間鐵道	金百拾萬九千八百四拾七圓

第二項	八王子名古屋間鐵道	金六拾壹萬千九百九圓
第三項	八代鹿兒島間鐵道	金百拾七萬六千參百八拾八圓
第四項	福知山境今市間鐵道	金百五拾九萬千七百七拾圓
第五項	福知山園部舞鶴間鐵道	金貳拾四萬參千五百六拾九圓
第六項	富山直江津間鐵道	金參拾萬圓
第七款	北海道鐵道敷設費	金七拾參萬千貳百七拾七圓
第一項	北海道第一期鐵道	金七拾參萬圓
第二項	鐵道線路測定費	金千貳百七拾七圓
第八款	庄川橋梁擴張費	金六萬四千參百六拾五圓
第一項	庄川橋梁擴張費	金六萬四千參百六拾五圓
遞信省所管合計金貳千九百九拾萬八千七百參拾貳圓		
歲出臨時部合計金壹億參千貳百九拾七萬參千九拾七圓		
歲出總計金四億八千七百八拾九萬八千五百七拾貳圓		

(別冊)

乙號

第一

在外公館新築費

總額

金貳拾萬圓

金貳拾萬圓

款營繕費

項 在外公館新築費

年額	明治三十九年度	金五萬圓	款營繕費	項 在外公館新築費
	明治四十年度	金七萬五千圓	款營繕費	項 在外公館新築費
	明治四十一年度	金七萬五千圓	款營繕費	項 在外公館新築費
總額	第二	金八拾七萬貳千九百九拾八圓	款土木事業費	項 木曾川修築費
年額	明治三十九年度	金七萬貳千九百九拾八圓	款土木事業費	項 木曾川修築費
	明治四十一年度	金貳拾萬圓	款土木事業費	

金貳拾萬圓	明治四十一年度	項 木曾川修築費
金參拾萬圓	明治四十二年度	款土木事業費
金參拾萬圓	第二	項 木曾川修築費
警視廳廳舍建築費	總額	款營繕費
金四拾五萬七千九百七拾五圓	明治三十九年度	項 警視廳廳舍建築費
金四拾五萬七千九百七拾五圓	明治四十年度	款營繕費
金拾六萬五千貳百六拾五圓	明治四十一年度	項 警視廳廳舍建築費
金拾六萬五千貳百六拾五圓	明治四十二年度	款營繕費
金拾四萬千六百八拾六圓	明治四十一年度	項 警視廳廳舍建築費
金拾四萬千六百八拾六圓	明治四十二年度	款營繕費
金七萬千八百貳拾六圓		項 警視廳廳舍建築費

金七萬千八百貳拾六圓
 明治四十二年度
 金七萬九千九百九拾八圓
 金七萬九千九百九拾八圓
 第四
 小笠原島水產經營費

項 警視廳廳舍建築費
 款 警視廳廳舍建築費

總額
 金九萬九千六百六圓
 金九萬九千六百六圓
 年額

款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費

明治三十九年度
 金壹萬五千貳百五拾六圓
 金壹萬五千貳百五拾六圓
 明治四十年度
 金貳萬七千參百六拾五圓
 金貳萬七千參百六拾五圓
 明治四十一年度
 金壹萬貳千參百七拾八圓
 金壹萬貳千參百七拾八圓
 明治四十二年度
 金九千貳百六拾九圓

款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費

金九千貳百六拾九圓
 明治四十三年度
 金壹萬貳千五百五拾四圓
 金壹萬貳千五百五拾四圓
 明治四十四年度
 金壹萬貳千貳百九拾貳圓
 金壹萬貳千貳百九拾貳圓
 明治四十五年度
 金九千九百九拾貳圓
 金九千九百九拾貳圓
 第五
 北海道道路橋梁排水費
 金九百九拾參萬九千八百六拾貳圓
 內
 金參百四拾壹萬五千六百四圓
 金六百五拾貳萬四千貳百五拾八圓
 此改定年額左ノ如シ
 明治三十九年度
 金五拾八萬五千五拾六圓
 金五拾八萬五千五拾六圓
 明治四十年度

項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 小笠原島殖産事業費
 項 水產經營費
 款 北海道拓殖費
 項 道路橋梁排水費

既 定 總 額

明治三十八年度マテ支出額
 明治三十九年度以降支出額

金百四拾八萬四千八百貳圓
 金百四拾八萬四千八百貳圓
 金百四拾八萬四千八百圓
 金百四拾八萬四千八百圓
 金百四拾八萬四千八百圓
 金百四拾八萬四千八百圓
 金百四拾八萬四千八百圓
 金百四拾八萬四千八百圓

總額

金八百拾八萬圓

金八百拾八萬圓

年額

明治三十九年度

金百萬圓

金百萬圓

明治四十年度

款 北海道拓殖費
 項 道路橋梁排水費
 款 北海道拓殖費
 項 道路橋梁排水費
 款 北海道拓殖費
 項 道路橋梁排水費
 款 北海道拓殖費
 項 道路橋梁排水費

款營

項 立及陸上開海備費

款營

項 立及陸上開海備費

金貳百貳拾參萬九千九百貳拾七圓
 金貳百貳拾參萬九千九百貳拾七圓

明治四十一年度

金百七拾壹萬五千八百拾參圓

金百七拾壹萬五千八百拾參圓

明治四十二年度

金百七拾八萬八千六百四拾貳圓

金百七拾八萬八千六百四拾貳圓

明治四十三年度

金百四萬四千八百八拾五圓

金百四萬四千八百八拾五圓

明治四十四年度

金參拾九萬七百參拾參圓

金參拾九萬七百參拾參圓

第七

橫濱港水堤修築費

總額

金八拾七萬四千八拾壹圓

金八拾七萬四千八拾壹圓

年額

明治三十九年度

款營

項 立及陸上開海備費

款營

項 立及陸上開海備費

款營

項 立及陸上開海備費

款營

項 立及陸上開海備費

款營

項 立及陸上開海備費

款營 橫濱港水堤修築費

項 橫濱港水堤修築費

金貳拾九萬七百七圓	款營 繕 費
金貳拾九萬七千七百七圓	項 橫濱港水堤修築費
明治四十年度	
金貳拾壹萬參千八百貳拾參圓	款營 繕 費
金貳拾壹萬參千八百貳拾參圓	項 橫濱港水堤修築費
明治四十一年度	
金貳拾壹萬參千八百貳拾參圓	款營 繕 費
金貳拾壹萬參千八百貳拾參圓	項 橫濱港水堤修築費
明治四十二年度	
金拾五萬五千七百貳拾八圓	款營 繕 費
金拾五萬五千七百貳拾八圓	項 橫濱港水堤修築費
第八	
神戶稅關海陸運輸聯絡設備費	
總額	
金參百九拾六萬圓	款營 繕 費
金參百九拾六萬圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
年額	
明治三十九年度	
金四拾參萬九千四百七圓	款營 繕 費
金四拾參萬九千四百七圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
明治四十年度	

金百九萬參千五百圓	款營 繕 費
金百九萬參千五百圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
明治四十一年度	
金八拾五萬貳千圓	款營 繕 費
金八拾五萬貳千圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
明治四十二年度	
金八拾五萬貳千圓	款營 繕 費
金八拾五萬貳千圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
明治四十三年度	
金四拾貳萬六千拾九圓	款營 繕 費
金四拾貳萬六千拾九圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
明治四十四年度	
金貳拾九萬七千七拾四圓	款營 繕 費
金貳拾九萬七千七拾四圓	項 神戶稅關海陸運輸聯絡設備費
第九	
議院修繕費	
總額	
金貳拾參萬四千九百五圓	款營 繕 費
金貳拾參萬四千九百五圓	項 議院修繕費
年額	
明治三十九年度	

金九萬參千九百六拾貳圓	款營繕費
金九萬參千九百六拾貳圓	項 隨院修繕費
明治四十年度	
金九萬參千九百六拾貳圓	款營繕費
金九萬參千九百六拾貳圓	項 隨院修繕費
明治四十一年度	
金四萬六千九百八拾壹圓	款營繕費
金四萬六千九百八拾壹圓	項 隨院修繕費
第十	
基隆砲臺建築費	
金貳百參拾貳萬千貳百七拾圓	既定總額
內	
金百六拾貳萬千貳百七拾圓	明治三十八年度マテ支出額
金七拾萬圓	明治三十九年度以降支出額
此改定年額左ノ如シ	
明治三十九年度	
金貳萬圓	款砲臺建築費
金貳萬圓	項 基隆砲臺建築費
明治四十年度	
金貳拾七萬圓	款砲臺建築費
金貳拾七萬圓	項 基隆砲臺建築費

明治四十一年度	款砲臺建築費
金貳拾壹萬圓	項 基隆砲臺建築費
金貳拾壹萬圓	
明治四十二年度	
金貳拾萬圓	款砲臺建築費
金貳拾萬圓	項 基隆砲臺建築費
第十一	
兵器彈藥費	
金貳千五百六拾七萬四千九百九拾七圓七拾參錢七厘	既定總額
內	
金貳千四百五拾貳萬六千九百七圓拾五錢四厘	明治三十八年度マテ支出額
金百拾四萬七千貳百九拾圓五拾八錢參厘	明治三十九年度以降支出額
此改定年額左ノ如シ	
明治三十九年度	
金壹萬七千貳百九拾圓五拾八錢參厘	款砲臺建築費
金壹萬七千貳百九拾圓五拾八錢參厘	項 兵器彈藥費
明治四十年度	
金百拾參萬圓	款砲臺建築費
金百拾參萬圓	項 兵器彈藥費
第十二	
甲府監獄建築費	

總額 金貳拾壹萬九千圓

年額 金貳拾壹萬九千圓

明治三十九年度

金八萬圓

明治四十年度

金七萬圓

明治四十一年度

金六萬九千圓

第十三

東京醫術及藥劑師試驗場改築費

總額

金拾四萬七千參百六拾圓

年額 金拾四萬七千參百六拾圓

明治三十九年度

金七萬參千六百八拾圓

款營 繕 費 項 甲府監獄建築費

款營 繕 費 項 甲府監獄建築費

款營 繕 費 項 甲府監獄建築費

款營 繕 費 項 甲府監獄建築費

款營 繕 費 項 東京醫術及藥劑師試驗場改築費

款營 繕 費

金七萬參千六百八拾圓

明治四十年度

金七萬參千六百八拾圓

第十四

東京帝國大學醫科大學醫院外來診察所等改築費

總額

金貳拾萬六千五百貳圓

年額 金貳拾萬六千五百貳圓

明治三十九年度

金七萬圓

明治四十年度

金六萬八千貳百五拾壹圓

明治四十一年度

金六萬八千貳百五拾壹圓

第十五

東京帝國大學工科大學實驗室等增築費

項 東京醫術及藥劑師試驗場改築費

款營 繕 費 項 東京醫術及藥劑師試驗場改築費

款營 繕 費 項 東京帝國大學醫科大學醫院外來診察所等改築費

款營 繕 費 項 東京帝國大學醫科大學醫院外來診察所等改築費

款營 繕 費 項 東京帝國大學醫科大學醫院外來診察所等改築費

款營 繕 費 項 東京帝國大學醫科大學醫院外來診察所等改築費

總額
金八萬六千九百四圓
年額

款營
項 東京帝國大學工科大
學實驗室等増築費

明治三十九年度

金四萬參千四百五拾貳圓

款營
項 東京帝國大學工科大
學實驗室等増築費

明治四十年度

金四萬參千四百五拾貳圓

款營
項 東京帝國大學工科大
學實驗室等増築費

第十六

京都帝國大學教室及實驗室改造並増築費

總額

金九萬六千參百參拾圓

款營
項 京都帝國大學教室及
實驗室改造並増築費

年額

明治三十九年度

金五萬圓

款營
項 京都帝國大學教室及
實驗室改造並増築費

明治四十年度

金四萬六千參百參拾圓

款營
項 京都帝國大學教室及
實驗室改造並増築費

第十七

札幌農學校水産學教室及實驗室新營費

總額

金拾參萬六千八百七拾四圓

款營
項 札幌農學校水産學教
室及實驗室新營費

年額

明治三十九年度

金四萬貳千九百參拾九圓

款營
項 札幌農學校水産學教
室及實驗室新營費

明治四十年度

金六萬千七拾壹圓

款營
項 札幌農學校水産學教
室及實驗室新營費

明治四十一年度

金參萬貳千八百六拾四圓

款營
項 札幌農學校水産學教
室及實驗室新營費

第十八

熊本工學專門學校創立費

總額

金拾九萬千圓

款營
項 熊本工學專門
學校創立費

金拾五萬千圓

款營
項 熊本工學專門
學校創立費

金四萬圓	年額	項設備費
明治三十九年度		
金參萬八千五百圓	款 照本校創立學費門	
金參萬千五百圓	項 新設	
金七千圓	項 設	
明治四十年度		
金七萬六千貳百五拾圓	款 照本校創立學費門	
金五萬九千七百五拾圓	項 新設	
金壹萬六千五百圓	項 設	
明治四十一年度		
金七萬六千貳百五拾圓	款 照本校創立學費門	
金五萬九千七百五拾圓	項 新設	
金壹萬六千五百圓	項 設	
第十九		
仙臺工學專門學校創立費	款 仙臺工學專門	
總額	項 新設	
金參拾貳萬四千參百拾參圓	項 設	
金拾八萬五千貳百四拾圓	項 設	
金拾參萬九千七拾參圓	年額	

明治三十九年度	款 仙臺工學專門	項 新設	項 設
金四萬參千圓	項 設		
金參萬參千圓	項 設		
金壹萬圓	項 設		
明治四十年度			
金九萬參千七百七拾壹圓	款 仙臺工學專門	項 新設	項 設
金五萬七百四拾六圓	項 設		
金四萬參千貳拾五圓	項 設		
明治四十一年度			
金九萬參千七百七拾壹圓	款 仙臺工學專門	項 新設	項 設
金五萬七百四拾六圓	項 設		
金四萬參千貳拾五圓	項 設		
明治四十二年度			
金九萬參千七百七拾壹圓	款 仙臺工學專門	項 新設	項 設
金五萬七百四拾八圓	項 設		
金四萬參千貳拾參圓	項 設		
第二十			
醫科大學創立費			
金百參拾壹萬千貳百四拾六圓拾七錢	款 仙臺工學專門	項 新設	項 設
內	項 設		
金百拾壹萬七千貳百貳拾五圓參拾四錢	項 設		
明治三十八年度マ支出額	項 設		
明治三十九年三月 豫算	項 設		

金拾九萬四千貳拾圓八拾參錢

此改定年額左ノ如シ

明治三十九年度

金貳萬六千貳百六拾貳圓

金貳萬百拾貳圓

金六千五百拾圓

明治四十年度

金拾六萬七千七百五拾八圓八拾參錢

金拾六萬參千參百貳圓拾參錢

金四千四百五拾六圓七拾錢

第二十一

製鐵所創立費

總額

金百貳拾五萬千六百四拾貳圓

金六萬參千五百七拾八圓

金百拾八萬八千六拾四圓

年額

明治三十九年度

金貳拾貳萬參千參百六拾壹圓

金壹萬貳千七百八拾六圓

金貳拾壹萬五百七拾五圓

明治三十九年度以降支出額

款 醫科大學創立費

項 新 營 費

項 設 備 費

款 醫科大學創立費

項 新 營 費

項 設 備 費

款 製鐵所創立費

項 事 務 費

項 製鐵原料鑛山費

款 製鐵所創立費

項 事 務 費

項 製鐵原料鑛山費

明治四十年度

金貳拾九萬百八拾圓

金壹萬貳千六百九拾八圓

金貳拾七萬七千四百八拾貳圓

明治四十一年度

金貳拾四萬六千參百貳拾參圓

金壹萬貳千六百九拾八圓

金貳拾參萬參千六百貳拾五圓

明治四十二年度

金貳拾四萬參千貳百七拾八圓

金壹萬貳千六百九拾八圓

金貳拾參萬五百八拾圓

明治四十三年度

金貳拾四萬八千五百圓

金壹萬貳千六百九拾八圓

金貳拾參萬五千八百貳圓

第二十二

糖業試驗場新營費

總額

金拾五萬九千七百七拾六圓

金拾五萬九千七百七拾六圓

款 營 繕 費

項 糖業試驗場新營費

款 製鐵所創立費

項 事 務 費

項 製鐵原料鑛山費

款 製鐵所創立費

項 事 務 費

項 製鐵原料鑛山費

款 製鐵所創立費

項 事 務 費

項 製鐵原料鑛山費

款 製鐵所創立費

項 事 務 費

項 製鐵原料鑛山費

年額	明治三十九年度	金拾萬千九百九拾五圓	款 營 繕 費	項 糖業試驗場新營費
	明治四十年度	金拾萬千九百九拾五圓		
	明治四十一年度	金五萬七千八百八拾壹圓	款 營 繕 費	項 糖業試驗場新營費
	明治四十二年度	金五萬七千八百八拾壹圓		
總額	足尾國有林復舊費	第二十三		
	金六拾八萬貳千貳百四拾五圓		款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
年額	金六拾八萬貳千貳百四拾五圓			
	明治三十九年度	金七萬四千參百四拾八圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十年度	金七萬四千參百四拾八圓		
	明治四十一年度	金九萬貳百七拾參圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十二年度	金九萬貳百七拾參圓		
總額	足尾國有林復舊費	第二十四		
	金拾萬千五百八拾參圓		款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費

年額	明治三十九年度	金拾萬千五百八拾參圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十年度	金拾萬千五百八拾參圓		
	明治四十一年度	金拾壹萬五千七百參拾五圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十二年度	金拾壹萬五千七百參拾五圓		
	明治四十三年度	金拾萬七千五拾五圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十四年度	金拾萬七千五拾五圓		
	明治四十五年度	金七萬九千九百六拾六圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十六年度	金七萬九千九百六拾六圓		
	明治四十七年度	金六萬四千五百五拾七圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治四十八年度	金六萬四千五百五拾七圓		
	明治四十九年度	金四萬八千七百貳拾八圓	款 足尾國有林復舊費	項 足尾國有林復舊費
	明治五十年度	金四萬八千七百貳拾八圓		
總額	小樽郵便局新營費	第二十四		
	金八萬六千六百六拾六圓		款 營 繕 費	項 小樽郵便局新營費
	金八萬六千六百六拾六圓			

年額	明治三十九年度	金四萬五千圓	款營 繕 費	項 小樽郵便局新營費
	明治四十年度	金四萬五千圓		
	明治四十一年度	金四萬千六百六拾六圓		
	第二十五	金四萬千六百六拾六圓		
總額	郵便爲替貯金管理所新營費	金百五萬圓	款營 繕 費	項 郵便爲替貯金
年額	明治三十九年度	金拾五萬圓		
	明治四十年度	金拾五萬圓		
	明治四十一年度	金四拾五萬圓		
	明治四十一年度	金四拾五萬圓		
	明治四十一年度	金四拾五萬圓		

金四拾五萬圓	第二十六	官設既成鐵道改良費	項 郵便爲替貯金
金四千貳百貳拾八萬九千七百四拾圓	內	金參千六拾壹萬千百參拾參圓	款營 繕 費
金千六百六拾七萬八千六百七圓	此改定年額左ノ如	明治三十九年度	項 官設既成鐵道改良費
金參百萬圓	明治三十九年度	金參百萬圓	款營 繕 費
金參百萬圓	明治四十年度	金參百五拾萬圓	項 官設既成鐵道改良費
金參百五拾萬圓	明治四十一年度	金參百五拾萬圓	款營 繕 費
金參百五拾萬圓	明治四十二年度	金百六拾七萬八千六百七圓	項 官設既成鐵道改良費
金百六拾七萬八千六百七圓	第二十七	金百六拾七萬八千六百七圓	款營 繕 費
第二十七			項 官設既成鐵道改良費

鐵道建設費

金壹億參千九百五拾四萬九千貳百九拾六圓
金貳千六百參拾參萬貳千六百八拾壹圓

合計金壹億六千五百八拾八萬九千九百七拾七圓

內

金九千四百四拾萬九千九百壹圓

金七千四百四拾八萬七拾六圓

此改定年額左ノ如シ

明治三十九年度

金五百參萬貳千八百八拾參圓

金百拾萬九千八百四拾七圓

金六拾壹萬九千九百九圓

金百拾七萬六千參百八拾八圓

金百五拾九萬千七百七拾圓

金貳拾四萬參千五百六拾九圓

金參拾萬圓

明治四十年度

金九百五拾萬圓

金百萬圓

金五拾萬圓

金貳百萬圓

既定總額

明治三十八年度マテ支出額
明治三十九年度以降支出額

鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 福知山境今市間鐵道

項 福知山國部舞鶴間鐵道

項 富山直江津間鐵道

鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 福知山境今市間鐵道

項 福知山國部舞鶴間鐵道

項 富山直江津間鐵道

鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 福知山境今市間鐵道

項 福知山國部舞鶴間鐵道

項 富山直江津間鐵道

鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 福知山境今市間鐵道

項 福知山國部舞鶴間鐵道

項 富山直江津間鐵道

鐵道建設費

金九百四拾八萬九千七百九拾五圓

明治四十三年度

金貳百五拾萬圓

金百貳拾萬圓

金參百萬圓

金百五拾萬圓

金五拾萬圓

金八拾萬圓

金九百五拾萬圓

金百七拾萬圓

金參百萬圓

金貳百萬圓

金五拾萬圓

金八拾萬圓

金百萬圓	項 福島青森間鐵道
金九拾萬圓	項 八王子名古屋間鐵道
金四拾參萬貳千九百拾圓	項 八代鹿兒島間鐵道
金參百五拾萬圓	項 那知山境今市間鐵道
金百萬六千八百八拾五圓	項 那知山境今市間鐵道
金貳百六拾五萬圓	項 富山直江津間鐵道
明治四十四年度	
金九百四拾九萬七百九拾四圓	款 鐵道建設費
金四拾九萬七百九拾四圓	項 福島青森間鐵道
金貳百五拾萬圓	項 八王子名古屋間鐵道
金參百五拾萬圓	項 那知山境今市間鐵道
金參百萬圓	項 富山直江津間鐵道
明治四十五年度	
金九百參拾五萬圓	款 鐵道建設費
金參百五拾萬圓	項 八王子名古屋間鐵道
金參百五拾萬圓	項 那知山境今市間鐵道
金貳百參拾五萬圓	項 富山直江津間鐵道
明治四十六年度	
金四百八拾四萬四千七百六拾參圓	款 鐵道建設費
金四百萬圓	項 八王子名古屋間鐵道
金貳拾六萬八千貳百七圓	項 那知山境今市間鐵道

金五拾七萬六千五百五拾六圓	項 富山直江津間鐵道
明治四十七年度	
金參百五拾萬圓	款 鐵道建設費
金參百五拾萬圓	項 八王子名古屋間鐵道
明治四十八年度	
金百貳拾七萬千八百四拾壹圓	款 鐵道建設費
金百貳拾七萬千八百四拾壹圓	項 八王子名古屋間鐵道
第二十八	
北海道鐵道敷設費	既定總額
金千八百五拾六萬貳千五拾圓	
內	
金千百貳萬八千貳拾壹圓	明治三十八年度ノ支出額
金七百五拾參萬四千貳拾九圓	明治三十九年度以降支出額
此改定年額左ノ如シ	
明治三十九年度	款 北海道鐵道敷設費
金七拾參萬千貳百七拾七圓	項 北海道第一期鐵道
金七拾參萬圓	項 鐵道線路測定費
金千貳百七拾七圓	
明治四十年度	款 北海道鐵道敷設費
金百八拾萬千貳百七拾七圓	項 北海道第一期鐵道
金百八拾萬圓	